

MT5

取扱説明書

フル・マニュアル

https://www.sanwa-denshi.co.jp

SANWA

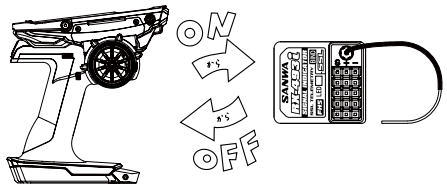
Ver.1.00.03 [2025/04/11]

プロポの安全な取扱いと注意事項

お買い上げいただいたプロポを正しく安全にご使用いただくために、本書
をよくお読みいただき、注意事項を必ず守ってください。
使用方法を誤ったり、安全に対する注意をおこたったりすると、
他人に迷惑をかけたり、自分自身をきずつけたりすることになります。
■安全確保のため、この各項目を必ずお守りください。

⚠ 警告　　搭載時及び操作上の注意

●プロポの電源スイッチを ON にするときは必ず
①送信機→②受信機の順でおこなってください。
また OFF にするときは①受信機→②送信機の順番
でおこなってください。
☆スイッチ操作を誤って逆にすると突然エンジンや
モーターが高回転になり、大変危険です。



●車体には必ずノイズ対策をおこなってください。
☆金属同士がこすれると電気的ノイズ（雑音）が発生し
正常な動作をしない原因となりますのでビス、ナット
のゆるみのないことを確認してください。
☆ガソリンエンジン、モーターなどからもノイズが発生
することがあります。抵抗入りプラグや、ノイズキラー
コンデンサー等のノイズ対策をおこなってください。

●走行前に必ずプロポの動作確認（通達テスト）を
おこなってください。
異常な動きをしたり、動かない場合は走行（航）
させないでください。
机上でのテストが正常であっても走行（航）中の電波
の到達距離は、受信機の搭載方法、アンテナの張り方、
送信機のアンテナの向き、地形等によって変わりま
すので、初走行（航）の際は特にご注意ください。

●雨の日は絶対に走行（航）させないでください。
☆送信機内部は精密な電子部品でできていますので、
ケースを伝わって水が入ると誤動作や不動となり危険
です。
☆受信機、サーボ等が水没した
時は、すぐに回収して内部
を乾燥させてください。
乾燥後、正常に動作しても念
のためにサンワ サービスへ
点検にお出しください。



●受信機は精密機器です。強い衝撃や振動をあたえないでください。
☆厚手のスポンジ等を使用し、防振対策をおこなってください。

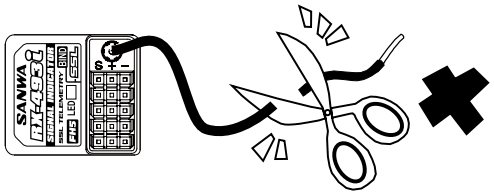
●受信機はスピードコントローラー、モーター、バッテリー
からできるだけ離して搭載してください。

●金属シャシーやカーボンシャシーに搭載する場合は両面
テープを3枚位かさねて使用し、受信機をシャシーから
離してください。

●電波障害がある場合は、受信機の搭載場所をかえるか、
タテ積⇔ヨコ積に搭載方法をかえてください。

●受信機のそばにモーターコードやバッテリーコードが
あると誤動作しやすくなるので、近づけないでください。

●受信機のアンテナ線はできるだけ外へ出し、まっすぐ立てて
張るようにしてください。
余分な長さを切断したり、折り返したりしないでください。
☆アンテナ線が短くなると走行（航）できる範囲が狭くなるので
危険です。
☆アンテナ線は絶対に切断しないでください。



●アンテナ線はモーターコードやバッテリーコードに近づけな
いようにしてください。

●金属シャシーやカーボンシャシーに導電性のピアノ線アンテナ
を使用するとノイズにより誤動作する可能性があります。
シャシーにアンテナ線を近づけないようにしてください。

INDEX へ戻る

⚠ 警告　走行の際の注意

ＲＣカー等を走行する場合は、必ず下記事項を守り、他の人の迷惑にならないようにご注意ください。

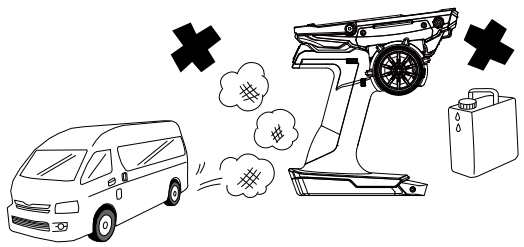
●車体（船体）は完全に整備をして安全を確認してください。
●人ごみや道路では絶対にＲＣカーを走行させないでください。
●走行後は必ず動力バッテリーのコネクターをはずし、車体から動力バッテリーをはずしてください。
●同時走行（航）の場合は必ず管制員を決めて、その指示に従って走行してください。
●他の人の走行を妨げないようにご注意ください。
●ラジコン保険に必ず加入してください。ラジコン保険の加入申込はラジコン操縦士登録代行店にお問合わせください。
●エンジンカーには必ず消音効果のある「マフラー」（消音機）を付けてください。
●早朝からのエンジン始動はやめてください。
●走行場所は必ずきれいに掃除をしてから帰ってください。

⚠ 注意　用途について

●模型用以外には使用しないでください。
●本製品は模型用として日本国内の電波法に基づいて製造されていますので海外ではご使用になれません。

⚠ 注意　日常のお手入れ

●エンジンの排気や燃料がついた時は、やわらかい乾いた布で拭いてください。汚れがひどい時には水または中性洗剤を染み込ませたきれいな柔らかい布を固くしぼって拭いてください。シンナー、ベンジン、アルコール、モータークリーナー、ブレーキクリーナーなどは表面の仕上げをいためたり、変質する場合がありますので、ご使用にならないでください。

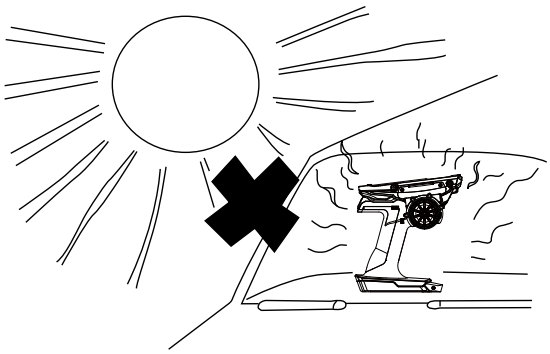


⚠ 注意　送信機の取扱いについて

●ぶつけたり、落としたり強い衝撃を与えたりしないでください。またタイヤトラクション剤等のついた手で送信機、受信機、サーボ、ＦＥＴスピードコントローラー等にさわると、故障やケース変形の原因となります。

⚠ 注意　置き場所について

●次のような場所で保管しないでください。
☆極端に暑いところ、極端に寒いところ。
☆直射日光が長時間あたるところ。
　特に窓を閉めきった自動車内で直射日光が当たる場所に放置すると季節により車内温度が８０℃以上になり、変形や故障の原因となる場合がありますので充分ご注意ください。
☆湿気の多いところ、風通しの悪いところ。
☆振動の多いところ。
☆ほこりの多いところ、蒸気や熱気が当たるところ。
☆エンジンの排気がかかるところ、燃料缶のそば。



マークの意味

⚠ **警告**　事故や怪我をしないために必ず守っていただきたいこと。

⚠ **注意**　故障をおこさないために必ず守っていただきたいこと。

INDEX へ戻る

プロポの安全な取扱いと注意事項

⚠ 注意　　安全に使用していただくための注意事項

- 2.4GHz 帯はラジオコントロール専用の周波数ではありません。この周波数帯は ISM（産業、科学、医療）バンドと共用されているので都市部では電子レンジ、無線 LAN、デジタルコードレス電話、オーディオ機器、ゲーム機や携帯電話の Bluetooth、VICS などの近距離通信の影響を受ける可能性があります。またアマチュア無線、移動体識別用構内無線局にも使用されているため、これらの影響に注意して使用してください。なお、既存の無線局に有害な電波干渉を与えた場合は速やかに電波の発射を停止し干渉回避対策をおこなってください。
- RC サーキット等では 2.4GHz システムに影響を与える可能性のある機器の使用を最小限にし、必ず事前に安全性の確認をおこなってください。また、施設管理者の指示に従ってください。
- 建物や鉄塔などの後ろを走行（航）させたときのように電波の到達方向を遮へいすると、操縦レスポンスの低下や操縦不能になる可能性があります。常に目視で確認出来る範囲で走行（航）してください。
- 日本国内では技術適合証明試験を受け、認証番号を記載した技術適合証明ラベルが貼られている送信機やモジュールが使用できます。技術適合証明ラベルを剥がしたり汚したりしないでください。
- 海外からの輸入品等の場合で技術適合証明ラベルが貼られていないプロポやモジュールを日本国内で使用することはできません。電波法違反になる場合があります。
- （財）日本ラジコン電波安全協会ではラジオコントロールに使用する電波を安全に使用していくための啓発をおこなっています。同協会の名称の入った技術適合証明ラベルが貼られている送信機やモジュールの使用を推奨します。
- 走行中は送信機のアンテナ内蔵部を握ったりしないでください。電波の出力が弱くなり走行できる範囲が狭くなるので危険です。
- 送信機のアンテナ内蔵部には金属製のクリップなどを取り付けないでください。
- 送信機のアンテナ内蔵部を受信機以外のサーボ、スピードコントローラーに極端に接近させると誤動作する場合がありますが、強い高周波出力の影響で異常ではありません。
- 受信機は精密機器です。強い衝撃や振動をあたえないでください。厚手のスポンジ等を使用し防振対策をおこなってください。



※技術適合証明ラベル例

- 受信機のアンテナ線はできるだけ外へ出し、まっすぐ立てて張るようにしてください。余分な長さを切断したり、折り返したりしないでください。
- 受信機のアンテナ線はモーターコードやバッテリーコードなどのノイズ源に近づけないでください。
- 金属シャシーやカーボンシャシーに受信機を搭載する場合は両面テープなどを重ねて使用し、できるだけシャシーから離してください。

INDEX

■セットの構成と規格・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6
■ご使用になる前に・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7～13
■受信機の接続と搭載について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・14、15
■送信機各部の名称・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・16、17
■各機能の使用方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・18

●タッチ パッドの操作について (18)
●ディスプレイ パネルについて (19)
●電源切り忘れアラームについて (19)
●メニュー構成について (20)
●ランチャーについて [LAUNCHER] (21)
・モデル セレクト [MODEL SELECT] (21)
・アールエックス モード [RX MODE] (21)
●セッティング [SETTING] (22～33)
・デュアル レート [D/R] (22)
・スピード [SPEED] (23～25)
・カーブ [CURVE] (26～31)
・フェール セーフ [F/S] (32)
・ベース [BASE] (33～35)
・トリム [TRIM] (36～38)
・フィーリング [FEELING] (39)
・スロットル タイプ [TH TYPE] (39)
・アンチ ロック ブレーキ [ALB] (40)
・オフセット [OFFSET] (41)
●エーユーエックス [AUX] (42～47)
・ステップ エーユーエックス [STEP AUX] (42)
・ポイント エーユーエックス [POINT AUX] (42)
・4WS ミキシング [4WS-MIXING] (43)
・MOA ミキシング [MOA-MIXING] (44)
・ブレーキ ミキシング [BR-MIXING] (44)
・デュアル ステアリング [DUAL-ST] (45)
・ボート [BOAT] (46)
・コード エーユーエックス [CODE AUX] (47)
●ミキシング [MIXING] (48～50)
・コンペンセーション ミキシング1～5 [C-MIX1～5] (48、49)
・タンク [TANK] (50)
・リミット [Limit] (51)
●タイマー [TIMER] (52～57)
・セットアップ [SETUP] (53)
・ラップ タイマー [LAP TIMER 1/2] (54)
・インターバル タイマー [INT TIMER] (55)
・ダウン タイマー [DOWN TIMER] (56)
・レーシング モード ファンクション [R-MODE FUNCTION] (57)
●テレメトリー [TELEMETRY] (58～70)
・ログ データ [LOG DATA] (59～64)
・テレメトリー セッティング [TEMETRY SETTING] (65)
・インジケーター [INDICATER] (66)
・グラフ セッティング [GRAPH SETTING] (67)
・テレメトリー スイッチ [TELEMETRY SWICH] (67)
・テレメトリー ミキシング [TELEMETRY MIXING] (68)
・アールエックス モード セッティング [RX MODE SETTING] (69、70)
●モデル [MODEL] (71～77)
・モデル セレクト [MODEL SELECT] (71)
・クイック セットアップ ウィザード [QUICK SETUP WIZERD] (72、73)
・モデル ネーム [MODEL NAME] (74)
・モデル コピー [MODEL COPY] (75、76)
・モデル ムーブ [MODEL MOVE] (77)
・モデル クリア [MODEL CLEAR] (78)
・ダイレクト モデル セレクト [D-MODEL SELECT] (79)
●バインド [BIND] (80～82)
●システム [SYSTEM] (83～99)
・キーアサイン [KEY ASSIGN] (83、84)
・カスタム リスト [CUSTOM LIST] (85)
・エーユーエックス タイプ [AUX TYPE] (86)
・レーシング モード [RACING MODE] (87)
・サーボ モニター [SERVO MONITOR] (88)
・バッテリー [BATTERY] (89)
・サウンド [SOUND] (90)
・エルシーディー [LCD] (91)
・エルイーディー [LED] (92)
・クロック [CLOCK] (93)
・キャリブレーション [CARIBRATION] (94)
・タッチ パッド [TOUCH PAD] (95)
・ユーザー ネーム [USER NAME] (96)
・セットアップ [SETUP] (97)
・SD カード [SD CARD] (98)
・ファクトリー リセット [FACTORY-RESET] (99)
●マルチ セッティング ギア [MULTI SETTING GEAR] (100～105)
●モーション ステアリング [MOTION STEERING] (106)

■アサイン機能一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・107、108
■サンワ サービスについて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・109

セットの構成と企画

セットの構成

	PC・プライマリーコンポーネント
〈A〉送信機	M17S
〈B〉受信機	RX-493i
〈C〉サーボ	–
〈D〉付属品	ストラップ フックx1 ラージ ステアリング ホイルx1 スプリング [スーパー ソフト(SS)/ソフト(S)/ミディアム(M)/ハード(H)]x各1 ステアリング スイング スペーサー [R/L]x各1 トリガー アングル スペーサーx2 ブレーキ トリガー [+1/+2]x各1 グリップ パッド[スモール(S)/ラージ(L)]x各1 送信機用Li-Poバッテリー(LP1-2500)x1 BINDプラグx1 液晶/タッチ パッド 保護シートx1 受信機用ダスト カバーx1 アンテナパイプx1 取扱説明書（簡易版）x1

●ご使用になる前にセットの内容をお確かめください。

セットの規格

〈A〉送信機

品番	M17S
出力表示	デジタル/アナログ表示(電源電圧表示)
変調方式	2.4GHzスペクトラム拡散方式
電源	Li-Po1セル（上限電圧 4.2V）
重量	510g

※入力電圧にご注意ください。許容電圧以上の電圧が入力されると送信機が壊れます。

〈B〉受信機

品番	RX-493i
変調方式	2.4GHzスペクトラム拡散方式
寸法	26.0x23.2x14.0mm
電源	DC3.7~7.4V
重量	6.2g

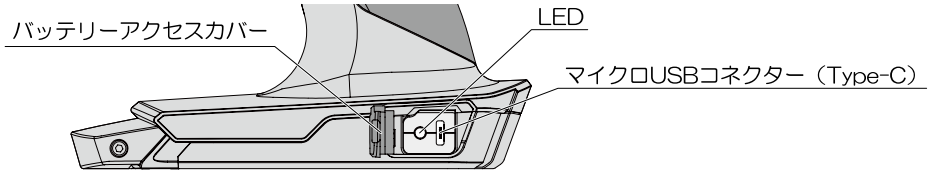
ご使用になる前に

電源について

●正しく安全にご使用いただくために、下記充電方法および注意事項をよく読んでください。
●使用する前に必ず充電してから使用してください。
Li-Po 電池は従来の充電池と比較して、容量が大きい、重量が軽い、自然放電が少ないなど多くのメリットがありますが、取扱いを誤ると劣化が早まったり、発煙、発火の可能性があります。
下記の注意事項を必ずお守り頂き、安全にご使用いただくようお願い申しあげます。
1、プラスとマイナスは絶対にショートさせないでください。（ショートさせますと発煙、発火の恐れがあります。）
2、送信機本体と接続するＺコネクターに充電器を接続して充電しないでください。
3、バッテリーの分解やコネクターの改造は絶対におこなわないでください。
4、バッテリー本体やケーブルの被覆が損傷した場合はご使用にならないでください。
5、送信機本体からバッテリーを取り出す場合には、必ずコネクターを持って引き抜いてください。
6、バッテリー電圧が 3.3V 以下では使用を中止し、ただちに充電をおこなってください。
7、本製品には充電電流が 800mAh の充電回路が内蔵されています。充電する場合は出力 5V 1000mAh 以上の USB AC アダプターを使用してください。接続する際はマイクロ USB コネクターの向きに注意して接続してください。
8、充電する際はプロポの電源を必ず OFF にして充電してください。
9、直射日光が長時間当たる場所では保管しないでください。特に窓を閉めきった自動車内で直射日光が当たる場所に放置すると季節により車内温度が 80℃以上になり、変形や故障の原因になる場合があります。
10、長期間保管される場合は送信機からはずして保管し、セーフティー バッグなどに入れて冷暗所で保管してください。
３ヵ月に一度バッテリーの充放電をおこない 50%程度の充電をおこなってください。
11、バッテリーと USB AC アダプターを接続したまま保管しないでください。
12、過放電状態（3.3V 以下）で使用しますと電池が急激に劣化して膨張します。膨張したバッテリーはただちに使用を中止してください。
13、劣化した電池の処分については、お住まいの地域のルールに従って廃棄してください。
※送信機に装着する際に、バッテリーのリード線を電池カバーではさまないように注意してください。
※過充電はバッテリーを破損させるだけではなく、異常発熱、破裂、漏液等により、ヤケド、火災、ケガ、失明などの危険があります。
※変形や膨張したバッテリーは使用しないでください。
※強い衝撃を与えたり、投げつけないでください。

送信機バッテリーの充電について

1）AC100V のコンセントにお客様がお持ちの USB AC アダプターを接続します。
※対応するマイクロ USB コネクターは Type-C（USB A to USB C）ケーブルをご使用ください。
※ LP1-2500 は USB PD（USB POWER DELIVERY）には対応しておりませんので、USB PD の機器では充電できません。
2）送信機バッテリーを充電するときは送信機のコネクターカバーを開けてマイクロ USB コネクターをバッテリーに接続してください。
3）バッテリー ポートから見えるバッテリー LED が赤く点灯している事を確認してください。
4）バッテリー LED が緑の点灯に変わると充電終了です。充電終了後、バッテリーからマイクロ　USB コネクターをはずしてください。
※充電終了後は AC100V コンセントから USB AC アダプターをはずしてください。
※充電器とバッテリーを接続したまま保管しないでください。
※長期間使用されない場合には、3か月に一度バッテリーの充放電をおこない半分くらい充電してください。
※充電用のマイクロ USB コネクター（Type-C）は付属しません。お客様でご用意いただくようお願いいたします。
※電池カバーをはずす場合は、電池カバー固定用のネジを外してコネクターカバーを完全に開いた状態にしてから電池カバーをスライドさせてください。コネクターカバーを完全に開いた状態にせずに電池カバーをスライドさせるとコネクターカバーが壊れます。



マイクロ SD カードについて

● M17S はマイクロ SD カードに対応しております。三和純正もしくは適応するフォーマット形式（FAT32）のマイクロ SD カードをご使用をご使用ください。
マイクロ SD カードを使用することで、モデルデータの保存やテレメトリー データの保存が可能です。また M17S のファームウエア アップデートが公開された場合に、マイクロ SD カードを使用してファームウェア アップデートが可能です。
マイクロ SD カード挿入時は金属端子面を上側にして挿入してください。
●マイクロ SD カードを M17S に挿入すると”M17S”という名称のフォルダが作成され、そのフォルダの中に“MODEL”という名称のフォルダが作成され、その中にモデルデータが保存されます。
ログデータのエクスポートをおこなうと”Log”のフォルダが作成され、そのフォルダの中に”csv”データが保存されます。

INDEX へ戻る

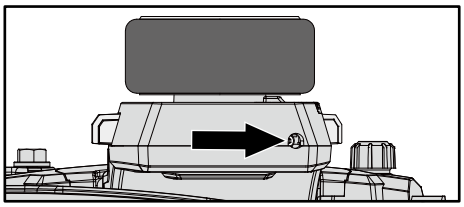
ご使用になる前に

ステアリング、スロットルのテンション調整

M17S はステアリング / スロットル トリガーのテンション調整だけでなく、左右ドライビング ポジションとステアリング スイングの調整、デタッチャブル スロットル ユニットとフルアジャスタブル トリガーによるトリガー ポジション、トリガー アングル、ブレーキ トリガーの調整とスロットル トリガーのスプリング交換、グリップパッドの交換をおこなうことでより細かくユーザーの好みにあわせることが可能です。

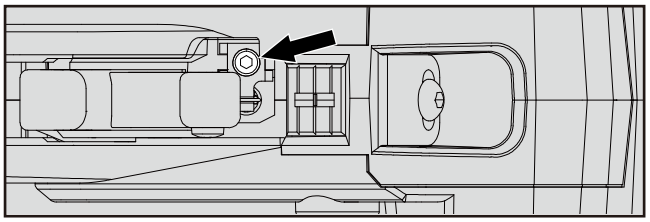
ステアリングのテンション調整

右図の矢印の箇所に六角レンチドライバー (1.5mm) を挿して廻すことにより、ステアリングのスプリング テンションを調整できます。
※締め過ぎ、ゆるめ過ぎにご注意ください。



スロットル トリガーのテンション調整

右図の矢印の箇所に六角レンチドライバー (1.5mm) を挿して廻すことにより、スロットル トリガーのスプリング テンションを調整できます。
※締め過ぎ、ゆるめ過ぎにご注意ください。



ステアリング スプリングの交換

M17S はステアリング スプリングの交換が簡単におこなえるようになっています。
好みに合わせて同梱オプションのスプリングと交換してください。
出荷時のステアリング スプリングはソフトになり、同梱オプションのスプリングはスーパーソフト (SS) / ソフト (S) / ミディアム (M) / ハード (H) になります。

1) ステアリング ホイルをはずします。

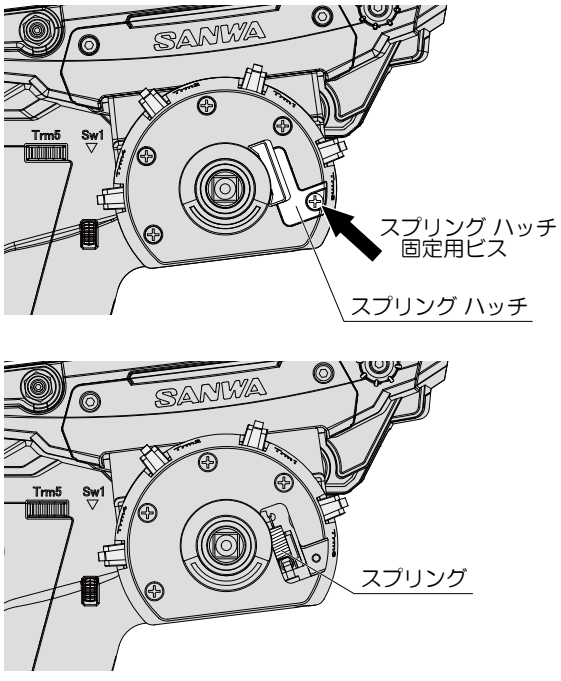
2) スプリング ハッチ固定用ビスをはずします。

3) スプリング ハッチをはずして、好みの硬さのステアリング スプリングに交換してください。

4) スプリング ハッチ、固定用ビスを取り付けてください。

5) ステアリング ホイルを固定してください。
※ホイル アダプターの向きを間違えないように注意してください。

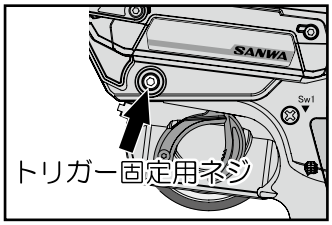
※スプリングの選別について
スプリングは色分けによって堅さの選別が可能です。
スーパーソフト (紫)、ソフト (黒)、ハード (青)、ミディアムは無着色となります。



INDEX へ戻る

スロットル スプリングの交換

M17S はステアリングだけではなく、スロットル スプリングの交換も容易におこなえるようになっています。
好みに合わせて同梱オプションのスプリングと交換してください。
出荷時のスロットル スプリングはミディアム (M) になり、同梱オプションのスプリングは
スーパーソフト (SS) / ソフト (S) / ミディアム (M) / ハード (H) になります。



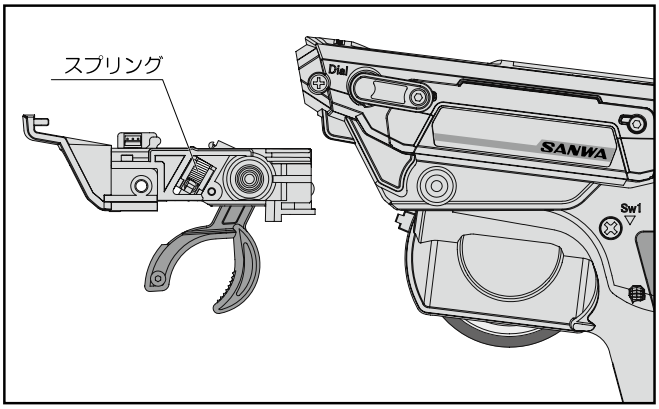
1) 送信機裏面のデタッチャブル スロットル ユニットの固定用ビスをはずします。

2) デタッチャブル スロットル ユニットを送信機から引き抜いてください。
この際、スロットル ユニットのケーブルも引き出してください。

3) スロットル ユニット中央のスプリングを好みのものと交換してください。

4) スプリングの交換が終了しましたら、ケーブルが噛みこまないようにケーブルを収納しながら
デタッチャブル スロットル ユニットを送信機本体に装着して固定用ビスを締めてください。

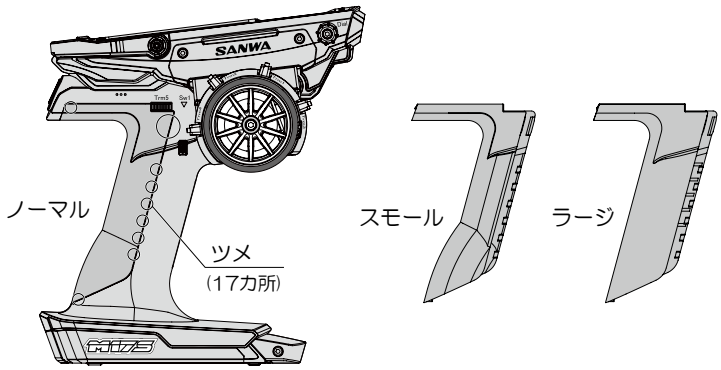
※スプリングの選別について
スプリングは色分けによって堅さの選別が可能です。
スーパーソフト (紫)、ソフト (黒)、ハード (青)、ミディアムは無着色となります。



グリップ パッドの調整

M17S はグリップ パッドが交換できます。ご使用になるユーザーの手の大きさにあわせてグリップ パッドを
交換してください。同梱オプションのグリップ パッドはスモール (S) / ラージ (L) の 2 種類になります。
(出荷時はノーマルが装着されています。)

送信機グリップ部にグリップ パッドのツメ (17 ヶ所) でロックされていますので、無理に引っ張らないでください。



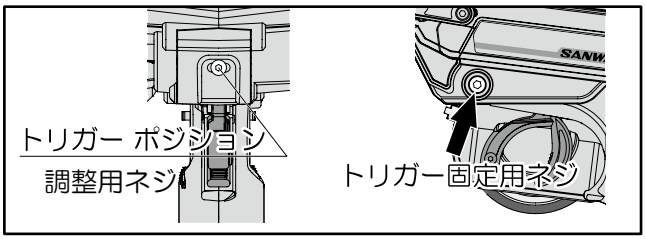
INDEX へ戻る

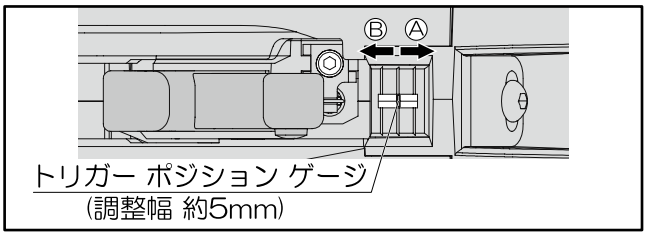
ご使用になる前に

フル アジャスタブル トリガーの調整

トリガー ポジションの調整

送信機裏側にあるトリガー固定用ネジをゆるめます。次に送信機側面にあるトリガー ポジション調整用ネジを調整してトリガーを好みの位置に決定します。
トリガー ポジション調整用ネジは↶廻りでトリガー ポジション ゲージはⒶの方向に動きます。
調整用ネジ↶廻りでⒷの方向へ動きます。
※トリガーの移動範囲は約 5mm ですので、範囲を超えて無理に調整用ネジを廻すと故障の原因となりますのでご注意ください。
トリガーの位置が決定しましたら、トリガー固定用ネジを締めてトリガーの調整は終了です。





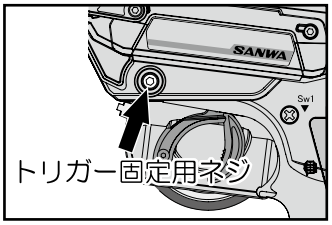
トリガー アングルの調整

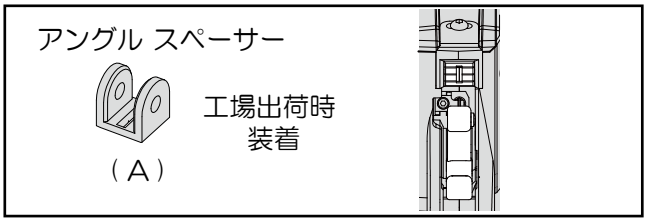
アングル スペーサー A/B/C を入れ替えることによってスロットル トリガーの角度を 5 段階に調整することが可能です。

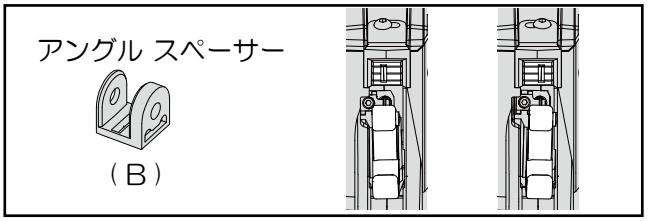
1) 送信機裏側にあるトリガー固定用ネジをはずします。

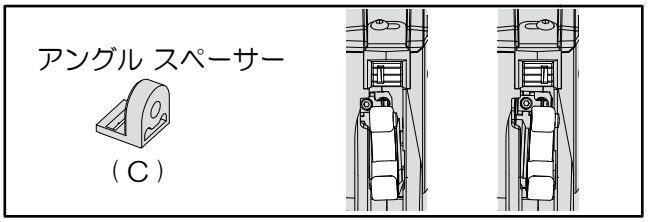
2) 操作しやすい角度になるようにアングル スペーサーの向きを変えて、アングルを調整してください。

3) トリガーの角度が決まったら送信機裏面のトリガー固定用ネジを固定します。









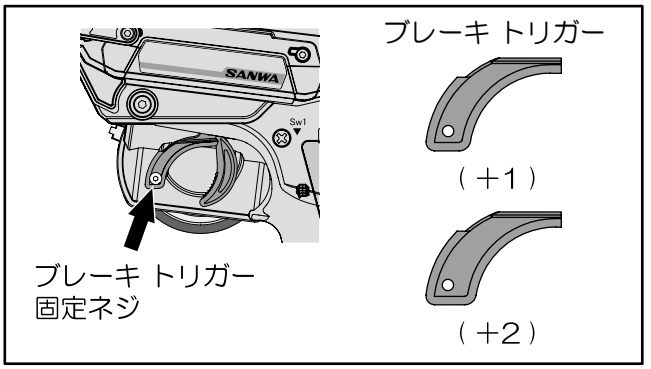
ブレーキ トリガーの調整

ブレーキ トリガーを交換することで、手の大きさや好みに合わせて指の掛かり具合を調整できます。
ブレーキ トリガーは出荷時に装着されている標準サイズの他に＋1と＋2の2種類が同梱されています。

1) トリガー裏側にあるブレーキ トリガー固定ネジをはずします。

2) 手の大きさや好みに合わせてブレーキ トリガーを選定してください。

3) 使用するブレーキ トリガーが決まったらブレーキ トリガー固定用ネジで固定します。



INDEX へ戻る

ドライビング ポジションの調整

ステアリング スイング スペーサーの調整

●ステアリング スイング スペーサーを使用することで、ステアリング ユニットの角度調整が可能になります。

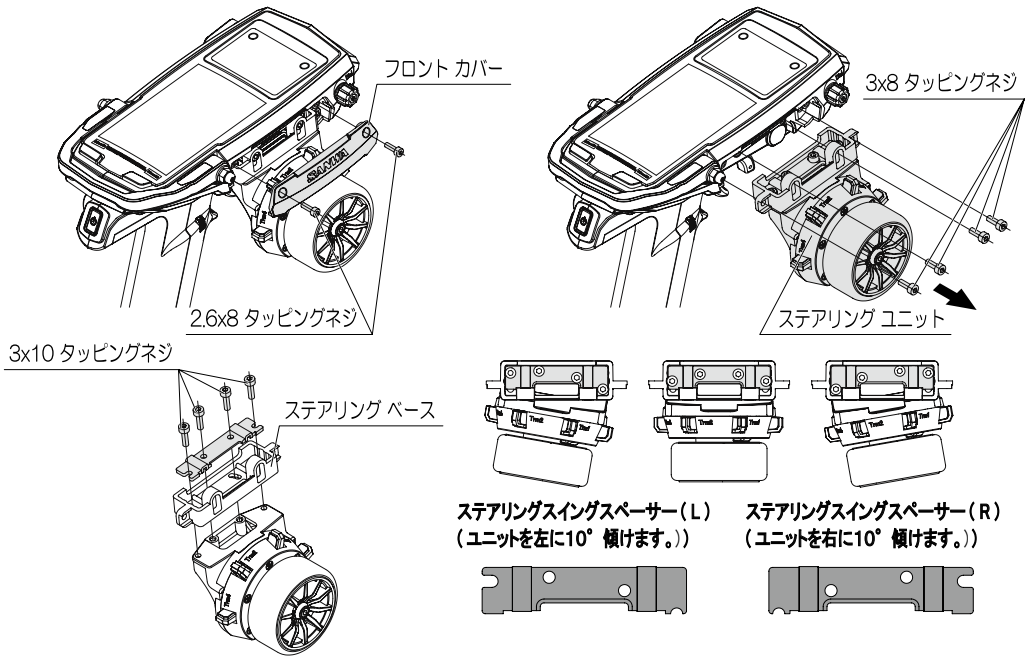
1) フロント カバーを固定しているネジを2本はずし、フロント カバーを取りはずします。

2) ステアリング ユニットを固定しているネジを4本はずします。

3) ステアリング ユニットからステアリング ベースをはずし、ステアリング スイング スペーサーを交換して、
ステアリグ ユニットにステアリング ベースを固定します。

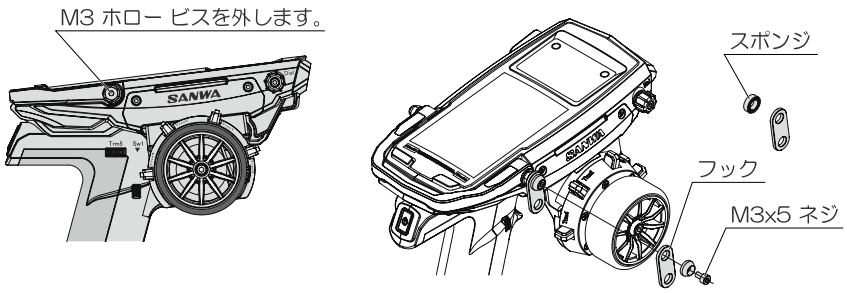
4) ステアリング ユニットを送信機本体に固定します。

5) フロント カバーを固定し、ステアリング スイング スペーサーの調整が終了します。



ストラップ フックについて

●キャリング ハンドル ナット先端のM3ホロービスをはずして、同梱されているストラップ フックを装着してください。
※ストラップ フックのガタと音が気になる場合には、同梱のスポンジをフックに貼り付けて使用してください。



INDEX へ戻る

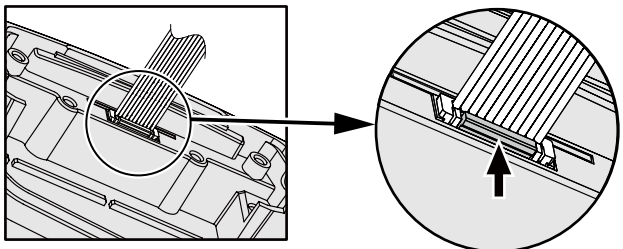
ご使用になる前に

左右ドライビング ポジションの調整

●サウスポー(左利き)の方は左右ドライビングポジションの切り替えをおすすめします。

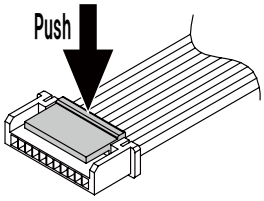
ステアリング ユニットのコネクター取り外しの際の注意

●M17Sの機能でドライビングポジションの調整、左右ドライビングポジションの調整、M17Sアルミオプションパーツのアルミ ステアリング スイング スペーサーを取り付ける際に、ステアリング ユニットの配線のコネクターを取りはずす場合は、下記のようにコネクターのツメを押してロックを解除してから取りはずしてください。
ロックを解除せずに無理に引き抜くとコネクター破損や断線による故障につながりますので注意してください。

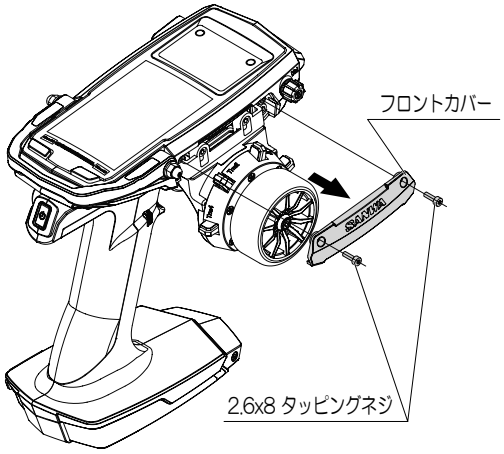


ステアリング ユニットをはずした状態

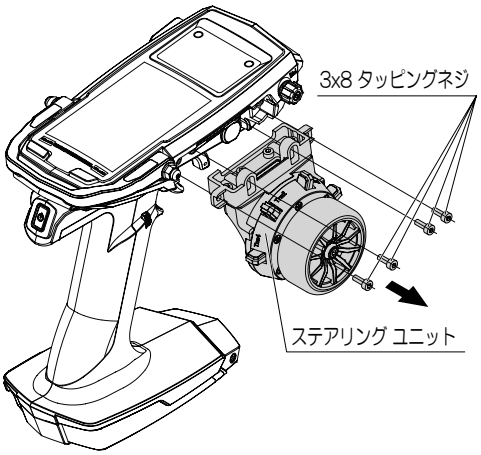
コネクターのツメを押してロックを解除してから取りはずしてください。



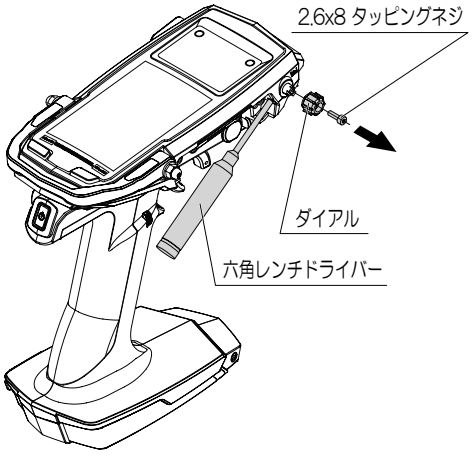
1)フロント カバーを固定しているネジを2本はずし、フロント カバーを取りはずします。



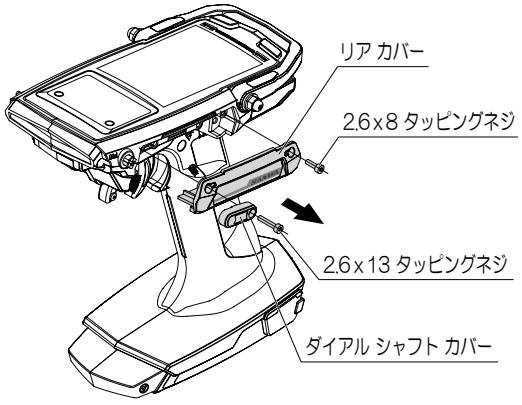
2)ステアリング ユニットを固定しているネジを4本はずし、ステアリング ユニットとステアリング ユニットの配線のコネクターを本体からはずします。



3)六角レンチドライバー(1.5mm)などでダイアル シャフトを固定します。
ダイアルを固定しているネジをはずして、ダイアルを取りはずします。

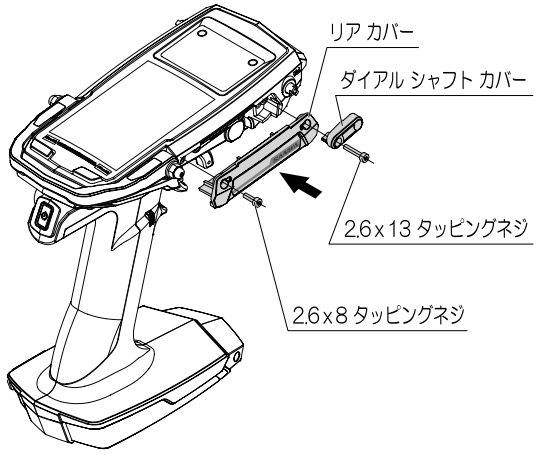


4)リアカバーとダイアル シャフト カバーを固定しているネジを2本はずし、リア カバーとダイアル シャフト カバーを取りはずします。

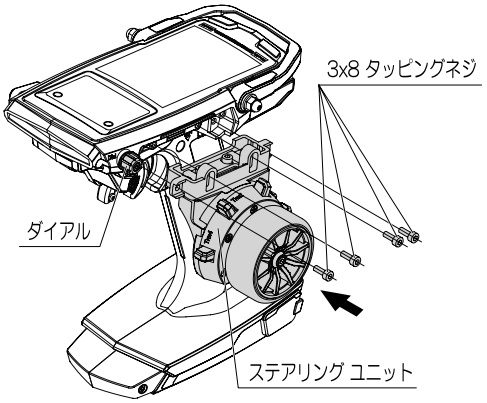


INDEX へ戻る

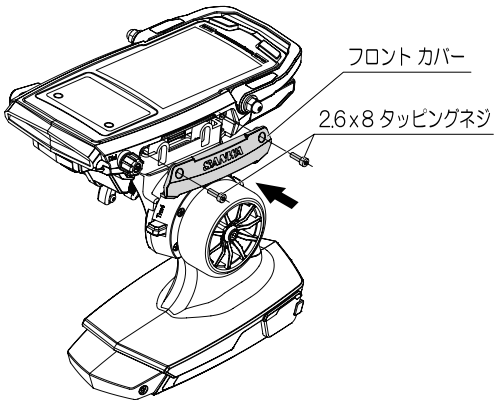
5)取り外したリア カバーと付属のダイアルシャフトカバーを
ライト ポジションに取り付けます。
(ダイアル シャフト カバーは2種類あります。)

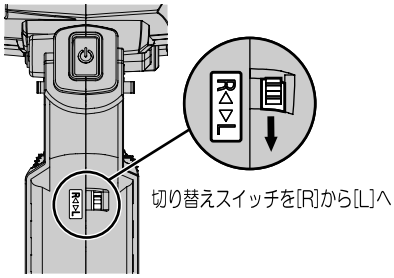


6)レフト ポジションにダイアルを固定し、
向きを間違えないようにコネクターを接続、
ステアリング ユニットを固定します。

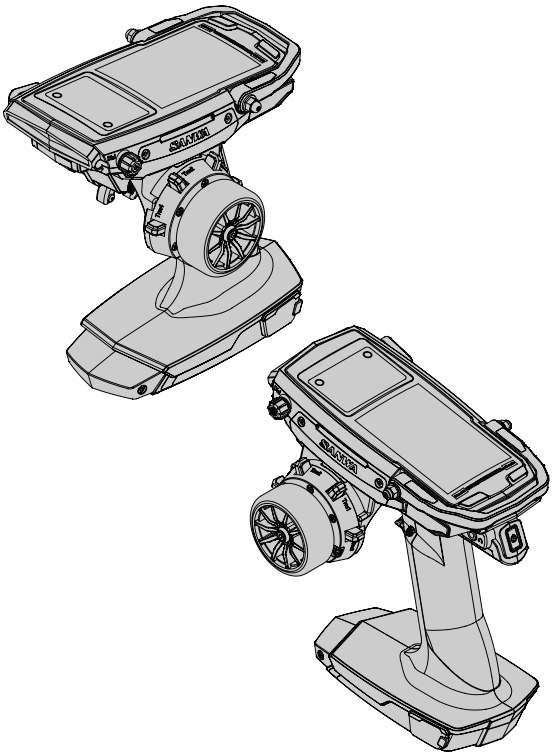


7)フロント カバーを固定します。
グリップ パッドの内側に左右切り替えスイッチが
ありますので、グリップ パッドを取りはずし、
切り替えスイッチを[R]から[L]に切り替えてから
グリップ パッドを再装着してください。





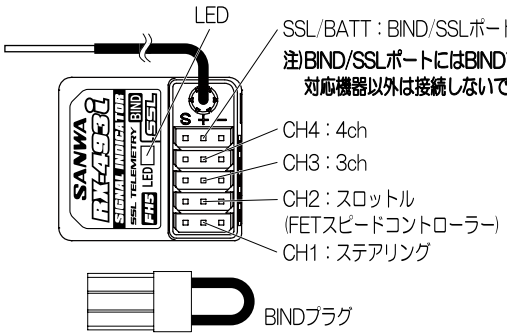
8)SYSTEMメニュー内の[SETUP]の[HANDEDNES]
(左右切替メニュー)を「 RIGHT]から[LEFT]に変更
してください。(P.97)



INDEX へ戻る

受信機の接続と搭載について

受信機について



受信機LEDの状態

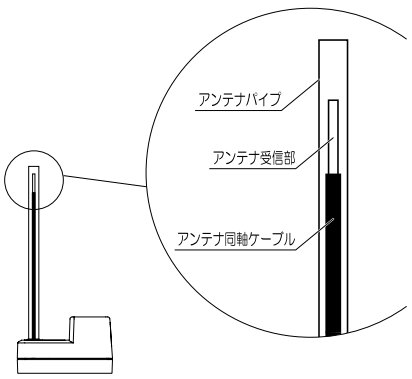
電波を受信している状態	青点灯
電波を受信できない状態	——
BIND(バインド)設定中	青点滅、 青高速点滅
バッテリーフェールセーフ作動	青＆赤点灯
バッテリーフェールセーフ作動後 に電波を受信できない状態	赤点灯

●RX-493i について
- RX-493i は送信機からの受信率と受信強度を数値化し、送信機にテレメトリーデータとして送信することができます。
- RX-493i は２つのＩＤを記憶させることが可能です。耐久レースなどで個々の好みのポジションや設定にあわせたM17Sの組合せが可能となりました。
  ２台の送信機固有の ID を受信機に記憶させること (BIND/ バインド) で、バインドした２台の送信機との動作が可能になります。(注：２台の送信機と同時に動作できません。) 対応する送信機はM17S、M17、MT-5、MT-Rのみになります。
- スロットルのニュートラル位置や動作量は個々の送信機によって異なる可能性があります。バインドした送信機の組合せによって、送信機の設定値が同じにならない場合があります。車体のリンケージに合わせてそれぞれの送信機で調整をおこなってください。
- M17Sの CODE AUX を使用して SSL 対応機器をリアルタイムに設定変更する場合には、対応する機器を SSL ポートに接続してください。
- フェールセーフの設定は必ずそれぞれの送信機でおこなってください。
- BIND する２台の M17Sの RF MODE とレスポンス モードは全て同じにしてください。同じ設定になっていないと、２つの送信機での BIND がおこなえません。

※違う設定の送信機を２台目の送信機として BIND した場合には１台目に BIND した M17Sの ID(識別番号) は消去され、上書きされます。
※３台目の BIND をおこなうと、１台目の M17Sの ID が消去されます。
※初めて使用される場合、M17Sと RX-493i は (BIND/ バインド) されておりません。
　BIND を必ずおこなってからご使用ください。

アンテナの取り扱いについて

●受信機とアンテナが搭載される場所により、受信距離が異なります。
●右図のようにアンテナを保護するために、必ずアンテナパイプにアンテナを入れて、アンテナの先端がアンテナパイプの外部に出ないようにしてください。
●内部で断線の恐れがありますので、アンテナを絶対に折り曲げないでください。
●アンテナを無理に引っ張らないでください。
受信機内部の破損の原因となります。
● RC カーに搭載したときにアンテナがなるべく高い位置になるように配置してください。
●受信感度が低下する恐れがありますので、アンテナを切断したり束ねたりしないでください。
●受信機のアンテナはモーター、FET スピードコントローラー(配線も含む) から離して、垂直に立ててください。



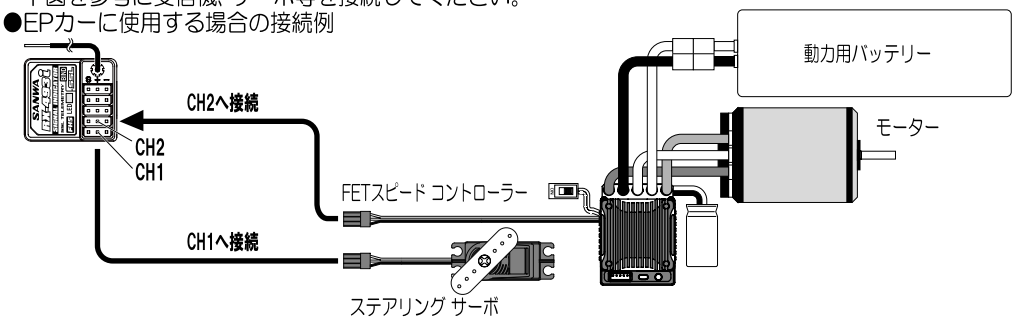
INDEX へ戻る

受信機の接続と搭載について

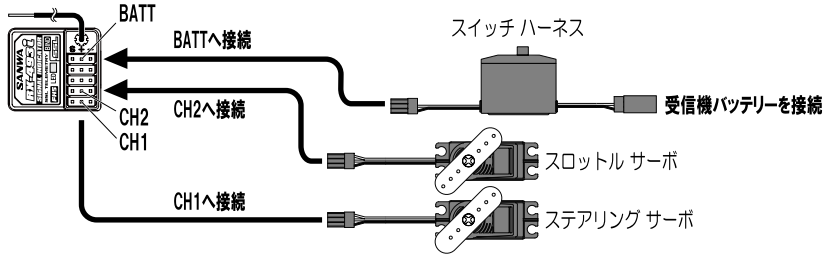
接続について

・下図を参考に受信機、サーボ等を接続してください。

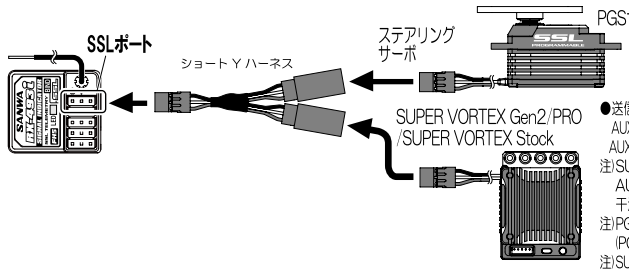
●EPカーに使用する場合の接続例



●GP(エンジン)カーに使用する場合の接続例

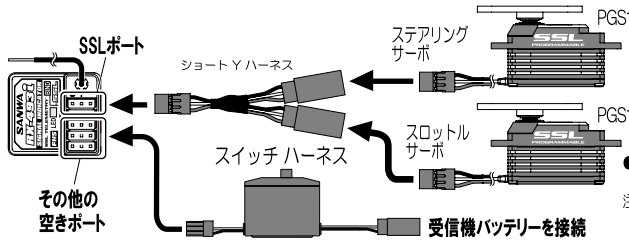


■PGSサーボとSUPER VORTEX Gen2/PRO/SUPER VORTEX StockをSSLポートに接続する場合。



●送信機のAUX TYPEの設定はAUX1、AUX2共にCODE10にしてください。
AUX1 CODE10 : SUPER VORTEX Gen2/PRO/SUPER VORTEX Stockの設定が送信機から可能になります。
AUX2 CODE10 : PGSサーボの各パラメーターの設定が送信機から可能になります。
注)SUPER VORTEX Gen2/PROにおいてはPROGRAM BOX Gen2のコード アサインでAUX2のCODE10へ機能を割り当てないでください。PGSサーボのAUX2のCODE10と干渉してしまい適切な設定ができなくなります。
注)PGSサーボのSSL-CH設定を[1]に設定してください。
(PGSサーボの工場出荷設定は[1]となっております。)
注)SUPER VORTEX ZERO/SUPER VORTEX TYPE-D/SUPER VORTEX SPORTはAUX2のCODEを使用しているため、PGSサーボのAUX2のCODE10と干渉してしまい適切な設定ができなくなりますので、PGSサーボとのSSLの併用はできません。

■PGSサーボを2台 SSLポートに接続する場合。



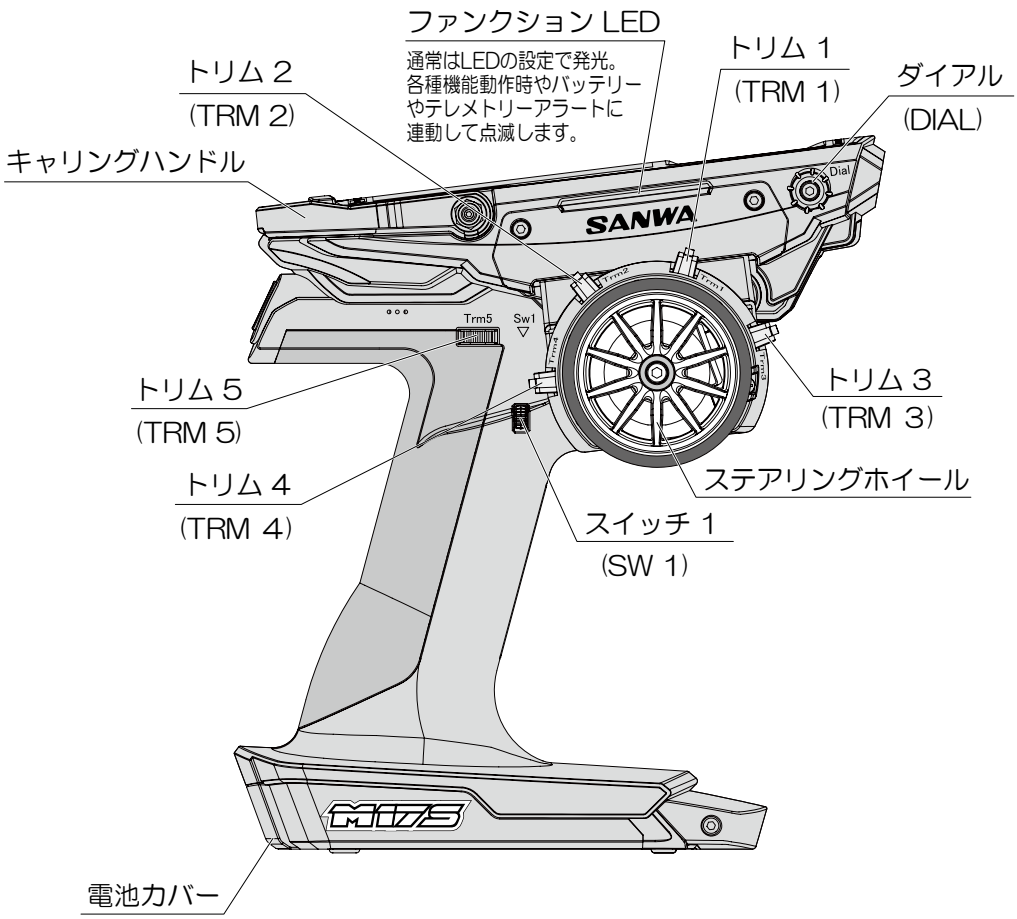
●送信機のAUX2のAUX TYPEの設定はCODE10にしてください。
AUX2 CODE10 : PGSサーボの各パラメーターの設定が送信機から可能になります。
注)ステアリング サーボに使用するPGSサーボのSSL-CH設定を[1]に設定してください。
スロットル サーボに使用するPGSサーボのSSL-CH設定を[2]に設定してください。
(PGSサーボの工場出荷設定は[1]となっております。)
注)AUX2のCODE10の機能で各パラメーターを設定する場合、AUX2のCODE1で設定したSSL-CHのPGSサーボが送信機からダイレクトに設定変更できます。AUX2のCODE1で指定されていないPGSサーボは内部に保存されているパラメーターで動作します。
※上記以外の接続例は弊社HPを参照してください。http://www.sanwa-denshi.co.jp

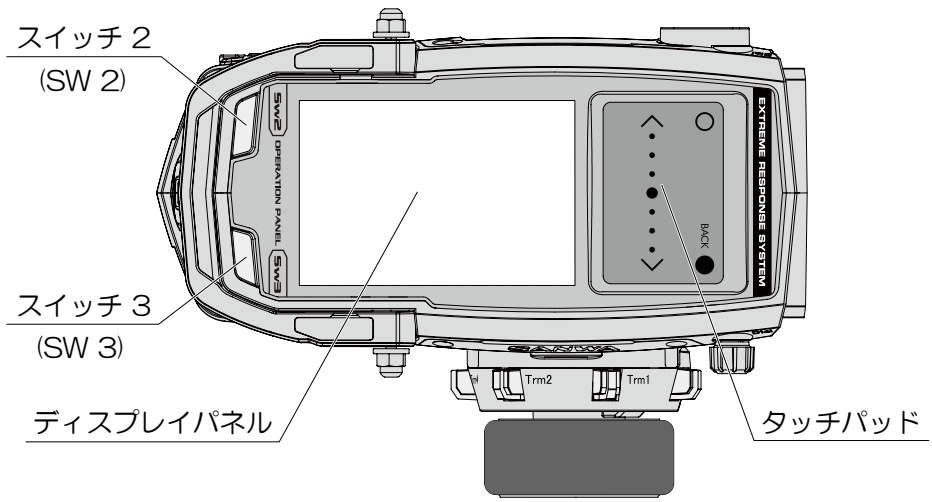
注意

●走行中の振動でコネクターが抜けると暴走の危険があります。受信機、サーボ、スイッチ等のコネクターは確実に接続してください。
●受信機は振動、衝撃、水に弱いので防振/防水対策を確実におこなってください。対策をおこたると暴走の危険があります。
●受信機の取り付けはカーボンシャシー、金属シャシーから離して取り付けてください。
●RCカーに搭載している金属パーツ同士が接触するとノイズが発生し受信性能に悪影響をおよぼし、暴走の危険があります。
●電動RCカー用のブラシモーターには必ずノイズキラーコンデンサーを取り付けてください。
ノイズキラーコンデンサーを取り付けていないと、ノイズが発生し暴走の危険があります。
●送信機、受信機、サーボ、FETスピードコントローラー、送信機バッテリー等のプロポパーツはSANWA純正品をご使用ください。
※SANWA純正品以外の組み合わせや当社以外で改造、調整、部品交換などがおこなわれた場合により発生した損害などにつきましては、当社では責任を負いません。

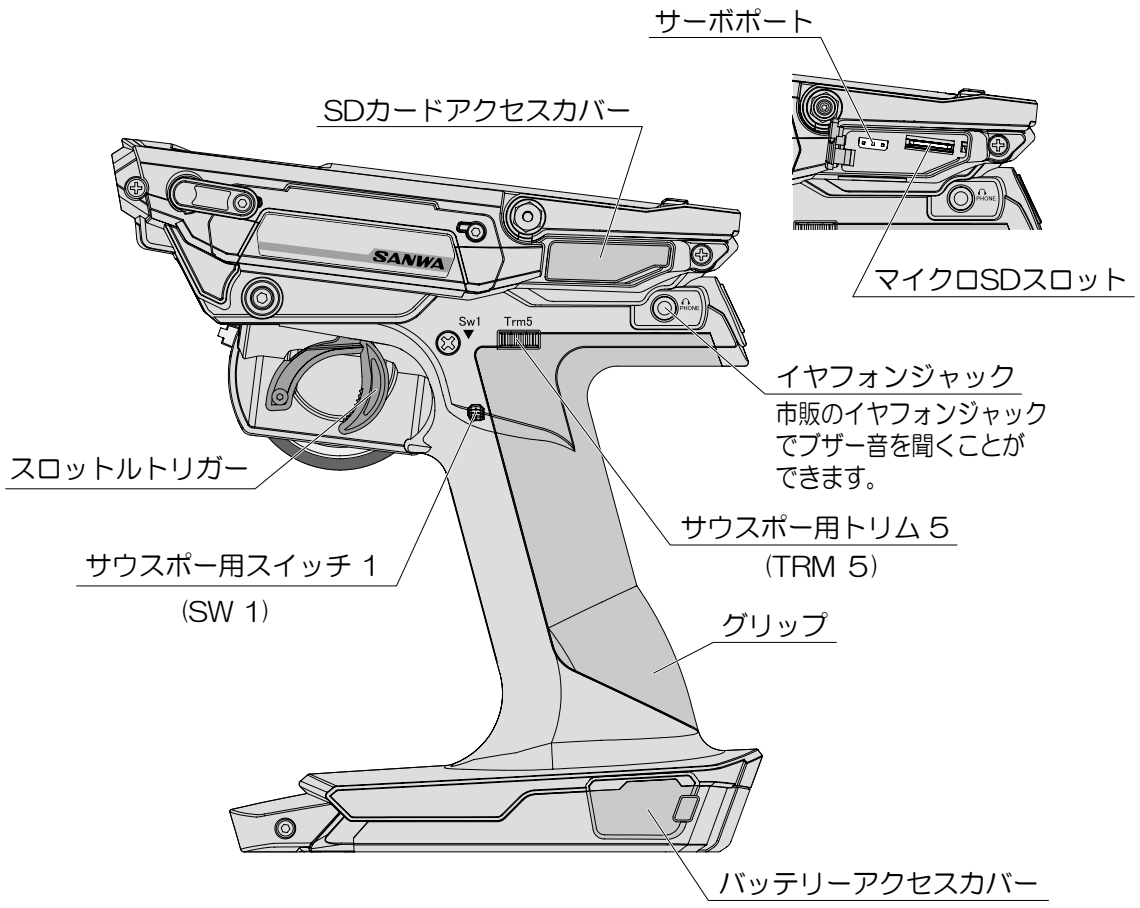
INDEX へ戻る

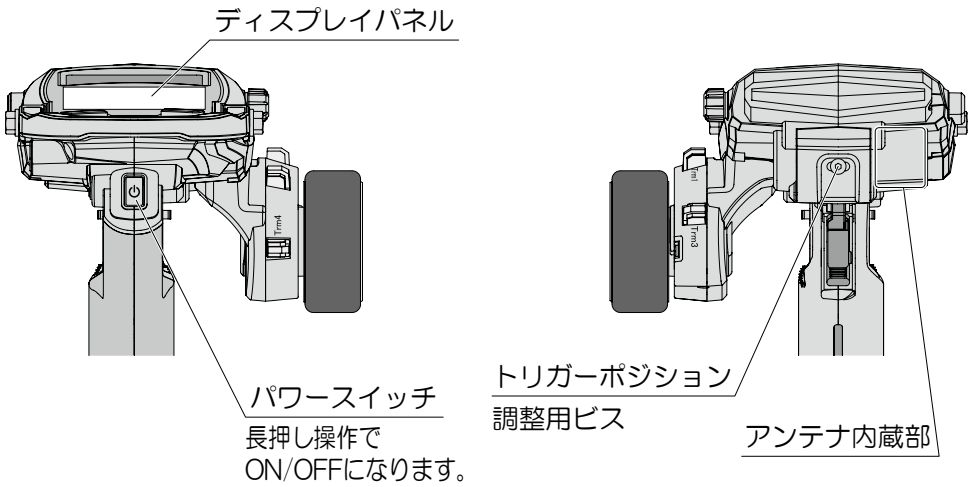
送信機各部の名称





INDEX へ戻る


サーボポート
SDカードアクセスカバー
マイクロSDスロット
SANWA
Sw1
Trm5
PHONE
イヤフォンジャック
市販のイヤフォンジャック
でブザー音を聞くことが
できます。
スロットルトリガー
サウスポー用トリム５
（TRM ５）
サウスポー用スイッチ１
（SW １）
グリップ
バッテリーアクセスカバー

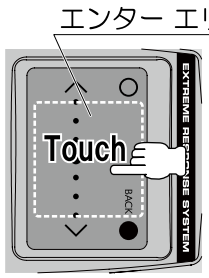
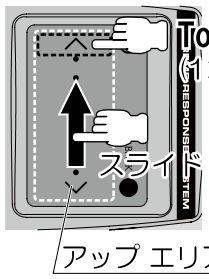
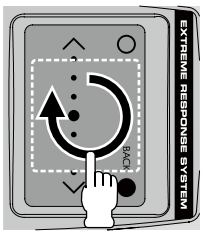
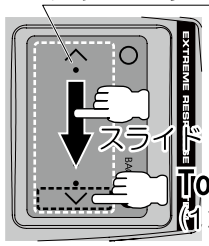
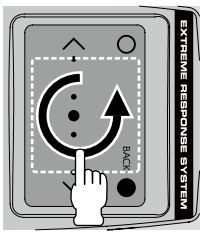
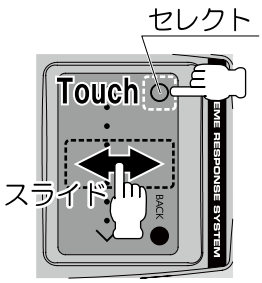
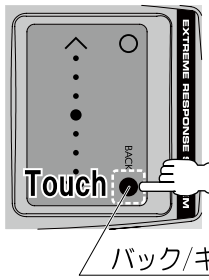

ディスプレイパネル
Trm4
Trm1
Trm3
パワースイッチ
長押し操作で
ON/OFFになります。
トリガーポジション
調整用ビス
アンテナ内蔵部

INDEX へ戻る

各機能の使用方法

タッチ パッドの操作について

●タッチ パッドへのジェスチャー操作により設定、呼び出しを簡単におこなえます。

ジェスチャー操作	名　　称	動　　作
	エンター	●エンター エリアを指先で軽くたたくようにタッチすることでエンター操作となります。 ●トップ画面から設定画面に移動。 ・設定する機能、項目を選択。 ・長押しで設定値が初期値に戻ります。
  ホイール ジェスチャー(右回転)	アップ	●アップ エリアを指でスライドすることでアップ操作になります。 ●黒枠部の1ポイント エリアをたたくようにタッチすることで1ポイントづつ設定値が増加します。 ○設定値変更中にホイール(右回転)ジェスチャーによって設定値が増加します。 ・カーソルが上方向へ移動します。 ・設定値が増加します。
ダウン エリア  ホイール ジェスチャー(左回転) 	ダウン	●ダウン エリアを指でスライドすることでダウン操作になります。 ●黒枠部の1ポイント エリアをたたくようにタッチすることで1ポイントづつ設定値が減少します。 ○設定値変更中にホイール(左回転)ジェスチャーによって設定値が減少します。 ・カーソルが下方向へ移動します。 ・設定値が減少します。
	セレクト	●セレクト エリアを指先で軽くたたくようにタッチすいることでチャンネルや機能のセレクト操作となります。 ※黒枠部を素早く左右にスライドすることでカーソルを左右に移動することも可能です。 ・チャンネルや機能を選択します。 ※レフティー(左利き)に設定するとセレクトとバック/キャンセルの操作位置が入れ替わります。
	バック/キャンセル	●バック/キャンセル エリアを指先で軽くたたくようにタッチすることでバック/キャンセル操作となります。 ・一つ前の状態に戻ります。 ・設定をキャンセルします。 ※レフティー(左利き)に設定するとセレクトとバック/キャンセルの操作位置が入れ替わります。

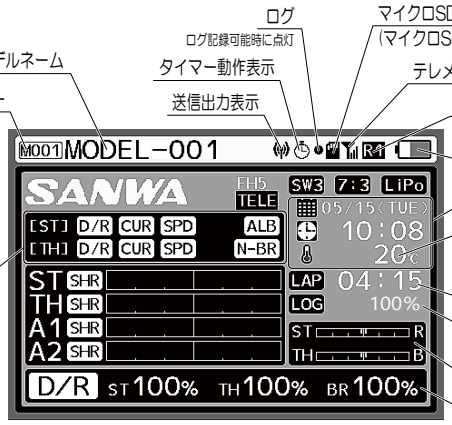
INDEX へ戻る

各機能の使用方法

ディスプレイ パネルについて

●M17S の各機能はタッチ パッドの操作でダイレクトに機能を選択できるようになっています。
●それぞれのチャンネルの機能を別々に設定することができます。
●パワースイッチを ON にするとブート画面表示後（ブートの設定が DEMO の場合）にトップ画面が立ち上がります。
各種設定を変更する場合はタッチ パッドを操作してメニューを選択してください。

トップ画面

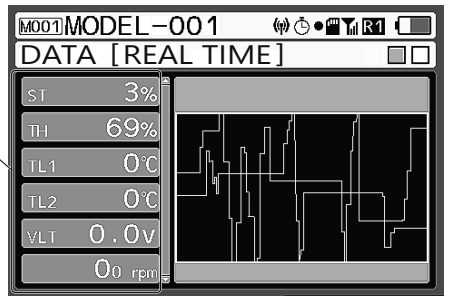


バッテリーインジケーター
クロック
気温表示
気温表示は外気温に達するのに10分程度かかります。
※内部温度センサーが外気温に達するのに時間がかかります。
タイマー
ログ残時間表示
記録可能な時間表示となります。
トリム表示
D/R表示

エフェクト インジケーター
エフェクトや機能が動作している場合画面上にアイコンが表示されます。

タッチ パッドでアップ/ダウンの操作をおこなうとトップ画面⇔テレメトリー画面の切り替えになります。

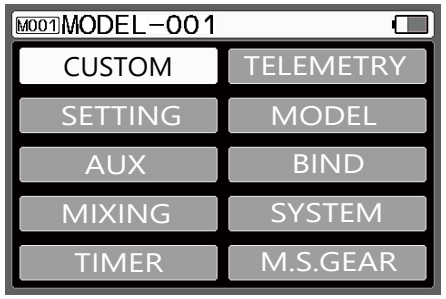
テレメトリー画面



各種テレメトリーデータ

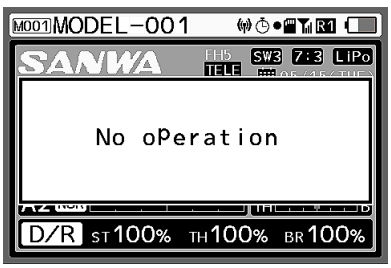
対応する機器と組み合わせてテレメトリー機能をONにすると送信機にデータが送られテレメトリー画面に表示されます。

メニューウインドウ
・メニューを選びます。
（画面例）
※トップ画面から
エンター操作



電源切り忘れアラームについて

●M17S はステアリング ホイール、スロットル トリガーや各種スイッチを操作しない時間が 10 分経過すると警告のアラームと LED 点滅ともに「No operation」と表示されます。
ステアリング ホイール、スロットル トリガーや各種スイッチを操作すると警告が解除されます。使用しないのであればパワースイッチを OFF してください。
※SYSTEM の SETUP で設定変更が可能です。（P.97 参照）

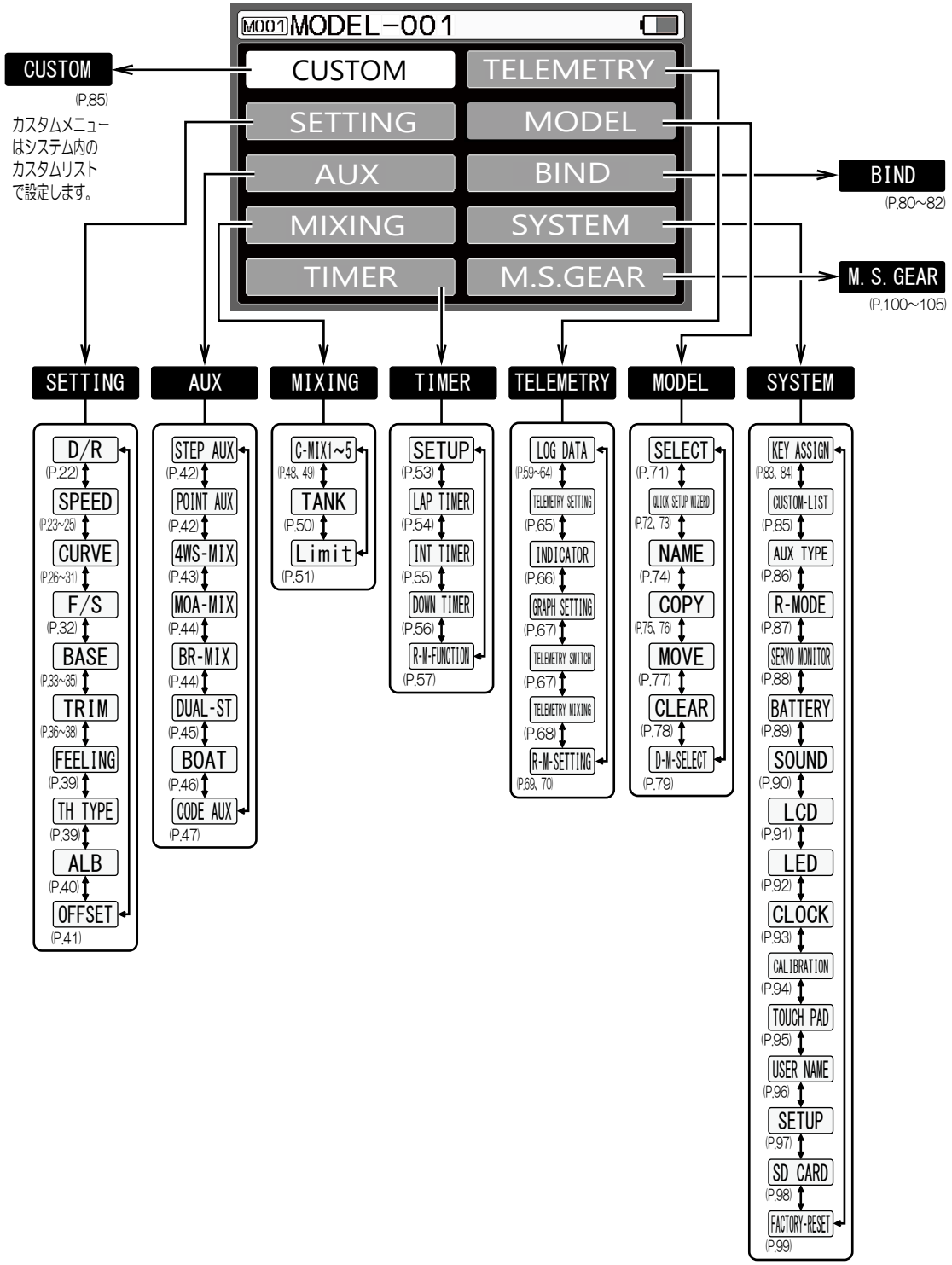


INDEX へ戻る

各機能の使用方法

メニュー構成について

●それぞれのキーを使用して、機能の設定やモデルメモリーの呼び出しなどを簡単におこなえます。
●メニューはセッティング、AUX、ミキシング、タイマー、テレメトリー、モデル、バインド、システム、マルチセッティングギアで構成されており、それぞれメニュー内に関連する機能が含まれています。



INDEX へ戻る

各機能の使用方法

LAUNCHER（ランチャー）について

●M17S にはパワースイッチを操作する際に同時にキー操作をおこなうことでランチャー（ショートカット メニュー）が立ち上がる機能が装備されています。
［SW2］を押しながらパワースイッチを ON するとランチャー機能が起動します。
ランチャーには［モデル セレクト］、［RX モード］が装備されています。
モデルセレクトは走行させるモデルを直ぐに選択できる機能で、RX モードは電波を出さずに各種の設定変更がおこなえるモードになり、テレメトリーの RX モードの機能が使用できるようになります。

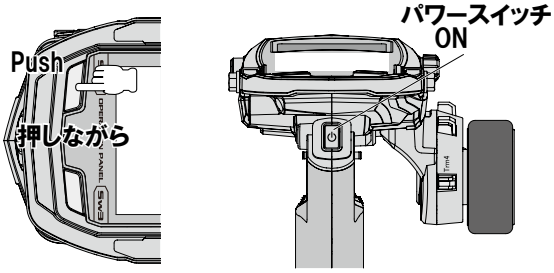
モデル セレクト <MODEL SELECT>

●モデル セレクト
1）SW2 を押しながらパワースイッチを ON します。
LAUNCHERから MODEL SELECT（モデル セレクト）を選びます。

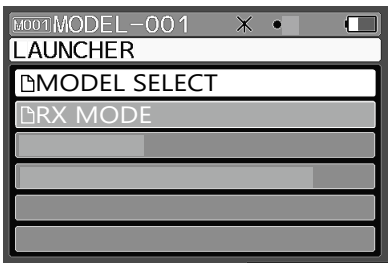
2）モデルの選択
セレクト操作で呼び出したいモデルを選択します。

○設定範囲 M001～ M250

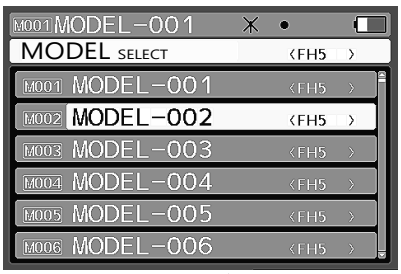
3）呼び出すモデルにカーソルを移動し、エンター操作をおこなうと画面上にメッセージが表示されますので、表示にしたがってモデル セレクトをおこなってください。



LAUNCHER画面

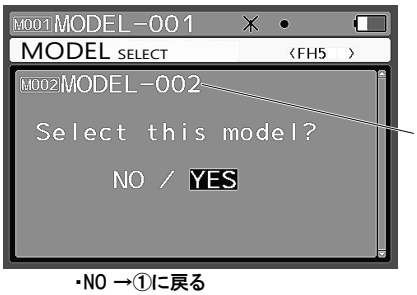


①DIRECT MODEL画面



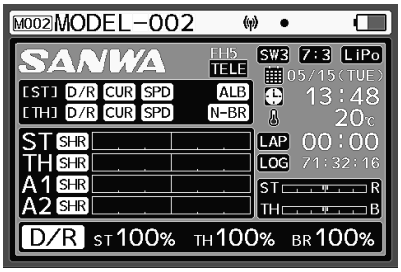
ENTER（エンター）⇩　⇧BACK（バック）

②確認画面



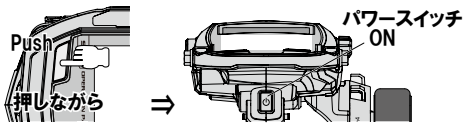
変更先
モデル表示

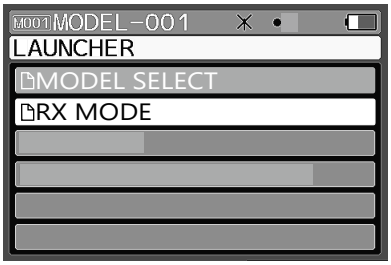
・NO →①に戻る
・YES→モデルを変更しトップへ



アールエックス モード <RX MODE>

●アールエックス モード
1）SW2 を押しながらパワースイッチを ON します。
LAUNCHER からアールエックス モードを選びます。
アールエックス モードは電波を出さずに各種の設定変更が可能になります。





※アールエックス モードの各設定は P.69、70を参照してください。
※アールエックス モードは電源 OFF で解除されます。

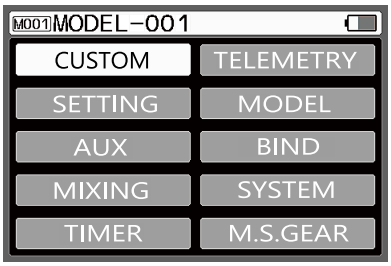
INDEX へ戻る

各機能の使用方法

デュアル レート [D/R]　　セッティング [SETTING]

●ステアリング ホイール、スロットル トリガーを最大に操作したときの舵角を調整できます。
RC カーや路面コンディションに対応させるために走らせながら調整します。
※ステアリングは左右同時、スロットルはハイ側 / ブレーキ側を別々に調整することが可能です。
ブレーキ側も EPA で調整するよりも細かく調整できます。
●ステアリング ホイール / スロットル トリガーを操作してリンケージがロックする状態からデュアル レート (D/R) の設定値を増やさないでください。
●スロットル側のデュアル レートを調整することで、より細かな調整が可能になります。
※ AUX1/AUX2 が CODE10 に設定されている場合には D/R の設定変更をおこなっても動作には反映されません。

1) タッチ パッドで [SETTING] を選択してエンター操作で決定し、
[D/R] でエンター操作で決定します。



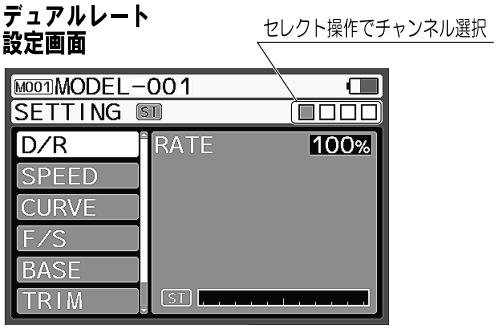
ENTER (エンター)　BACK (バック)

2) セレクト操作で調整する機能
[ST/TH(H、B)/AUX1/AUX2] を選択します。

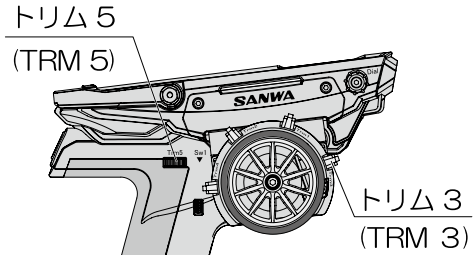
3) デュアル レートの設定値をタッチ パッドで調整します。
(アップ / ダウン時は文字色が赤、ホイール時には文字色が青)

4) 走行中はステアリング デュアル レートがトリム3、ブレーキ デュアル レートがトリム5で調整できます。キー アサイン トリム機能でトリム3、トリム5に他の機能を割り当てることが可能です。(P.84)
※選択した機能をキャンセルする場合にはバック操作をしてください。

デュアルレート 設定画面

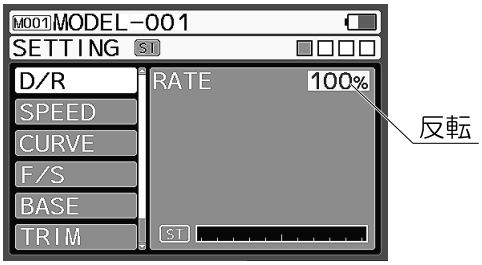


○設定範囲　ST/TH-H/AUX1/AUX2 : 0%～100%
TH-B : 0%～120%
○初期値　ST/TH/AUX1/AUX2 : 100%

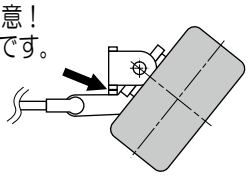


ENTER (エンター)　BACK (バック)

ステアリング デュアル レート設定画面



※サーボがロックしてジリジリうならないように注意！
注) スロットルも同様です。



注意　●リンケージがロックした状態が長く続くと、サーボモーター破損の原因になります。

補足　●デュアルレートの調整をおこなう前にステアリング / スロットル リンケージのエンド ポイント アジャストをおこなってください。(P.33)

INDEX へ戻る

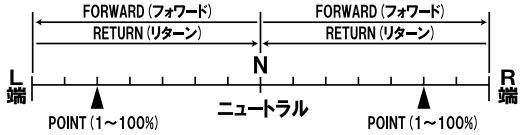
各機能の使用方法

スピード［SPEED］　セッティング［SETTING］

●ステアリング / スロットルなどで使用するサーボのスピードを制御する機能です。
設定することにより急激な操作をおこなってもRCカーには反応がでないようにすることができます。
ステアリング側ではスムーズなコーナーワークが可能となり、スロットル側ではパワーセーブしたスロットルワークで
コーナーから安定した立ち上がりを実現します。
※AUXのTYPEを［CODE10］に設定するとAUXチャンネルのスピード機能を調整しても動作に反映されません。
※AUXチャンネルのスピード設定はステアリング / スロットルを参考にして調整してください。

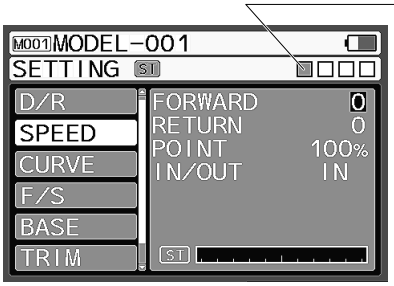
ステアリング・スピード［ST-SPEED］

●ステアリング操作に対してステアリング サーボのスピードを遅らせる機能です。ステアリングをきるとき（フォワード）と戻すとき（リターン）のスピードを独立して設定できます。なお、設定より遅いステアリング操作ではスピード機能は働きません。



※IN/OUTの設定をすることで、POINT（ポイント）よりも内側（IN）か外側（OUT）でスピードの機能を動作させるか設定することができます。

セレクト操作で［ST］選択



1）タッチ パッドで［SPEED］を選択し、エンター操作で決定し、
セレクト操作で［ST（ステアリング）］を選択します。

2）フォワード側の設定（FORWARD）
［FORWARD］を選択してタッチ パッドで設定値を調整します。
※選択した機能をキャンセルする場合にはバック操作をしてください。

○設定範囲　0～－100
○初期値　0

3）リターン側の設定（RETURN）
［RETURN］を選択してタッチ パッドで設定値を調整します。

○設定範囲　0～－100
○初期値　0

4）ポイントの設定（POINT）
［POINT］を選択してタッチ パッドで設定値を調整します。

○設定範囲　1～100%
○初期値　100%

5）イン / アウトの設定（IN/OUT）
［IN/OUT］を選択してタッチ パッドを設定します。
ポイントよりも内側で動作させる場合は［IN］
外側で動作させる場合は［OUT］に設定してください。

○設定範囲　IN / OUT
○初期値　IN

※実際に走行しながら調整をおこなってください。機能を使用しないときや調整しても設定値が決まらないときは設定値を0%（リニア）にしてください。

補足
●RCカーのドライビングではRCカーの動きにあわせたステアリング操作が重要であり過大操作は禁物です。
ステアリング - スピードは無駄な操作をおさえ、スムーズなコーナリングを実現できます。
●ステアリング - スピードとステアリング - カーブを併用するとさらに効果が倍増します。

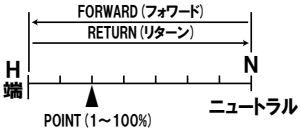
INDEXへ戻る

各機能の使用方法

スピード［SPEED］ | **セッティング［SETTING］**

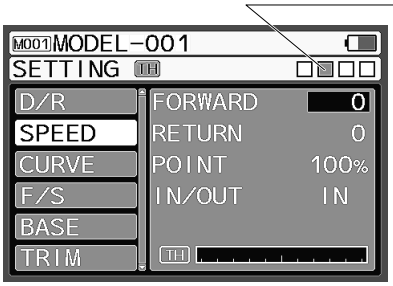
スロットル・スピード［TH-SPEED］

●スロットル操作に対してスロットル サーボの動作スピードやスピードコントローラーの反応を遅らせる機能です。
スロットルをいれるとき（フォワード）と戻すとき（リターン）のスピードを独立して設定できます。
なお、設定より遅いスロットル操作ではスピード機能は働きません。
※ハイ側のみの設定となり、ブレーキ側は設定できません。



※IN/OUTの設定をすることで、POINT（ポイント）よりも内側（IN）か外側（OUT）でスピードの機能を動作させるか設定することができます。

セレクト操作で［TH］選択



1) タッチ パッドで［SPEED］を選択し、エンター操作で決定し、
セレクト操作で［TH（スロットル）］を選択します。

2) フォワード側の設定（FORWARD）
［FORWARD］を選択してタッチ パッドで設定値を調整します。
※選択した機能をキャンセルする場合にはバック操作をしてください。

○設定範囲　0～－100
○初期値　0

3) リターン側の設定（RETURN）
［RETURN］を選択してタッチ パッドで設定値を調整します。

○設定範囲　0～－100
○初期値　0

4) ポイントの設定（POINT）
マルチセレクターで POINT を設定します。

○設定範囲　POINT H：1～100%
○初期値　POINT H：50%

5) イン / アウトの設定（IN/OUT）
［IN/OUT］を選択してタッチ パッドを設定します。
ポイントよりも内側で動作させる場合は［IN］
外側で動作させる場合は［OUT］に設定してください。

○設定範囲　IN / OUT
○初期値　IN

※実際に走行しながら調整をおこなってください。機能を使用しないときや調整しても設定値がきまらないときは設定値を0%（リニア）にしてください。

補足
●RC カーのドライビングでは RC カーの動きにあわせたスロットル操作が重要であり過大操作は禁物です。
スロットル - スピードは無駄な操作をおさえ、スムーズな動作を実現できます。
●スロットル - スピードとスロットル - カーブを併用するとさらに効果が倍増します。

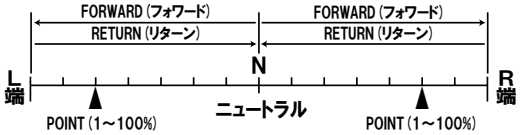
INDEX へ戻る

各機能の使用方法

スピード［SPEED］ | **セッティング［SETTING］**

AUX1/AUX2・スピード［AUX-SPEED］

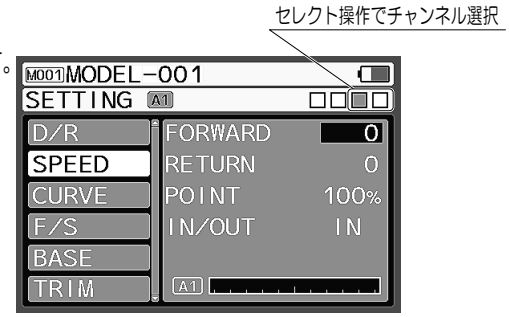
● AUX1/AUX2 の操作に対してサーボのスピードを遅らせる機能です。フォワードとリターンのスピードを独立して設定できます。
なお、設定より遅い操作ではスピード機能は働きません。



※IN/OUTの設定をすることで、POINT（ポイント）よりも内側（IN）か外側（OUT）でスピードの機能を動作させるか設定することができます。

1) タッチ パッドで［ SPEED ］を選択し、エンター操作で決定し、
セレクト操作で［ AUX1、AUX2 ］を選択します。

2) フォワード側の設定（FORWARD）
［ FORWARD ］を選択してタッチ パッドで設定値を調整します。
※選択した機能をキャンセルする場合にはバック操作をしてください。



○設定範囲　0～－100
○初期値　0

3) リターン側の設定（RETURN）
［ RETURN ］を選択してタッチ パッドで設定値を調整します。

○設定範囲　0～－100
○初期値　0

4) ポイントの設定（POINT）
［ POINT ］を選択してタッチ パッドで設定値を調整します。

○設定範囲　1～100%
○初期値　100%

5) イン / アウトの設定（IN/OUT）
［ IN/OUT ］を選択してタッチ パッドを設定します。
ポイントよりも内側で動作させる場合は［ IN ］
外側で動作させる場合は［ OUT ］に設定してください。

○設定範囲　IN / OUT
○初期値　IN

※実際に走行しながら調整をおこなってください。機能を使用しないときや調整しても設定値が決まらないときは設定値を 0%（リニア）にしてください。

補足
● RC カーのドライビングでは RC カーの動きにあわせた操作が重要であり過大操作は禁物です。
AUX- スピードは無駄な操作をおさえ、スムーズな動作を実現できます。
● AUX- スピードと AUX- カーブを併用するとさらに効果が倍増します。

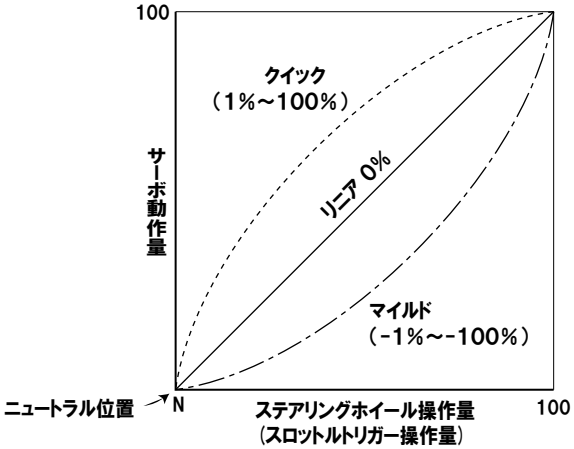
INDEX へ戻る

各機能の使用方法

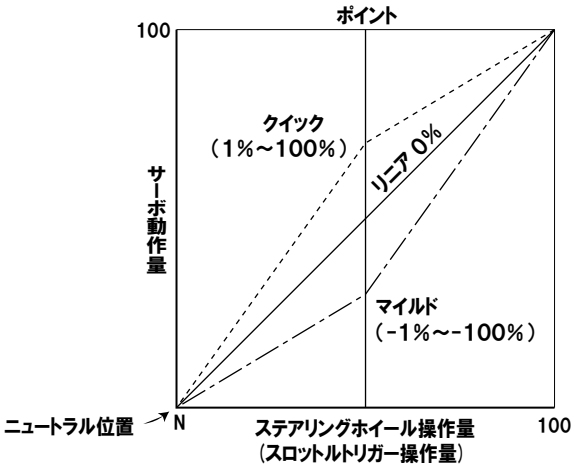
カーブ［CURVE］　セッティング［SETTING］

●ステアリング ホイール、スロットル トリガー、AUX の操作に対して、サーボの動作量を可変させる機能です。
設定値をプラス（＋）側にするとクイックに。マイナス（－）側にするとマイルドに反応します。
●曲線的な動作のエクスポネンシャル (EXP) と直線的な動作のアジャスタブル レート コントロール (ARC)、
ポイントごとに設定値を変更して動作させるポイント カーブ (9 ポイント) の動作を選択できます。
※ AUX の TYPE を［CODE］に設定すると AUX チャンネルのカーブ機能を調整しても動作に反映されません。
※ AUX チャンネルのカーブ設定はステアリング / スロットルを参考にして調整してください。

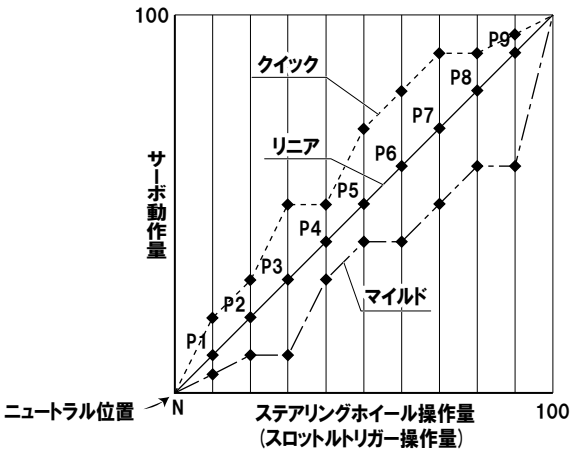
・エクスポネンシャル (EXP)
※スロットルはハイ側 (H)/ ブレーキ側 (B) を別々に設定できます。



・アジャスタブル レート コントロール (ARC)
POINT の設定を調整することで動作が可変する位置を変えることができます。
※スロットルはハイ側 (H)/ ブレーキ側 (B) を別々に設定できます。



・ポイント カーブ (CRV)
ポイント (P1 ～ P9) の設定値を調整することで、動作を可変することができます。
※スロットルはハイ側 (H)/ ブレーキ側 (B) を別々に設定できます。



INDEX へ戻る

各機能の使用方法

ステアリング・エクスポネンシャル［ST-EXP］

●ステアリング特性をマイルド⇔リニア⇔クイックまで可変できます。
一般的に RC カーがオーバーステアに感じられるときは設定値をマイナス側に設定し、アンダーステアに感じたときは数値をプラス側に設定します。
ステアリング・エクスポネンシャルは L/R 同時設定になります。

1) タッチ パッドで［ CURVE ］を選択し、エンター操作で決定し、
セレクト操作で ST を選択して、タッチ パッドにより ST の CURVE TYPE を［ EXP ］に設定します。

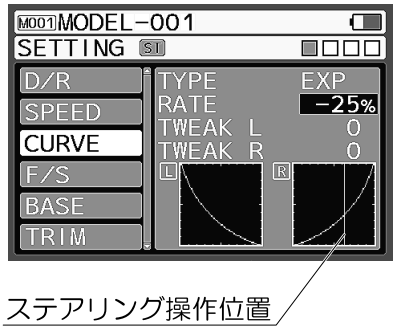
2) タッチ パッドで設定値を調整します。

○設定範囲　－ 100% ～ 100%
○初期値　　0%

3) ツイークの設定 (TWEAK)
ステアリングの L 側と R 側で EXP のバランスを微調整する場合に TWEAK で設定します。

○設定範囲　－ 20 ～ 20
○初期値　　0

※選択した機能をキャンセルする場合にはバック操作をしてください。



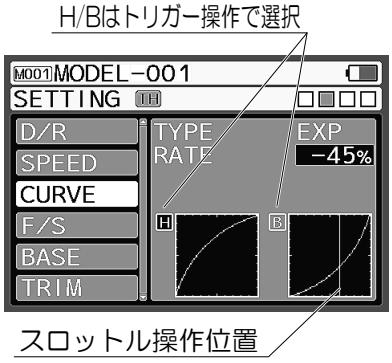
スロットル・エクスポネンシャル［TH-EXP］

●スロットル特性をマイルド⇔リニア⇔クイックまで可変できます。
一般的に滑りやすい路面やオーバーパワーと感じるときには設定値をマイナス側に設定し、ハイグリップな路面状況やパワーユニットにパワー不足を感じるときには設定値をプラス側に設定します。
ハイ側 / ブレーキ側を個別に設定可能です。
※ハイ側 / ブレーキ側の選択はトリガー操作によっておこないます。

1) タッチ パッドで［ CURVE ］を選択し、エンター操作で決定し、
セレクト操作で TH を選択して、タッチ パッドにより TH の CURVE TYPE を［ EXP ］に設定します。

2) タッチ パッドで設定値を調整します。

○設定範囲　-100% ～ 100%
○初期値　　0%



INDEX へ戻る

各機能の使用方法

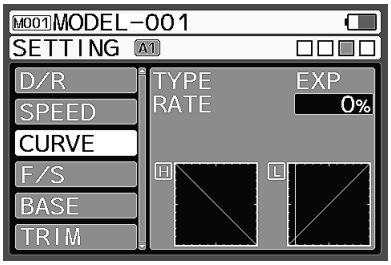
AUX1・エクスポネンシャル［AUX1-EXP］

● AUX1 の動作特性をマイルド⇔リニア⇔クイックまで可変できます。
　ハイ側 / ロー側を個別に設定可能です。
※ AUX TYPE で AUX1 を［CODE10］に設定すると設定値を変更しても動作には反映されません。

1) タッチ パッドで［CURVE］を選択し、エンター操作で決定し、
　セレクト操作で AUX1 を選択して、タッチ パッドにより AUX1 の CURVE TYPE を［EXP］に設定します。

2) タッチ パッドで設定値を調整します。

　○設定範囲　-100% ～ 100%
　○初期値　　0%



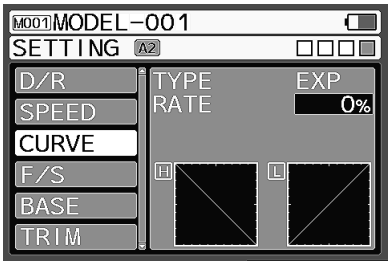
AUX2・エクスポネンシャル［AUX2-EXP］

● AUX2 の動作特性をマイルド⇔リニア⇔クイックまで可変できます。
　ハイ側 / ロー側を個別に設定可能です。
※ AUX TYPE で AUX2 を［CODE10］に設定すると設定値を変更しても動作には反映されません。

1) タッチ パッドで［CURVE］を選択し、エンター操作で決定し、
　セレクト操作で AUX2 を選択して、タッチ パッドにより AUX2 の CURVE TYPE を［EXP］に設定します。

2) タッチ パッドで設定値を調整します。

　○設定範囲　-100% ～ 100%
　○初期値　　0%



INDEX へ戻る

各機能の使用方法

ステアリング・アジャスタブル レート コントロール［ST-ARC］

●ステアリング特性をマイルド⇔リニア⇔クイックまで可変できます。一般的に RC カーがオーバーステアに感じられるときは設定値をマイナス側に設定し、アンダーステアに感じたときは数値をプラス側に設定します。
ステアリング・アジャスタブル レート コントロールは L/R 同時設定になります。

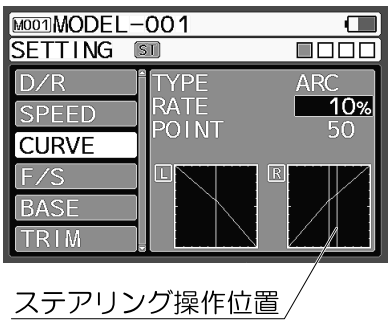
1) タッチ パッドで［ CURVE ］を選択し、エンター操作で決定し、
セレクト操作で ST を選択して、タッチ パッドにより ST の CURVE TYPE を［ ARC ］に設定します。

2) レートの設定 (RATE)
タッチ パッドで［ RATE ］を選択して設定値を調整します。

○設定範囲　－ 100% ～ 100%
○初期値　　0%

3) ポイントの設定 (POINT)
タッチ パッドで［ POINT ］を選択して設定値を調整します。

○設定範囲　1% ～ 99%
○初期値　50%



※選択した機能をキャンセルする場合にはバック操作をしてください。

スロットル・アジャスタブル レート コントロール［TH-ARC］

●スロットル特性をマイルド⇔リニア⇔クイックまで可変できます。一般的に滑りやすい路面やオーバーパワーと感じるときには設定値をマイナス側に設定し、ハイグリップな路面状況やパワーユニットにパワー不足を感じるときには設定値をプラス側に設定します。ハイ側 / ブレーキ側を個別に設定可能です。
※ハイ側 / ブレーキ側の選択はトリガー操作によっておこないます。

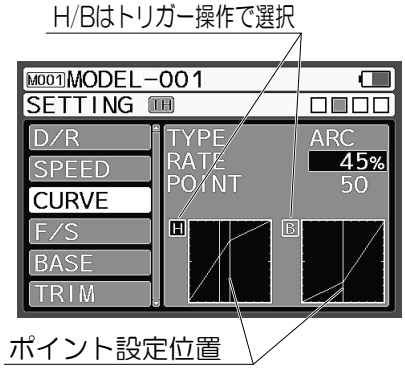
1) タッチ パッドで［ CURVE ］を選択し、エンター操作で決定し、
セレクト操作で TH を選択して、タッチ パッドにより TH の CURVE TYPE を［ ARC ］に設定します。

2) レートの設定 (RATE)
タッチ パッドで［ RATE ］を選択して設定値を調整します。

○設定範囲　－ 100% ～ 100%
○初期値　　0%

3) ポイントの設定 (POINT)
タッチ パッドで［ POINT ］を選択して設定値を調整します。

○設定範囲　1% ～ 99%
○初期値　50%



※選択した機能をキャンセルする場合にはバック操作をしてください。

INDEX へ戻る

各機能の使用方法

AUX1・アジャスタブル レート コントロール［AUX1-ARC］

● AUX1 の動作特性をマイルド⇔リニア⇔クイックまで可変できます。
ハイ側 / ロー側を個別に設定可能です。
※ AUX TYPE で AUX1 を［CODE10］に設定すると設定値を変更しても動作には反映されません。

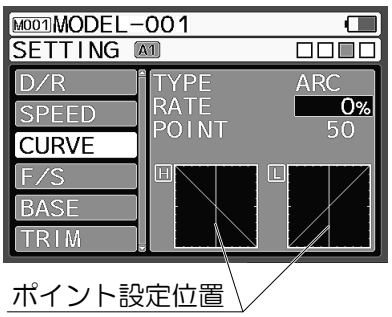
1) タッチ パッドで［CURVE］を選択し、エンター操作で決定し、
セレクト操作で AUX1 を選択して、タッチ パッドにより AUX1 の CURVE TYPE を［ARC］に設定します。

2) レートの設定 (RATE)
タッチ パッドで［RATE］を選択して設定値を調整します。

○設定範囲　-100%～100%
○初期値　　0%

3) ポイントの設定 (POINT)
タッチ パッドで［POINT］を選択して設定値を調整します。

○設定範囲　1%～99%
○初期値　　50%



※選択した機能をキャンセルする場合にはバック操作をしてください。

AUX2・アジャスタブル レート コントロール［AUX2-ARC］

● AUX2 の動作特性をマイルド⇔リニア⇔クイックまで可変できます。
ハイ側 / ロー側を個別に設定可能です。
※ AUX TYPE で AUX1 を［CODE10］に設定すると設定値を変更しても動作には反映されません。

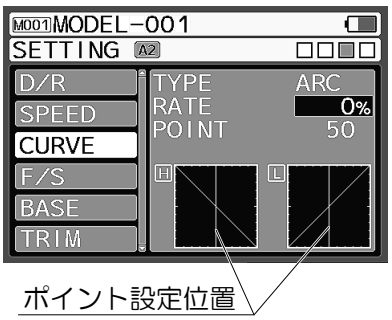
1) タッチ パッドで［CURVE］を選択し、エンター操作で決定し、
セレクト操作で AUX2 を選択して、タッチ パッドにより AUX2 の CURVE TYPE を［ARC］に設定します。

2) レートの設定 (RATE)
タッチ パッドで［RATE］を選択して設定値を調整します。

○設定範囲　-100%～100%
○初期値　　0%

3) ポイントの設定 (POINT)
タッチ パッドで［POINT］を選択して設定値を調整します。

○設定範囲　1%～99%
○初期値　　50%



※選択した機能をキャンセルする場合にはバック操作をしてください。

INDEX へ戻る

各機能の使用方法

CRV・ポイント カーブ [ST/TH/AUX1/AUX2-CRV]

●ステアリングやスロットル、AUX などのニュートラルからフルストロークまでの間で 9 ポイントを設け、ポイントごとの設定値を調整することで動作を可変させる機能です。スロットルはハイ側 (H)/ ブレーキ側 (B) を別々に設定できます。

1) タッチ パッドで [CURVE] を選択し、エンター操作で決定します。

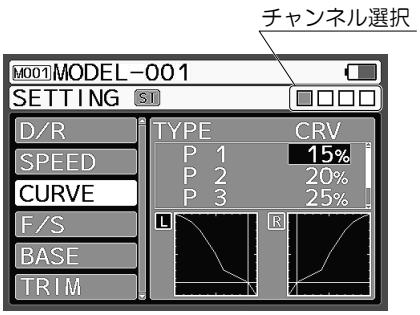
2)TYPE で [CRV] を選択します。

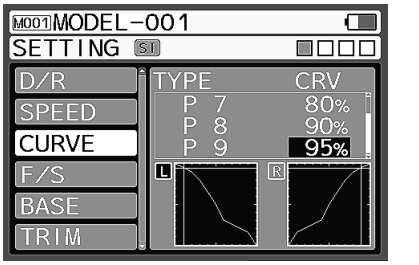
3) セレクト操作で設定するチャンネルを選択します。

○設定範囲　ST/TH/AUX1/AUX2

4) タッチ パッドで CRV のそれぞれのポイントの設定値を調整します。

○設定範囲　P1 ～ P9 : 0 ～ 100%
○初期値　P1 : 10%
P2 : 20%
P3 : 30%
P4 : 40%
P5 : 50%
P6 : 60%
P7 : 70%
P8 : 80%
P9 : 90%





INDEX へ戻る

各機能の使用方法

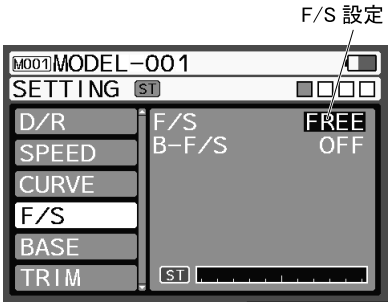
フェール セーフ [F/S]　セッティング [SETTING]

●フェール セーフとは受信機が送信機からの電波を受信できないような状況になった場合に各チャンネルをあらかじめ設定した位置にサーボを保持させる機能で、エンジン RC カーで受信機側のバッテリー電圧が設定電圧以下になった場合にそれぞれのチャンネルのサーボをフェール セーフで設定した位置にサーボを保持させる機能がバッテリー フェール セーフです。
●バッテリー フェール セーフは FREE/HOLD に設定されている場合は設定できません。
※電動 RC カーではバッテリー フェール セーフの機能は使用しないでください。

1) タッチ パッドで [F/S] を選択し、エンター操作で決定し、セレクト操作でフェール セーフを設定するチャンネル (ST/TH/AUX1/AUX2) を選択します。

2) 設定するチャンネルでエンター操作してタッチ パッドでアップ / ダウン操作するとフェールセーフのモード設定が
FREE → FS → HOLD の順番で切り替ります。

○設定範囲　FREE/FS(L150% ～ R150%、H150% ～ B150%)/HOLD
○初期設定　FREE



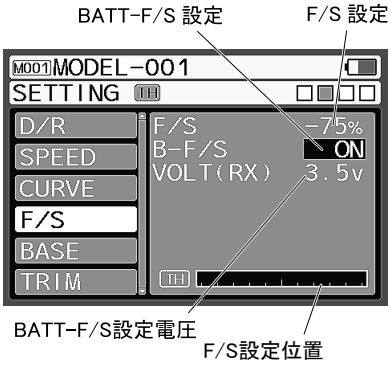
※各モードについて
FREE (フリー モード) ・・・・・受信機が送信機からの電波を受信できなくなるとサーボへの信号出力を停止してサーボはフリーの状態になります。
FS(フェール セーフ モード)・・・受信機が送信機からの電波を受信できなくなると設定した位置にサーボを保持します。
HOLD (ホールド モード) ・・・・受信機が送信機からの電波を受信できなくなる直前の位置を保持します。

• FREE/HOLD/FS の各モードは送信機からの信号を再び受信できるようになった場合は自動的に解除します。

3) フェール セーフの設定 (F/S)
フェール セーフ モードで動作させる位置に操作して、位置が決定したらタッチ パッドを長押してフェール セーフが働いたときの位置を設定します。
※安全面からフェール セーフの設定はスロットル チャンネルをブレーキ側に設定することをおすすめします。

4) バッテリー フェール セーフの設定 (B-F/S)
各チャンネルの位置を設定後、カーソルを [B-F/S] に移動して電圧を設定します。

○設定範囲 • FH5/FH5U : OFF、3.5v ～ 7.4v



※バッテリー フェール セーフは GP カーで使用した場合に受信機バッテリーの電圧が設定した電圧になるとフェール セーフが動作する機能です。
電動 RC カーではバッテリー フェール セーフの機能は使用しないでください。

5) フェール セーフの確認
フェール セーフの設定がおこなわれている状態で送信機の電源を OFF にして、フェール セーフを設定したポジションにサーボが移動するか確認してください。

重要
●フェール セーフについて
フェール セーフ機能を ON にした場合は走行前にフェール セーフの設定を確認してください。
走行中にフェール セーフの設定を変更しないでください。

INDEX へ戻る

各機能の使用方法

ベース［BASE］　セッティング［SETTING］

●ベース［BASE］とはRCカーに合わせて各チャンネルのサーボやスピードコントローラー等の動作方向を決めるリバースやニュートラル位置を調整するサブ トリム、動作量を設定するエンド ポイント アジャスト（EPA）の機能を一つの機能（ベース）に集約させて一括で設定できるようにした機能です。

エンド ポイント アジャスト［EPA］　ベース［BASE］

●ステアリング ホイール / スロットル トリガーを操作した際のステアリング サーボの左右動作量の調整、スロットルサーボのハイ側、ブレーキ側動作量の調整やAUX1、AUX2（3ch、4ch）のサーボ動作量の調整が可能です。

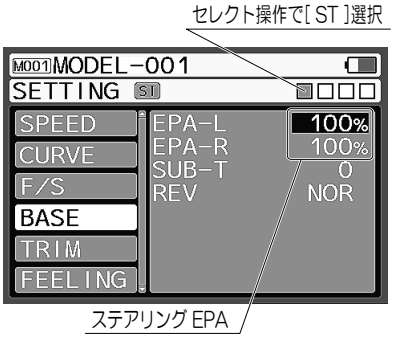
●リンケージやサス バランス、タイヤ径の違いなどから左右のコーナリング半径が違う事があります。
このようなときに左右のサーボ動作量を調整して左右のコーナリング半径が同じになるように調整します。

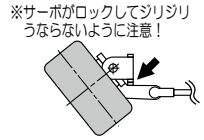
1）ステアリング・エンド ポイント アジャスト（ST-EPA）を調整する前にサーボのニュートラル調整（P.35）をおこなってください。
・ニュートラル調整とは、電源を入れてサーボ ホーンをおおよそのセンター位置に取り付け、サブ トリムでセンター位置をあわせることです。

2）タッチ パッドで［BASE］を選択し、エンター操作で決定し、［EPA-L/EPA-R］のどちらかを選択してエンター操作で決定します。

3）動作量をタッチ パッドで調整します。
※カーソルがEPA-L/EPA-Rのどちらかに有る場合はステアリング操作でもカーソル移動が可能です。

○設定範囲　L/R 0～150%
○初期値　L/R 100%





注意 ●リンケージがロックした状態が長く続くと、サーボ破損の原因になります。

スロットル・エンド　ポイント　アジャスト［TH-EPA］

●FETスピードコントローラーのハイ ポイント、ブレーキ ポイントの調整、エンジンカーのキャブレター、ブレーキ動作量の調整をおこないます。

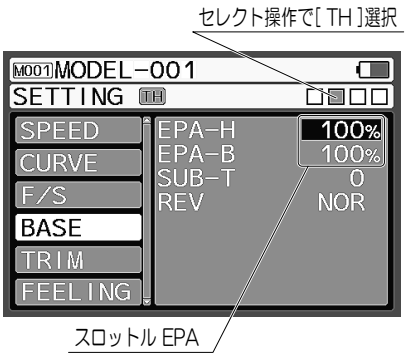
1）エンジンカーの場合にはスロットル・エンド ポイント アジャスト（TH-EPA）を調整する前にサーボのニュートラル調整（P.35）をおこなってください。
・ニュートラル調整とは、電源を入れてサーボ ホーンをおおよそのセンター位置に取り付け、サブ トリムでセンター位置をあわせることです。

2）タッチ パッドで［BASE］を選択し、エンター操作で決定し、セレクト操作で［TH/ スロットル］を選択します。

3）タッチ パッドで［EPA-H/EPA-B］のどちらかを選択してエンター操作で決定します。

4）タッチ パッドで動作量を調整します。
FETスピードコントローラーを調整する場合には通常ハイ側、ブレーキ側共に設定値を100%にしておき、FETスピードコントローラー側でニュートラル、ハイポイント、ブレーキポイントを設定します。（FETスピードコントローラーによって設定方法が異なります。）
※カーソルがEPA-H/EPA-Bのどちらかに有る場合はトリガー操作でもカーソル移動が可能です。

○設定範囲　H/B 0～150%
○初期値　H/B 100%





注意 ●スロットル リンケージでキャブレター全開側、ブレーキ側のEPA設定値が大きすぎるとサーボがロックした状態になりサーボ モーターの故障原因となり、暴走の危険があります。

INDEXへ戻る

各機能の使用方法

AUX1・エンド ポイント アジャスト [AUX1-EPA]

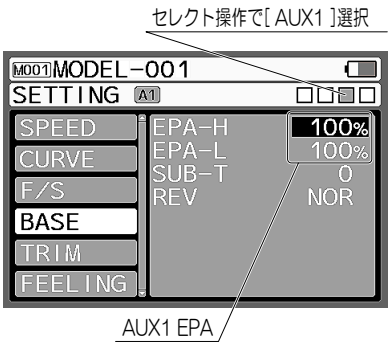
● AUX1 はアクセサリー等の動作に使用でき、EPA により最大舵角 (動作量) の調整が可能です。H(ハイ)/L(ロー) 個別に設定可能なので、こまかい調整が可能です。
※ AUX TYPE で AUX1 を [CODE10] に設定すると EPA を調整しても動作は反映されません。

1)AUX1・エンド ポイント アジャスト (AUX1-EPA) を調整する前に サーボのニュートラル調整 (P.35) をおこなってください。
・ニュートラル調整とは、電源を入れてサーボ ホーンをおおよそのセンター位置に取り付け、サブ トリムでセンター位置をあわせることです。

2) タッチ パッドで [BASE] を選択し、エンター操作で決定し、セレクト操作で [AUX1] を選択します。
タッチ パッドで [EPA-H/EPA-L] のどちらかを選択してエンター操作で決定します。

3) タッチ パッドで動作量を調整します。

○設定範囲　H/L 0～150%
○初期値　　H/L 100%



AUX2・エンド ポイント アジャスト [AUX2-EPA]

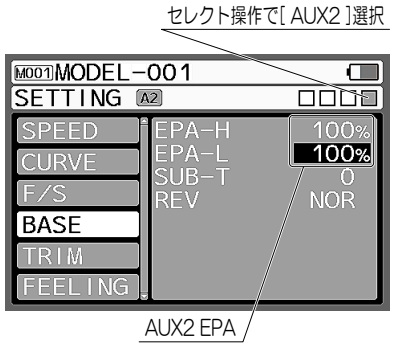
● AUX2 はアクセサリー等の動作に使用でき、EPA により最大舵角 (動作量) の調整が可能です。H(ハイ)/L(ロー) 個別に設定可能なので、こまかい調整が可能です。
※ AUX TYPE で AUX2 を [CODE10] に設定すると EPA を調整しても動作は反映されません。

1)AUX2・エンド ポイント アジャスト (AUX2-EPA) を調整する前にサーボのニュートラル調整 (P.35) をおこなってください。
・ニュートラル調整とは、電源を入れてサーボ ホーンをおおよそのセンター位置に取り付け、サブ トリムでセンター位置をあわせることです。

2) タッチ パッドで [BASE] を選択し、エンター操作で決定し、セレクト操作で [AUX2] を選択します。
タッチ パッドで [EPA-H/EPA-L] のどちらかを選択してエンター操作で決定します。

3) タッチ パッドで動作量を調整します。

○設定範囲　H/L 0～150%
○初期値　　H/L 100%

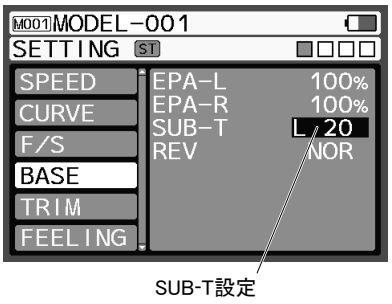


INDEX へ戻る

各機能の使用方法

サブ トリム [SUB-T]　ベース [BASE]

●サブ トリム機能を使用してステアリング / スロットル /AUX1/AUX2 のニュートラル (センター) を補正し、トリムはセンター位置で使用できるようにします。RC カーへサーボを搭載するときにサブ トリムでサーボのセンターを出してからエンド ポイント アジャストの調整をおこなってください。

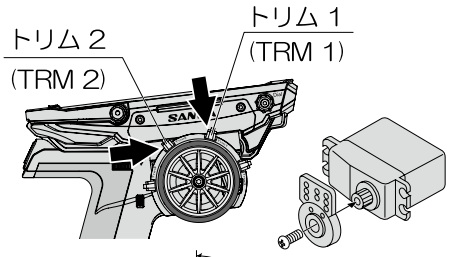


1) 使用する前に各メイン トリムをセンター (0) にしてください。

2) タッチ パッドで [SUB-T] を選択して、セレクト操作でサブ トリムの調整をおこなうチャンネル (ST/TH/AUX1/AUX2) を選択します。

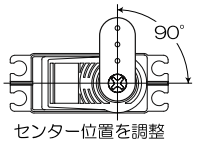
3) 設定するチャンネルでエンター操作して決定します。

4) サーボ ホーン (サーボセーバー ホーン) をセンター位置にいちばん近いところに取り付けます。
※サーボ ホーンの取り付け位置については車体側の取扱説明書にしたがってください。



5) タッチ パッドを操作してセンターを調整します。

○設定範囲　L150 ～ R150(ST)、
　　H150 ～ B150(TH)、
　　H150 ～ L150(AUX1、AUX2)
○初期値　0



センター位置を調整

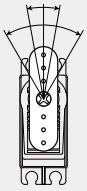
⚠ 注意

●サーボにサーボ ホーンを取り付ける際に、できるだけセンターに近い位置でサーボ ホーンを固定してサブ トリムでセンターを出してください。サブ トリムと送信機メイン トリムが片方にかたよると、ステアリング ホイールやスロットルトリガーにデッドバンド (サーボが動かない領域) が発生します。

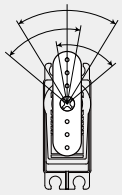
重要

●トリムとサブ トリムについて
トリムとは、サーボのニュートラル (センター) 位置を調整する機能です。ステアリング サーボを車体に搭載後走行させて直進しない場合にステアリングのメイン トリムを調整します。
また、エンジンRCカーでのキャブレターのニュートラル位置はサーボ搭載後にリンケージ調整と共にスロットルサーボのニュートラル調整の必要があります。ニュートラル位置の調整はサーボ搭載後におこなうだけでなく、タイヤの磨耗やシャシーのねじれなど走行中の変化に対応するためにも必要になります。
M17Sのトリムは動作角の端はそのままでニュートラル位置だけを調整するセンター トリムと動作角の端とニュートラル位置を一緒に動かすパラレルトリムの2種類があります。サーボ ホーンを固定する前にニュートラル (センター) 位置を調整するサブ トリムはパラレル トリムで、メイントリムがセンタートリムです。

○センター トリム (メイン トリム)
トリムでニュートラル位置を移動しても動作角の端は動きません



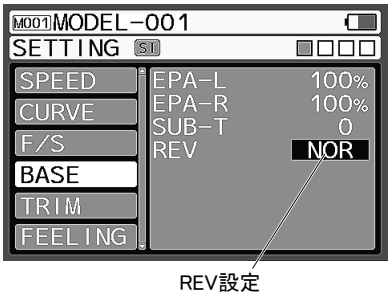
○パラレル トリム (サブ トリム)
トリムでニュートラル位置を移動すると動作角の端も一緒に移動します。
リンケージをおこなった後でサブトリムを調整した場合はエンド ポイント アジャスト (EPA) の再調整が必要になります。



リバース [REV]　ベース [BASE]

●ステアリング / スロットル /AUX1/AUX2 を操作したときに、操作とサーボの動作が逆になる場合に使用します。

1) タッチ パッドで [BASE] を選択し、エンター操作で確定し、セレクト操作で設定するチャンネル (ST/TH/AUX1/AUX2) を選択します。



2) 設定するチャンネルでエンター操作してタッチ パッドを操作するとリバースの設定が切り替わります。
※選択した機能をキャンセルする場合にはバック操作をしてください。

○設定範囲　NOR/REV
○初期値　NOR

INDEX へ戻る

各機能の使用方法

トリム [TRIM] | **セッティング [SETTING]**

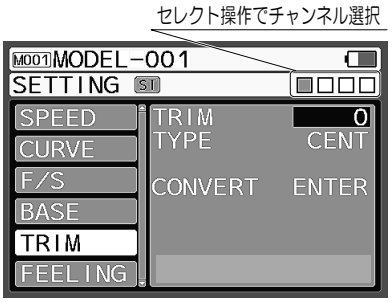
●トリムは各チャンネルのトリムの調整とトリム動作 (センター / パラレル) の設定がおこなえます。

トリム [TRIM]

●トリムでそれぞれのチャンネル (ST/TH/AUX1/AUX2) のニュートラル (センター) を補正します。
●初期設定ではトリム 1(TRM1) にステアリング、トリム 2(TRM2) にスロットルが設定されています。

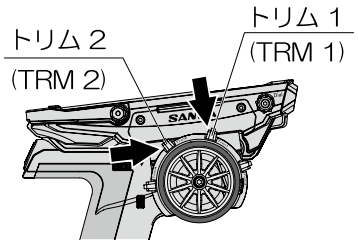
1) タッチ パッドで [TRIM] を選択し、エンター操作で確定し、
トリム調整をおこなうチャンネル (ST/TH/AUX1/AUX2) をセレクト操作で選択します。

2) エンター操作で決定してタッチ パッドで調整します。



○設定範囲　ST : L100 ～ R100
TH : H100 ～ B100
AUX1 : H100 ～ L100
AUX2 : H100 ～ L100

○初期値　ST : 0
TH : 0
AUX1 : 0
AUX2 : 0



※走行中のトリム調整は TRM1(ST)、TRM2(TH) で調整してください。
キー アサイン トリム機能でトリム レバーの位置変更が可能です。(P.89)

重要

●トリムについて
トリムとは、サーボのニュートラル (センター) 位置を調整する機能です。
ステアリング サーボを車体に搭載後、走行させて直進しない場合にトリムで調整します。
ニュートラル位置の調整は、サーボ搭載後におこなうだけでなくタイヤの磨耗やシャシーのねじれなど走行中の変化に対応するためにも必要になります。
●リンケージ調整をするときにセンター位置を調整するのはサブ トリムです。(P.35)

INDEX へ戻る

各機能の使用方法

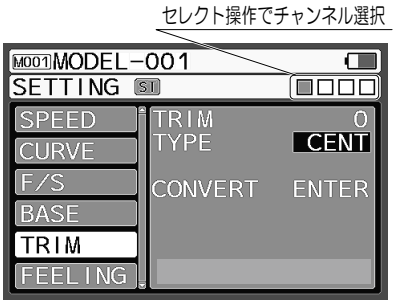
トリム タイプ [TRIM TYPE]

●各チャンネルのトリム動作をセンター トリム (CENT) とパラレル トリム (PARA) に設定可能です。
●初期設定ではトリム 1(TRM1) にステアリング、トリム 2(TRM2) にスロットルが設定されています。

1) タッチ パッドで [TRIM] を選択し、エンター操作で確定し、
設定するチャンネル (ST/TH/AUX1/AUX2) をセレクト操作で選択します。

2) エンター操作で決定してタッチ パッドで調整します。

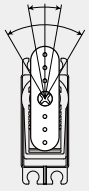
○設定範囲　CENT(センター トリム)/PARA(パラレル トリム)
○初期値　　CENT(センター トリム)



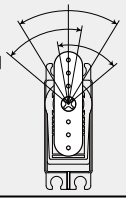
重要

●センター トリムとパラレル トリムについて
トリム動作時に動作角の端はそのままでニュートラル位置だけを調整するのがセンター トリムでトリム動作時に動作角の端とニュートラル位置を一緒に動かすパラレル トリムの2種類があります。サーボ ホーンを固定する前にニュートラル (センター) 位置を調整するサブ トリムはパラレル トリムで、メイントリムがセンター トリムとパラレル トリムの選択式になります。用途に合わせて設定してください。

○センター トリム
トリムでニュートラル位置を移動しても動作角の端は動きません。



○パラレル トリム
トリムでニュートラル位置を移動すると動作角の端も一緒に移動します。
リンケージをおこなった後でサブ トリムを調整した場合はエンド ポイント アジャスト (EPA) の再調整が必要になります。



INDEX へ戻る

各機能の使用方法

コンバート [CONVERT]

●各チャンネルで調整されたトリムをサブ トリムとEPAに変換し、トリムをセンターに補正する機能です。
設定によってはコンバートできない場合があります。

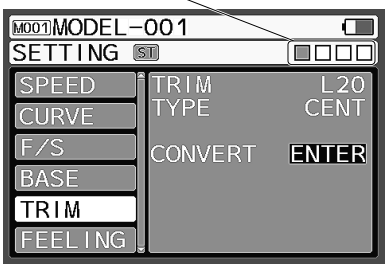
1) タッチ パッドで [TRIM] を選択し、エンター操作で確定し、
セレクト操作でコンバートをおこなうチャンネル (ST/TH/AUX1/AUX2)
を選択します。

2) 設定するチャンネルが決定したらエンター操作でコンバート機能を動作
させます。

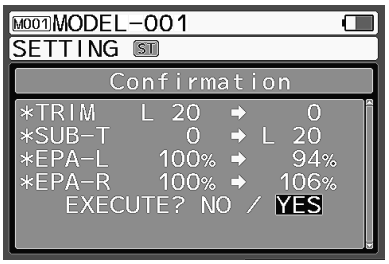
3) 例としてステアリング トリムが [L20] の状態でEPAがそれぞれ100%
の場合にコンバート機能を使用した場合には右図の流れになります。
トリムがセンター (0) になり、トリム移動分がサブ トリムとEPAに変換
されます。

※コンバートは各チャンネルで設定可能です。

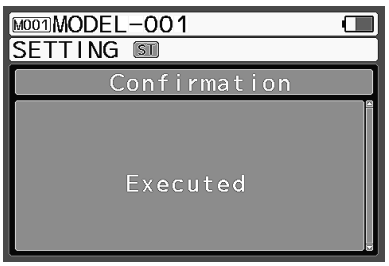
セレクト操作でチャンネル選択



ENTER (エンター) BACK (バック)

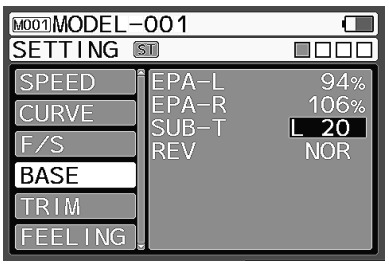


ENTER (エンター) BACK (バック)



コンバート終了

コンバート終了後のBASE画面



INDEX へ戻る

各機能の使用方法

フィーリング［FEELING］　セッティング［SETTING］

●ステアリングとスロットルの設定を別々に変更することで操作した際の動作フィーリングを変えることができます。

1) タッチ パッドで［ FEELING ］を選択し、エンター操作で確定します。

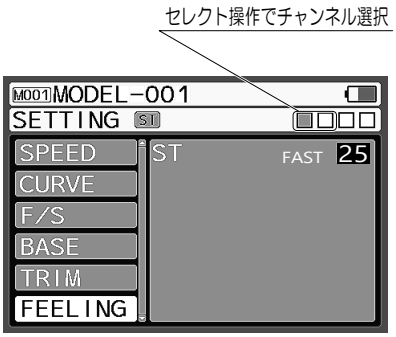
2) セレクト操作で FEELING の設定をおこなうチャンネル (ST/TH) を選択します。

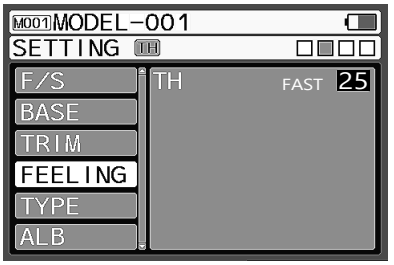
3) 設定するチャンネルが決定したらタッチ パッドでフィーリング機能を設定します。

○設定範囲　ST：25～1
　　TH：25～1
○初期値　ST：25
　　TH：25

※ 25 が最速のレスポンスを発揮する設定になります。
25・・・1と設定変更可能ですが速く細かい動作
の 25 から変化して、1 が一番遅く荒い動作になります。

※設定変更しても再 BIND の必要はありません。
※ BIND のレスポンス モードのように使用する機器による動作の制約はありません。
※フィーリングの設定はステアリング、スロットルのみの設定になります。





スロットル タイプ［TH TYPE］　セッティング［SETTING］

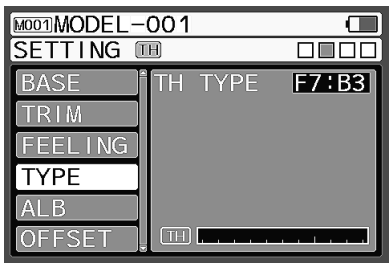
●スロットルのニュートラル位置を移動して、前進側とブレーキ (後進) 側の動作比率を7：3か5：5のどちらかに設定できます。
※使用するスピードコントローラー等に合わせてスロットル タイプの設定をおこなってください。

1) タッチ パッドで［ TYPE ］を選択し、エンター操作で確定します。
※ TYPE はスロットル チャンネルがセレクトされていないと表示されません。

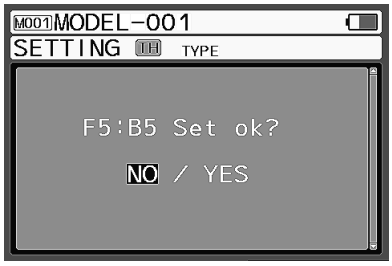
2) スロットル タイプ設定 (TH TYPE)
タッチ パッドでスロットル タイプの設定をおこないます。

○設定範囲　F 7：B 3/F 5：B 5
○初期値　F 7：B 3

※ TH TYPE を変更すると確認画面へ移行して画面上にメッセージが表示されますので、メッセージにしたがって操作してください。



ENTER (エンター)　BACK (バック)



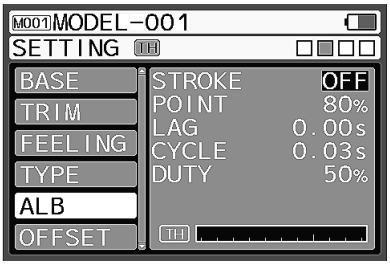
INDEX へ戻る

各機能の使用方法

アンチ ロック ブレーキ［ALB］　セッティング［SETTING］

●アンチ ロック ブレーキにより、グリップが低い路面で安定したブレーキングが可能となります。
●ブレーキングが安定するため、狙い通りのコーナリング ラインをトレースすることができます。

1) タッチ パッドで［ ALB ］を選択し、エンター操作で確定します。
※ ALB はスロットル チャンネルがセレクトされていないと表示されません。



ENTER（エンター）　BACK（バック）

2) ストロークの設定 (STROKE)
タッチ パッドで ALB のストローク設定をおこないます。
ストロークはブレーキ時の繰り返し動作の幅です。

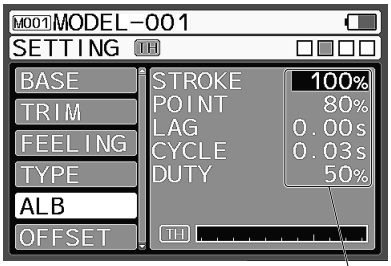
○設定範囲　OFF、1 ～ 100%
○初期値　　OFF　※ OFF では ALB は動作しません。

3) ポイントの設定 (POINT)
タッチ パッドで ALB のポイント設定をおこないます。
ポイントはブレーキを操作したときに ALB が動作を始める位置です。

○設定範囲　5% ～ 100%
○初期値　　80%

4) ラグの設定 (LAG)
タッチ パッドで ALB のラグ設定をおこないます。
ラグはポイントまで操作してから ALB が動作を始めるまでのタイムラグの設定です。

○設定範囲　0.00s ～ 1.00s
○初期値　　0.00s



各パラメーターを設定してください。

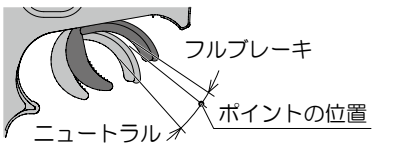
5) サイクルの設定 (CYCLE)
タッチ パッドで ALB のサイクル設定をおこないます。サイクルはブレーキ時の繰り返し動作の周期設定です。

○設定範囲　0.01s ～ 1.00s
○初期値　　0.03s

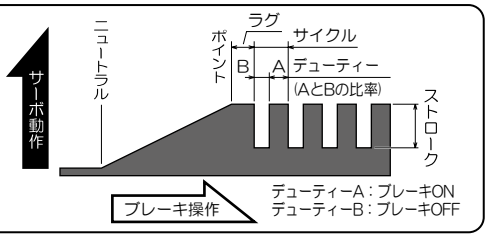
6) デューティーの設定 (DUTY)
タッチ パッドで ALB のデューティー設定をおこないます。
デューティーはサイクルのブレーキ ON とブレーキ OFF の比率設定をおこないます。

○設定範囲　20 ～ 100%
○初期値　　50%

※アンチ ロック ブレーキが動作中はファンクション LED が点滅します。



※ポイントの位置からフルブレーキに
操作しているときにALBが動作します。



補足
●RC カーのタイヤがグリップ力を失わない (すべらない) 程度にブレーキを強めに効かせ、タイヤがロックしてすべる寸前にアンチ ロック ブレーキが働くように調整してください。
●電動 RC カーでバック付きスピードコントローラーを使用して ALB を設定するとバックの動作が出来なくなる場合があります。バック動作を使用する場合には ALB を OFF にしてください。

INDEX へ戻る

各機能の使用方法

オフセット［OFFSET］　セッティング［SETTING］

●エンジンRCカーのエンジン始動時にスロットル ニュートラルの位置を移動することで、エンジンの始動性が向上します。
●エンジンRCカーの給油時にエンジンが停止しないようにアイドリングを上げた位置に固定できます。(I-UP)
●スロットル カットは設定したスイッチを操作することでスロットル位置を任意に設定したポイントへ移動する機能で
RCボート等のエンジンを停止させることができます。(TH CUT)
●オフセット機能で様々なパワーソースに対応できます。(N-BR)
●オフセット機能のON/OFFは出荷状態ではスイッチやキーに割り当てられていません。
使用する場合にはキーアサインで機能を割り当ててください。(P.83、84)

1) タッチ パッドで［OFFSET］を選択し、エンター操作で確定します。
※OFFSETはスロットル チャンネルがセレクトされていないと表示
されません。

2) オフセットの設定 (OFFSET)
タッチ パッドでオフセット機能のON/OFF設定をおこないます。

○設定範囲　ON/OFF
○初期値　OFF

3) タイプの設定 (TYPE)
タッチ パッドでオフセットのタイプ設定をおこないます。

○設定範囲　I-UP(アイドル アップ)/N-BR(ニュートラル ブレーキ)
TH CUT(スロットル カット)
○初期値　I-UP

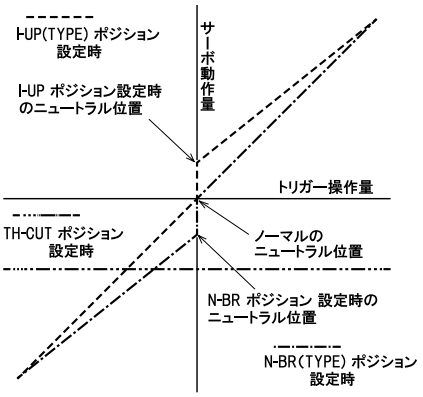
4) ポイントの設定 (POINT)
タッチ パッドでオフセットのポイント設定をおこないます。

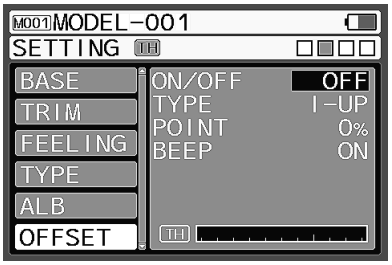
○設定範囲　0%～100%
○初期値　0%

5) ビープの設定 (BEEP)
オフセット動作時のアラーム(ビープ)の設定をおこないます。

○設定範囲　ON/OFF
○初期値　ON

※オフセット機能が動作している場合はファンクションLEDが点滅します。





INDEXへ戻る

各機能の使用方法

エーユーエックス［AUX］

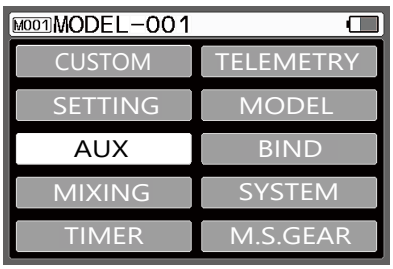
●エー ユー エックスは AUX1、AUX2(3ch、4ch) の動作を設定する機能です。
STEP AUX(ステップ)、POINT AUX(ポイント)、4WS(4輪操舵：同位相、逆位相)、MOA MIX(前後別駆動)、BR-MIX(ブレーキ ミキシング)、DUAL-ST(デュアル ステアリング)、BOAT(ボート)、CODE AUX(CODE10：コード通信) から選ぶことができます。
※ AUX TYPE の設定はシステムメニューでおこないます。使用する用途にあわせてあらかじめ設定してください。

ステップ エーユーエックス［STEP AUX］　エーユーエックス［AUX］

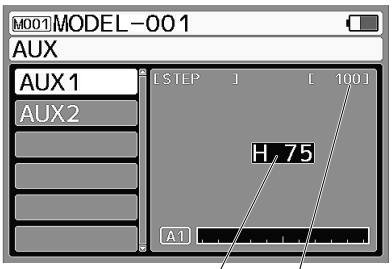
●ステップ AUX 機能の設定により、割り当てたトリムやスイッチの操作により動作量を設定できます。
●工場出荷時には AUX 機能はステップ AUX に設定されています。

1) タッチ パッドで [AUX] を選択してエンター操作で確定します。

2) ステップ エー ユー エックスの設定 (STEP AUX)
タッチ パッドの操作でステップ エー ユー エックスの動作ポジションを設定します。
ステップ動作量は AUX TYPE の MODE(モード) によって変化します。
使用方法にあわせてステップ動作量を調整してください。
※ステップ動作量は 1/2/5/10/20/25/50/100 となり、AUX TYPE の MODE で設定します。
※動作量は EPA(エンド ポイント アジャスト P.34) でも設定可能です。
※使用方法にあわせてキー アサインで機能をトリムやダイアルに割り当てて使用してください。



ENTER (エンター)　BACK (バック)



動作ポジション表示
ステップ動作量はAUX TYPEで調整

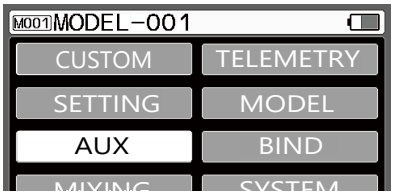
ポイント エーユーエックス［POINT AUX］　エーユーエックス［AUX］

●ポイント AUX を設定することで、AUX1/AUX2(3ch/4ch) の動作を設定したポイントへ移動させることができます。
ダイアルやスイッチ、トリムに機能を割り当てることで動作させるポイントにサーボ位置を移動させることができます。
動作ポイントは EPA(エンド ポイント アジャスト) で設定できますので、使用方法にあわせて動作ポイントの動作量を調整してください。
※ポイント数は２～６ポイントになり、AUX TYPE の MODE で設定します。

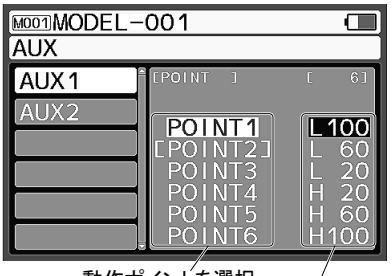
1) タッチ パッドで [AUX] を選択してエンター操作で確定します。

2) ポイント エー ユー エックスの設定 (POINT AUX)
AUX1、AUX2 をタッチパッドで選択してエンター操作で確定し、タッチ パッドで動作ポイントとポイント動作量を調整します。

※使用方法にあわせて [SYSTEM] の [AUX TYPE] で [POINT AUX] に設定してください。
※キー アサインでダイアルやトリム、スイッチに機能を割り当てて動作させるか、タッチ パッドでポイント移動をおこなってください。
※スイッチにポイント AUX を割り当てた場合は選択されている動作ポイントの ON/OFF 動作が可能になります。(OFF の位置はニュートラルの位置)



ENTER (エンター)　BACK (バック)



動作ポイントを選択
ポイント動作量を調整

INDEX へ戻る

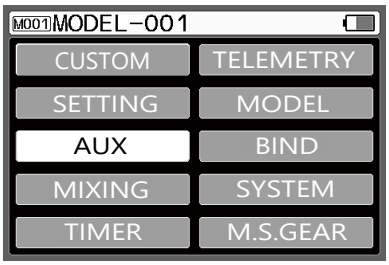
各機能の使用方法

4 ホイール ステアリング (4 輪操舵:同位相 / 逆位相) [4WS-MIX]　エーユーエックス［AUX］

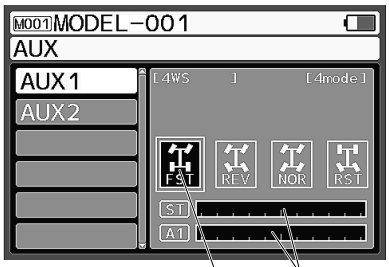
●割り当てたトリムやスイッチの操作により４ホイール ステアリング (４輪操舵) の動作を制御します。

1) タッチ パッドで [AUX] を選択してエンター操作で確定します。

2) 動作モードの設定
タッチ パッドで 4WS の動作モードを設定します。使用方法にあわせて動作モードを設定してください。
※走行しながら使用する場合にはダイアル、トリムかスイッチに動作モードの機能を割り当ててください。
※動作モードをダイアルやトリムに割り当てた場合は設定値の変更、スイッチに割り当てた場合には機能の ON/OFF になります。

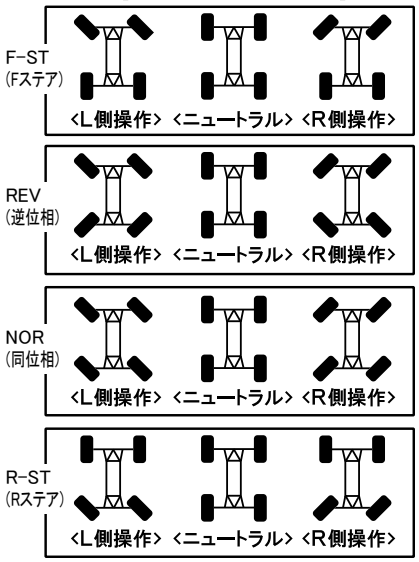


ENTER (エンター)　BACK (バック)



サーボモニター
動作モードの切り替え

［ステアリング動作イメージ］



INDEX へ戻る

各機能の使用方法

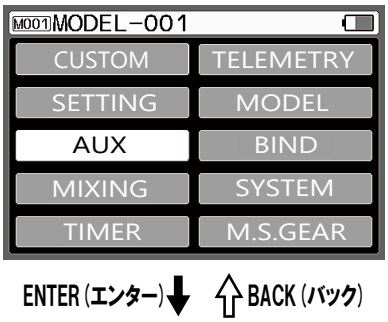
モーター オン アクスル (前後別駆動) [MOA-MIX]　エーユーエックス [AUX]

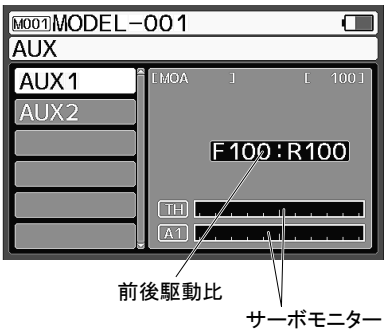
●モーター オン アクスル (MOA) を設定することで前後２モーター仕様の車体で前後の駆動比を調整することができます。

1) タッチ パッドで [AUX] を選択してエンター操作で確定します。

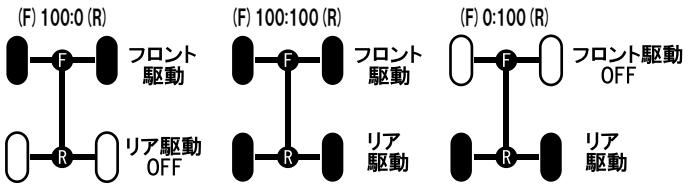
2) 動作モードの設定
　タッチ パッドで MOA の動作を設定します。
※前後駆動配分を変更するステップ設定は [SYSTEM] の [AUX TYPE] の [MODE] で設定してください。
※使用する際はトリムかダイアル、スイッチに機能を割り当てるかタッチ パッドで操作をおこなってください。(キー アサイン P.83、84)
※動作モードをトリムかダイアルに設定した場合は前後駆動配分設定、

※リアモーターを制御するスピードコントローラーは TYPE を MOA に設定したチャンネル (AUX1/AUX2) に接続してください。





[MOA動作イメージ]



※比率を変更することで前後の駆動比を調整できます。

ブレーキ ミキシング [BR-MIX]　エーユーエックス [AUX]

● 1/5 スケールのエンジン RC カーで、スロットル サーボ以外のサーボで前後のブレーキを制御する場合でブレーキが動作するときの動作タイミングを調整する機能です。

1) タッチ パッドで [AUX] を選択してエンター操作で確定します。

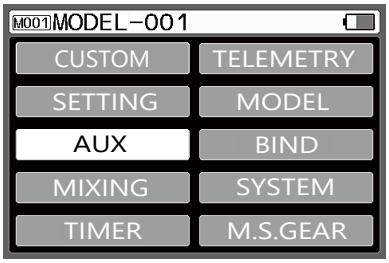
2) ブレーキ ディレイの設定 (BR1-DELAY)
　タッチ パッドで BR の動作タイミングを設定します。

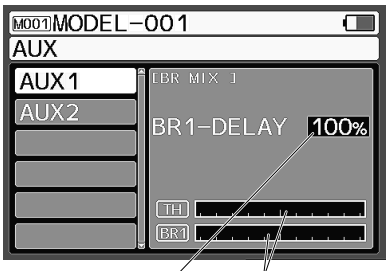
　○設定範囲　0～－ 100%
　○初期値　　0%

3) ブレーキ２ ディレイの設定 (BR2-DERAY)
　タッチ パッドで BR2 の動作タイミングを設定します。

　○設定範囲　0～－ 100%
　○初期値　　0%

※ブレーキ ミキシングは [SYSTEM] の [AUX TYPE] の [TYPE] で設定してください。AUX1 が [BR1-DELEY]、AUX2 が [BR2-DELEY] になります。
※使用方法にあわせてキー アサインで機能をトリムやダイアル、スイッチに割り当てて使用してください。





INDEX へ戻る

各機能の使用方法

デュアル ステアリング [DUAL STEERING]　エーユーエックス [AUX]

●ステアリング サーボを2個搭載し、左右の動作量を別々に調整することができます。
●アッカーマン機能の調整により、スムースなコーナリングを実現することも可能です。

1) タッチ パッドで [AUX] を選択してエンター操作で確定します。

2) デュアル ステアリングの設定 (DUAL ST)
設定する項目を決定して、タッチ パッドの操作で DUAL ST を設定します。
※左右のサーボ動作量は EPA で設定してください。
（エンド ポイント アジャスト P.33、34）

3) アッカーマンの設定 (ACKERMAN)
アッカーマンの設定でコーナリング特性を設定します。
※アッカーマンの調整は必ず左右のサーボの動作調整が終わってからおこなってください。

○設定範囲　＋100 ～ 0 ～ －100
○初期値　0

4) デュアル レートの設定 (DUAL RATE)
ステアリング操作を最大に操作した時のステアリング動作量を調整します。

○設定範囲　0 ～ 100%
○初期値　100%

5) ステアリング L の設定 (ST-L)
ステアリング左側の動作量を設定します。

○設定範囲　0 ～ 100%
○初期値　100%

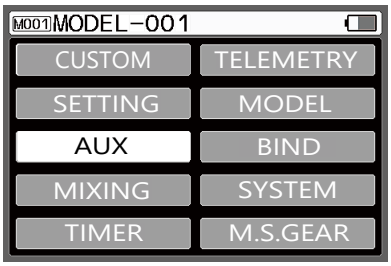
6) ステアリング R の設定 (ST-R)
ステアリング右側の動作量を設定します。

○設定範囲　0 ～ 100%
○初期値　100%

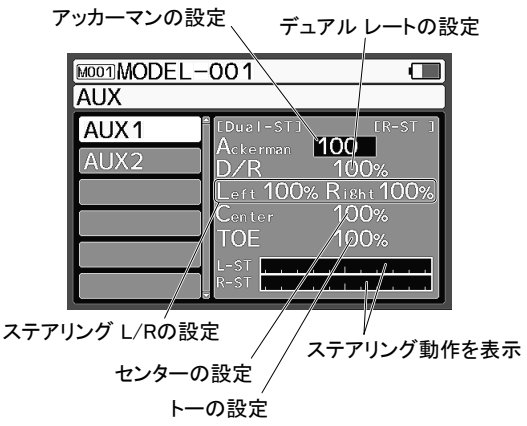
7) センター (Center) とトー (TOE) の設定
ステアリングのセンターとトーを設定します。

○設定範囲　センター (CENTER)　＋150 ～ 0 ～－150
　　トー (TOE)　＋150 ～ 0 ～ －150
○初期値　センター　0%
　　トー　0%

※左右それぞれのサーボ動作量の調整は SETTING　BASE 内の EPA(エンド ポイント アジャスト) でおこないます。
※使用方法にあわせてキー アサインで機能をトリムやダイアル、スイッチに割り当てて使用してください。
スイッチに割り当てた場合はアッカーマン機能の ON/OFF 切り替えが可能です。



ENTER (エンター)　BACK (バック)



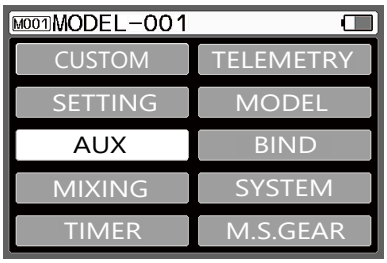
INDEX へ戻る

各機能の使用方法

ボート [BOAT]　エーユーエックス [AUX]

●ボート AUX を設定することで、スロットルからフラップへのミキシングする機能です。

1) タッチ パッドで [AUX] を選択してエンター操作で確定します。

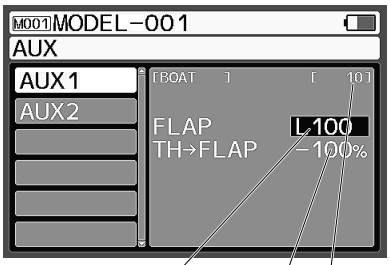


ENTER (エンター)　BACK (バック)

2) ボートの設定 (BOAT)
セレクト操作で動作させる機能を決定して、
タッチ パッドで動作量とミキシング量を設定します。

○設定範囲　FLAP　L100～0～H100
スロットル→FLAP　-100～0～100
○初期設定　FLAP　0
スロットル→FLAP　0%

※使用方法にあわせてキー アサインで機能をトリムやダイアル、
スイッチに割り当てて使用してください。
※ステップ動作量は 1/2/5/10/20/25/50/100 となり、
AUX TYPE の MODE で設定します。



フラップ動作量の設定
ミキシング レートの設定
ステップ動作量はAUX TYPEで調整

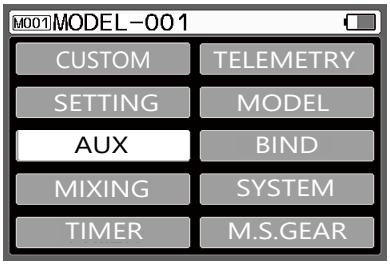
INDEX へ戻る

各機能の使用方法

コード エーユーエックス [CODE AUX]　　エーユーエックス [AUX]

●コード エーユーエックス (CODE AUX) の機能は CODE10 のそれぞれのコードに設定値を割りあてることでコード通信をおこなう機能です。(CODE10/10 コード)
● CODE AUX に対応する PGS サーボやスピードコントローラー (SUPER VORTEX Gen2 PRO/Gen2)、ジャイロ システム (SGS-02) などの設定を変更するための拡張機能です。
※コード 10 対応機器は PGS サーボ、SUPER VORTEX Gen2 PRO/Gen2、SUPER VORTEX Stock、SGS-02 になります。
● CODE AUX1 と CODE AUX2 の 2 系統の設定が可能です。
※ CODE の設定は [SYSTEM] メニューの [AUX TYPE] の設定でおこないます。[MODE] の設定によってそれぞれの機器にあわせて表示が変更されます。(P.86 参照)
[MODE] の設定を [USER] に設定するとそれぞれのコード表示はユーザーでの設定が可能になります。
※ AUX チャンネルを CODE AUX として使用する場合には、BIND 設定の A1/A2 のレスポンス モードは必ず [SHR] に設定してください。(P.80 ～ 82 参照)
※ CODE AUX を使用する場合には、使用する受信機の CH3、CH4 には絶対にサーボを接続しないでください。
※使用する際はキー アサインでトリムやダイアル、スイッチに機能を割り当てるか、タッチ パッドで操作をおこなってください。
※ CODE AUX 機能をスイッチに割り当てると、スイッチ操作によって CODE AUX 機能の ON/OFF ができます。「OFF」は設定値が「0」になります。

1) タッチ パッドで [AUX] を選択してエンター操作で確定します。

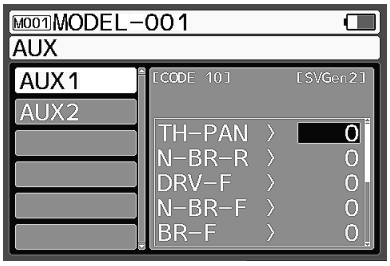


ENTER (エンター)　BACK (バック)

2) コード AUX の設定 (CODE AUX)
(CODE 01 ～ CODE 10)
設定変更する [CODE AUX] をエンター操作で選択して、タッチ パッドで設定値を調整します。

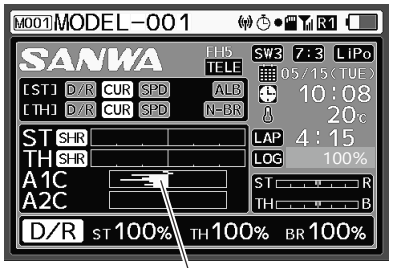
○設定範囲　AUX TYPE : CODE10　CODE 01 ～ 10 : -100 ～ 100
○初期値　　AUX TYPE : CODE10　CODE 01 ～ 10 : 0

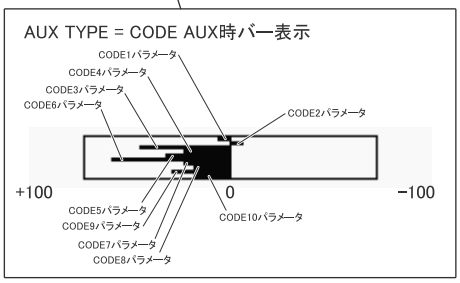
※使用する機器にあわせて、各パラメーターの設定をおこなってください。

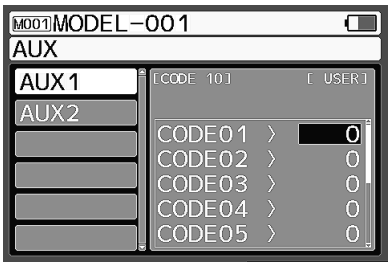


TYPE設定が[CODE10]で
MODE設定が[SV-Gen2]の場合

※ AUX TYPE が CODE10 に設定されている場合にトップ画面でのサーボ モニター表示部に CODE AUX の設定状態にあわせて下記のように表示されます。







MODE設定が[USER]の場合

INDEX へ戻る

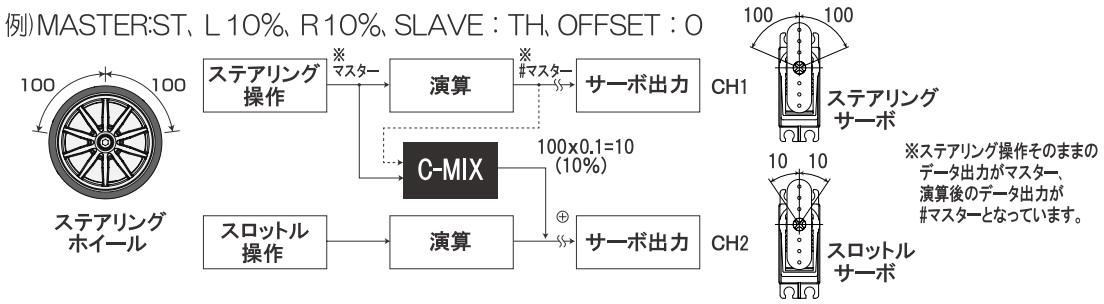
各機能の使用方法

ミキシング［MIXING］

●各チャンネル間のミキシング、チャンネル自身へのミキシングが可能です。
● C-MIX1 ～ 5 以外に、タンク（TANK：戦車）、リミッター機能が含まれます。

C-MIX1 ～ 5（コンペンセーション ミキシング 1 ～ 5）　ミキシング［MIXING］

●マスター チャンネルは直データまたは演算とトリムを含んだデータ（#ST 等）のどちらかを選択できます。
● C-MIX は C-MIX1 ～ C-MIX5 の 5 系統あり、同時に動作可能です。
●オフセット機能を持ち、マスターミキシングの基点を移動することができます。
●グラフ表示でわかりやすく設定できます。



⚠ 補足

通常ステアリングの制御は、ステアリング操作→演算→サーボ出力（CH1）です。
C-MIXの機能は上図のようにステアリングを100動かすと、CH1のサーボが100動くと同時に、ステアリング操作の10%（10）、CH2のサーボを動作させるものです。
その時のステアリング（CH1）をマスター（MASTER）といい、10%動作させるCH2をスレーブ（SLAVE）といいます。

設定	名　称	出力データ内容
ST	ステアリング	ステアリング操作データ
ST#1	ステアリング#1	ステアリングにSPEED、CURVEが含まれた動作
ST#2	ステアリング#2	ステアリングにSPEED、CURVE、D/R、EPAが含まれた動作
TH	スロットル	スロットル操作データ
TH#1	スロットル#1	スロットルにSPEED、CURVE、OFFSETが含まれた動作
TH#2	スロットル#2	スロットルにSPEED、CURVE、OFFSET、D/R、EPA、ALBが含まれた動作
AUX1	AUX1	AUX1操作データ
AUX1#1	AUX1#1	AUX1にSPEED、CURVE、OFFSETが含まれた動作（OFFSETはMOA/BR時）
AUX1#2	AUX1#2	AUX1にSPEED、CURVE、OFFSET、D/R、EPA、ALBが含まれた動作（OFFSET、ALBはMOA/BR時）
AUX2	AUX2	AUX2操作データ
AUX2#1	AUX2#1	AUX2にSPEED、CURVE、OFFSETが含まれた動作（OFFSETはMOA/BR時）
AUX2#2	AUX2#2	AUX2にSPEED、CURVE、OFFSET、D/R、EPA、ALBが含まれた動作（OFFSET、ALBはMOA/BR時）

INDEX へ戻る

各機能の使用方法

1) タッチ パッドによりC-MIXの〈C-MIX1～C-MIX5〉を選択します。

2) マスターの設定 (MASTER)
タッチ パッドでマスターに設定する機能を選択します。

〇設定範囲　ST、ST#1、ST#2、TH、TH#1、TH#2、
A1、A1#1、A1#2、A2、A2#1、A2#2、

3) スレーブの設定 (SLAVE)
タッチ パッドでスレーブに設定する機能を選択します。

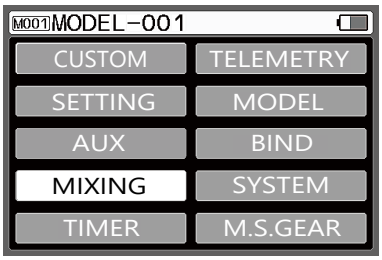
〇設定範囲　ST、TH、A1、A2

4) ミキシングの設定 (RATE1/RATE2)
タッチ パッドでレート１とレート２のミキシング量の設定します。

〇設定範囲　RATE1：-150%～150%
RATE2：-150%～150%
〇初期値　RATE1：0%
RATE2：0%

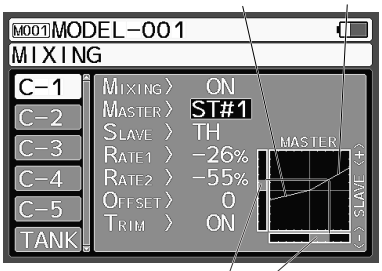
5) オフセットの設定 (OFFSET)
マスターを＃付きの機能を選択した場合にトリムの「ずれ」を
オフセットの機能で補正します。

〇設定範囲　-150～150
〇初期値　0



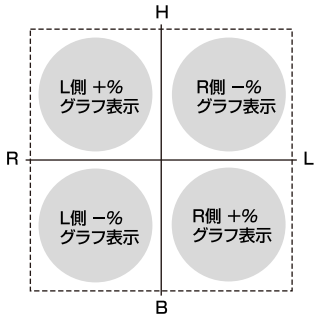
ENTER (エンター)　BACK (バック)

RATE1　RATE2



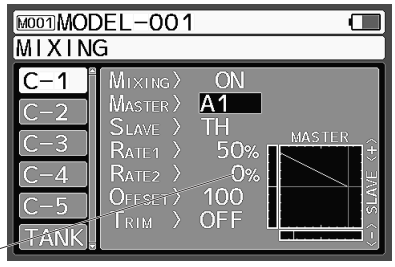
スレーブへのミキシング量のバーグラフ

マスター動作のバーグラフ



①マスターのミキシングの基点を変える場合にダイアル (AUX) 等で左にいっぱい廻した時にミキシングがかからずに、右にいっぱい廻したときにミキシングを最大にする場合





オフセット100だとL側は動作しないので0%でよい

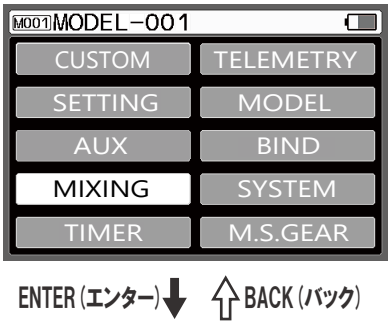
INDEX へ戻る

各機能の使用方法

タンク [TANK]　　ミキシング [MIXING]

- TANK(タンク) を設定することで戦車などキャタピラが装備された無限軌道のモデルを操作する機能です。ステアリングとスロットル チャンネルをミキシングすることでステアリング / スロットル操作で信地旋回と超信地旋回が可能になります。
- TANK 機能を設定すると、ステアリング操作のみの場合は超信地旋回となり、スロットル操作と併せることで信地旋回時の旋回半径が変化します。

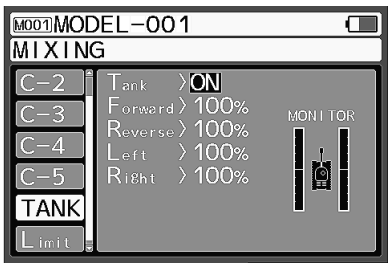
1) タッチ パッドにより MIXING の〈 TANK 〉を選択します。



2) タンクの設定 (TANK)
タッチ パッドでタンクの機能を設定します。

○設定範囲　Tank : ON/OFF
Forward : 0 ～ 100%
Reverse : 0 ～ 100%
Left : 0 ～ 100%
Right : 0 ～ 100%

○初期値　Tank : OFF
Forward : 100%
Reverse : 100%
Left : 100%
Right : 100%



INDEX へ戻る

各機能の使用方法

リミット［Limit］　　ミキシング［MIXING］

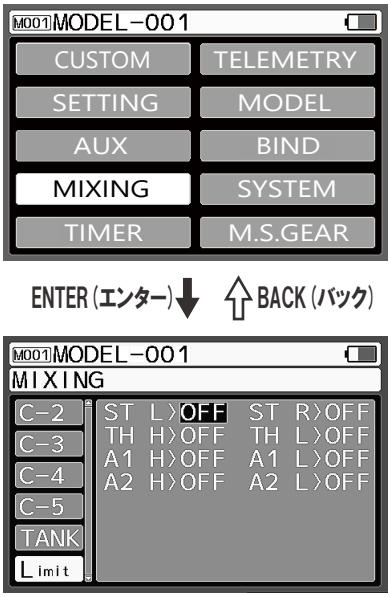
●サーボ動作にリミット（それ以上動作しない位置）を設定する機能です。
ミキシングの重複によりサーボ動作量を超える場合やリンケージへのダメージを防ぐために使用します。

1) タッチ パッドにより MIXING の〈 Limit 〉を選択します。

2) リミットの設定 (Limit)
タッチ パッドでリミットを設定するチャンネルを選択し、
リミットの設定値を調整します。

○設定範囲　ST L：0～OFF(150)
ST R：0～OFF(150)
TH H：0～OFF(150)
TH B：0～OFF(150)
AUX1 H：0～OFF(150)
AUX1 L：0～OFF(150)
AUX2 H：0～OFF(150)
AUX2 L：0～OFF(150)

○初期値　ST L：OFF
ST R：OFF
TH H：OFF
TH B：OFF
AUX1 H：OFF
AUX1 L：OFF
AUX2 H：OFF
AUX2 L：OFF



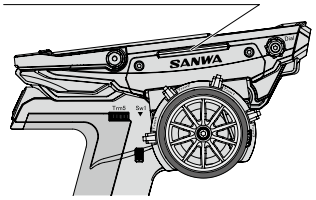
INDEX へ戻る

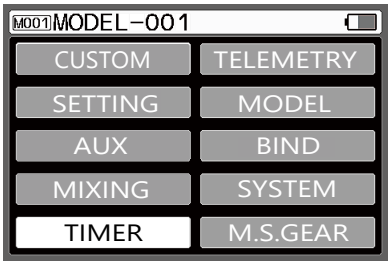
各機能の使用方法

タイマー［TIMER］

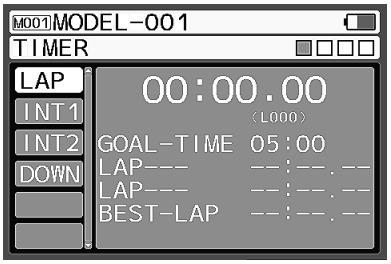
●ラップ タイマー、インターバル タイマー、ダウン タイマーの３つのタイマー機能を備えています。
●タイマーを選択して、セレクト操作するとタイマー画面と設定画面の切り替えになります。
※タイマー動作中はファンクション LED が点滅します。

ファンクション LED

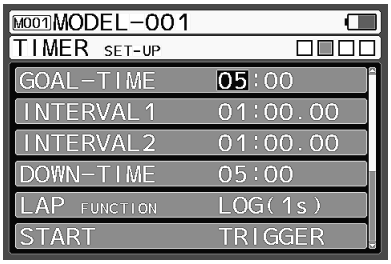




ENTER（エンター）⇩　⇧BACK（バック）

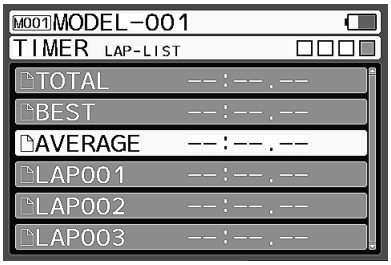


⇔ セレクト操作

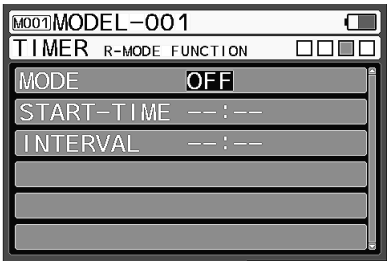


セレクト操作 ⇕

セレクト操作 ⇕



⇔ セレクト操作



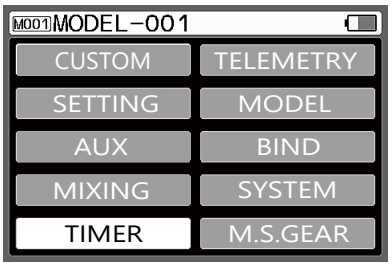
● LAP LIST で計測したラップ タイムを確認することができます。

INDEX へ戻る

各機能の使用方法

セットアップ［SET-UP］　タイマー［TIMER］

●セットアップ メニューでタイマーの各種表示をおこないます。
タッチ パッドで設定するメニューを選択し設定します。



ENTER（エンター）　BACK（バック）

1) ゴールタイムの設定 (GOAL-TIME)
ゴール タイムを設定することでアラームが動作します。

○設定範囲　００：００～９９：５９（００：０１単位）
○初期値　　０５：００

2) インターバルの設定 (INTERVAL)［INT1/INT2］
走行時に設定した時間でアラーム等が動作し目標タイムの目安とします。
INT1、INT2の２系統インターバル タイマーがあり、同時に動作可能です。

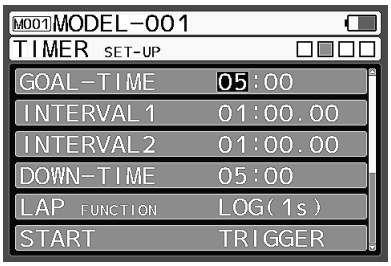
○設定範囲　００：００～９９：５９.９９
○初期値　　０１：００.００



セレクト操作

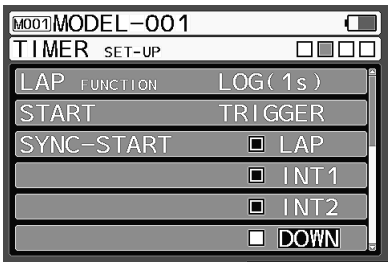
3) ダウン タイムの設定 (DOWN TIME)
•電動RCカーの走行時間やエンジンRCカーでの燃費計算の目安になります。
• ９９：５９まで１秒単位で設定できます。
• ダウン タイマー終了後にアップ タイマーに切り替わり、終了後の経過時間が確認できます。

○設定範囲　００：００～９９：５９
○初期値　　０５：００



4) ラップ ファンクションの設定 (LAP FUNCTION)
タイマーと連動してテレメトリー データのログ（記録）の設定をおこないます。

○設定範囲　OFF/LOG(1s)/LOG(10ms)/VOICE
○初期値　　LOG(1S)
※LAP FUNCTIONはラップ タイマーに連動します。
※LAP FUNCTIONが［VOICE］、［OFF］に設定されているとテレメトリー データのログ（記録）ができませんのでご注意ください。



5) スタートの設定 (START)
スタートの設定によって、タイマースタートの方法をトリガー / キー / スターターから設定します。

○設定項目　TRIGGER（トリガー連動）/KEY（キー操作）/STARTER（自動）
○初期値　　TRIGGER

6) シンクロ スタートの設定 (SYNC-START)
設定によって、それぞれのタイマー機能が連動してスタートが可能になります。
（スタート時のみ）

○設定項目　LAP/INT 1 /INT2/DOWN
○初期値　　LAP、INT 1、INT 2

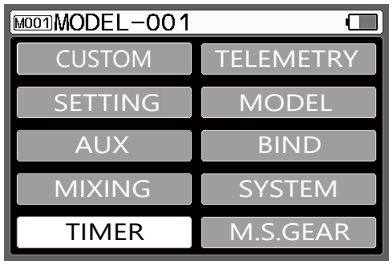
INDEXへ戻る

各機能の使用方法

ラップ タイマー [LAP TIMER]　　タイマー [TIMER]

● 999 周までの各ラップ計測、記録ができます。(モデル共通)
●プリ アラーム (PRE-ALM) を搭載しており、ゴール前に自動でアラームが鳴ります。

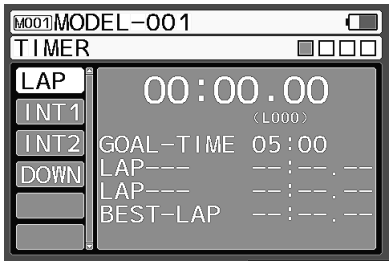
1) タッチ パッドで [TIMER] を選択し、エンター操作で決定します。



ENTER (エンター)　BACK (バック)

2) タイマーセレクト
[LAP] を選択します。

3) タイマーのスタート
ラップ タイマーの動作は設定したスイッチの長押しかタイマー画面で
タイマー表示をエンター操作後にエンター操作長押しでスタート待機
状態になります。
再度設定したスイッチを押すかタイマー画面でのエンター操作によって
計測がスタートします。
※ラップ タイマーのスイッチは初期値で SW1 に設定されています。
SW1 を長押しするとタイマーがスタート待機状態になり、
再度 SW1 を押すかスロットル トリガーを操作すると計測がスタートします。

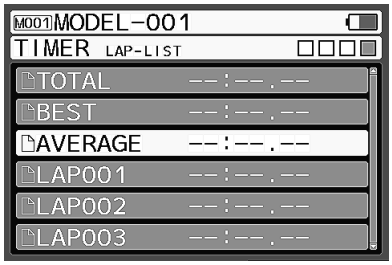


セレクト操作

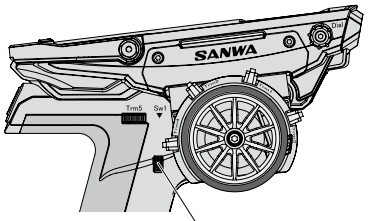
4) 設定したスイッチかタイマー画面でのエンター操作によってラップ タイム
が計測されます。
※ラップ タイマーはスタートして3秒間はラップ計測できません。

5) 計測終了
SW1 を長押しすると計測が終了します。

6) 各種ラップ タイムの確認
LAP LIST で計測したラップ タイムを確認することができます。
タッチ パッドの操作で各ラップ タイムを確認できます。
トータル タイム、ベスト ラップ、アベレージ ラップの表示と周回ごとの
ラップタイムの確認が可能です。(SETUP 画面では不可)



※タイマーを動作させた状態でパワースイッチを OFF にするとタイマーが
リセットされます。
※ KEY-ASSIGN で SW1 や SW2 に [LAP] が設定されている場合には、
タイマー画面以外でも長押しすることでスタート待機状態になります。



スイッチ 1
(SW 1)

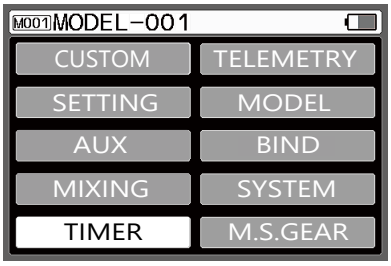
INDEX へ戻る

各機能の使用方法

インターバル タイマー 1/2 [INT TIMER 1/2]　　タイマー [TIMER]

●走行時に設定したタイムでアラームを動作させ、目標タイムの目安とします。
● INT1、INT2 の2系統のインターバル タイマーがあり、同時に動作可能です。

1) タッチ パッドで [TIMER] を選択し、エンター操作で決定します。

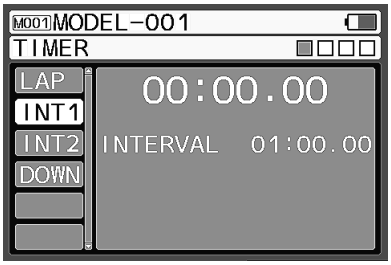


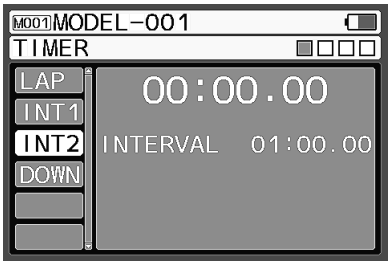
ENTER (エンター)　BACK (バック)

2) タイマーセレクト
タッチ パッドで [INT] か [INT2] を選択します。

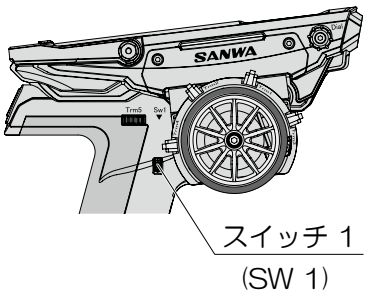
3) インターバルの設定 (INTERVAL)
インターバル タイマーの設定は [SET-UP] の [INTERVAL-1]、[INTERVAL-2] でおこなってください。

4) インターバル タイマーのスタート
インターバル タイマーの動作は設定したスイッチの長押しかタイマー画面でタイマー表示をエンター操作後にエンター操作長押しでスタート待機状態になります。
再度設定したスイッチを押すかタイマー画面でのエンター操作によって計測がスタートします。
※インターバル タイマーの動作は初期値では [SYNC-START] によって [LAP] と連動する設定になっております。
※タイマー画面でエンター操作をおこなうたびにインターバル タイマーが再スタートします。





5) 計測終了
設定したスイッチかメニュー画面でエンター操作長押しで計測が終了します。
※タイマーを動作させた状態でパワースイッチを OFF にするとタイマー がリセットされます。
※ KEY-ASSIGN で SW1 や SW2 に [INT1]、[INT2] が設定されている場合には、タイマー画面以外でも長押しすることでスタート待機状態になります。



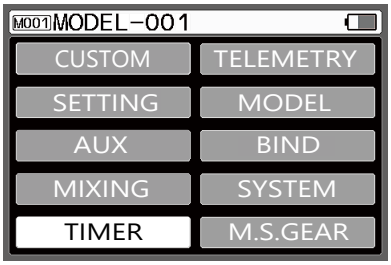
INDEX へ戻る

各機能の使用方法

ダウン タイマー [DOWN TIMER]　　タイマー [TIMER]

●電動 RC カーの走行時間やエンジン RC カーでの燃費計算の目安になります。
● 99 : 59 まで 1 秒単位で設定できます。
●ダウン タイマー終了後にアップタイマーに切り替わり、終了後の経過時間が確認できます。

1) タッチ パッドで [TIMER] を選択し、エンター操作で決定します。

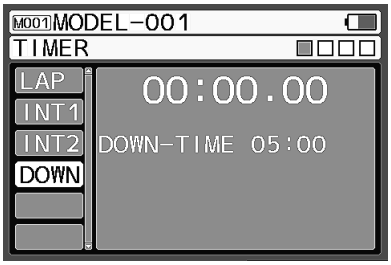


ENTER (エンター)　BACK (バック)

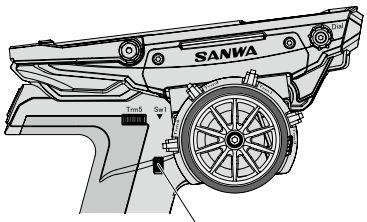
2) タイマー セレクト (TYPE)
タッチパッドで [DOWN] を選択します。

3) ダウン タイマーの設定 (DOWN)
ダウン タイマーの設定は [SET-UP] の [DOWN-TIME] でおこなってください。

4) ダウン タイマーのスタート
ダウン タイマーの動作は設定したスイッチの長押しかメニュー画面でタイマー表示をエンター操作後にエンター操作長押しでスタート待機状態になります。
再度設定したスイッチを押すかメニュー画面でエンター操作によって計測がスタートします。
※タイマー画面でエンター操作をおこなうたびにダウン タイマーが一時停止、再スタートの動作をします。



5) 計測終了
設定したスイッチかメニュー画面でエンター操作長押しで計測が終了します。
※タイマーを動作させた状態でパワースイッチを OFF にするとタイマー がリセットされます。
※ KEY-ASSIGN で SW1 や SW2 に [DOWN] が設定されている場合には、タイマー画面以外でも長押しすることでスタート待機状態になります。



INDEX へ戻る

各機能の使用方法

レーシング モード ファンクション [R-MODE FUNCTION]　　タイマー [TIMER]

●レーシング モード ファンクションでタイマーに連動した R-MODE の設定をおこないます。

1) モードの設定 (MODE)
タイマーと連動させて R-MODE(レーシング モード) の設定が変化します。

○設定範囲　R-MODE UP/R-MODE DOWN/OFF
○初期値　　OFF

※ R-MODE UP　設定した時間経過と共に R － MODE の設定がアップします。
R-MODE DOWN　設定した時間経過と共に R-MODE の設定がダウンします。
OFF　　設定が OFF になります。

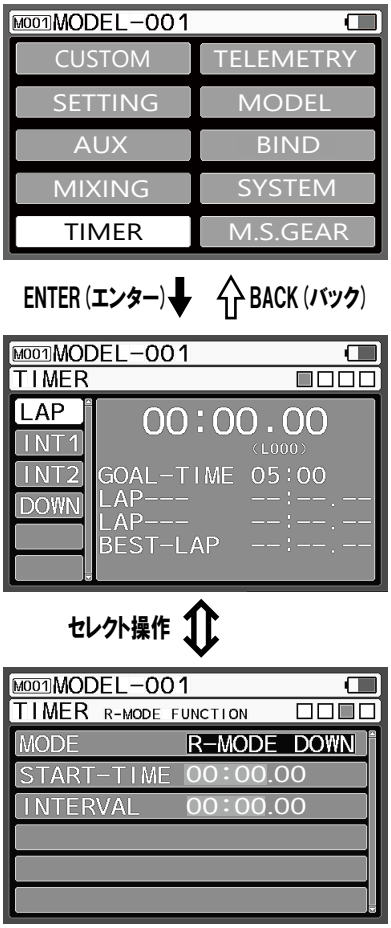
2) スタート タイムの設定 (START TIME)
START TIME で設定した時間経過からファンクションの機能が動作します。

○設定範囲　００：００～９９：５９.９９
○初期値　　００：００.００

3) インターバルの設定 (INTERVAL)
INTERVAL で設定した時間で R-MODE の設定が変化します。

○設定範囲　００：００～９９：５９.９９
○初期値　　００：００.００

※ R- MODE UP/DOWN の設定によって時間経過でレーシング モードが
１→２→３→４→５、５→４→３→２→１と変化しますが、
上限もしくは下限で止まります。



INDEX へ戻る

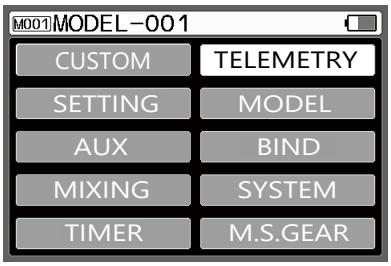
各機能の使用方法

テレメトリー［TELEMETRY］

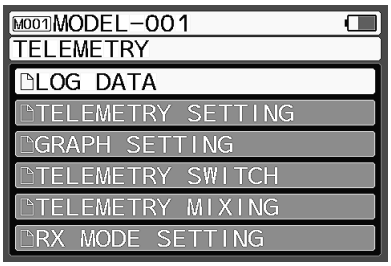
●テレメトリーに関連するLOG DATA、TELEMETRY SETTING、GRAPH SETTING、TELEMETRY SWITCH、TELEMETRY MIXING、RX MODEを設定するメニューです。
●テレメトリー機能を使用するには、対応する受信機やセンサー類、PGSサーボやSUPER VORTEXシリーズを使用することで対応可能になります。
●テレメトリーでは温度2系統、バッテリー電圧、回転数のデータ等が送信機で確認できます。

- LOG DATA：記録しているログ データを管理するメニュー。
- TELEMETRY SETTING：テレメトリー機能の各種設定。
- GRAPH SETTING：テレメトリー データをグラフ表示する際の設定。
- TELEMETRY SWITCH：テレメトリー データを元に動作させるスイッチの各種設定。
- TELEMETRY MIXING：テレメトリーデータやセンサーから得られたデータを各チャンネルにミキシングするための各種設定。
- RX MODE SETTING：対応する送信機（M17S/M17/EXZES Z Ⅲ/MT-5/MT-R）とBIND（バインド）することでM17S送信機がテレメトリー ロガーになる機能です。

※RX MODE SETTINGの機能はランチャー［LAUNCHER］のアールエックス モード［RX MODE］(P.21) でしか使用できないメニューです。



ENTER（エンター）　BACK（バック）



INDEXへ戻る

各機能の使用方法

ログ データ [LOG DATA]　テレメトリー [TELEMETRY]

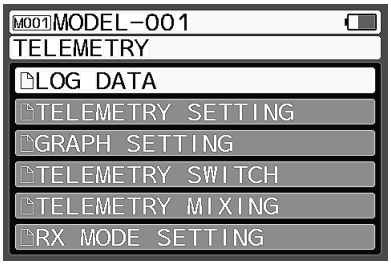
●記録したログ データを読み込んでグラフ化したり、マイクロ SD カードに保存、ログ データ消去など、ログ データを管理する機能です。

1) タッチ パッドで [TELEMETRY] を選択し、エンター操作で決定します。

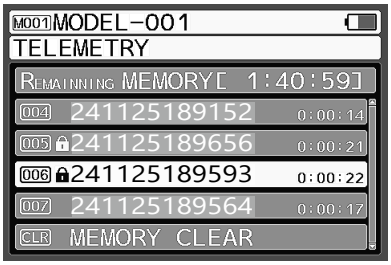
2) [LOG DATA] を選択してエンター操作で決定します。

3) 保存されているログ データをタッチ パッドで選択します。
エンター操作するとメニューが表示されますので、メニューを選択し、エンター操作で決定します。

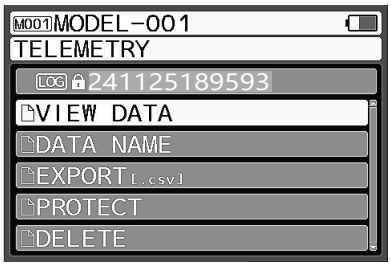
- VIEW DATA：記録したログ データを読み込みグラフ化。
- DATA NAME：ログ データのファイル名の編集。
- EXPORT [.CSV]：CSV 形式に変換してマイクロ SD へ保存。
- PROTECT：ログ データをプロテクトして保護。
- DELETE：ログ データを消去します。



ENTER (エンター)　BACK (バック)



ENTER (エンター)　BACK (バック)



INDEX へ戻る

各機能の使用方法

ビュー データ［VIEW DATA］	テレメトリー［TELEMETRY］

●記録したログ データを読み込んでグラフ化するメニューです。

1) タッチ パッドで［LOG DATA］を選択し、エンター操作で決定します。

2) グラフ化するログ データを選択し、エンター操作で決定します。

3) ログ データを選択するとメニューが表示されますので、
［VIEW DATA］を選択するとログ データがグラフ化されて表示されます。

4) 表示サイズの設定
グラフ表示されている際にエンター操作をおこなうと表示するサイズの設定になります。
※1 ページの設定は TIMER SETUP の LAP FUNCTION の設定に依存します。

○設定範囲
- 2.75s /PAGE : 1 ページ /2.75 秒
- 5.5s/PAGE : 1 ページ /5.5 秒
- 11s/PAGE : 1 ページ /11 秒
- 22s/PAGE : 1 ページ /22 秒
- 44s/PAGE : 1 ページ /44 秒
- 88s/PAGE : 1 ページ /88 秒

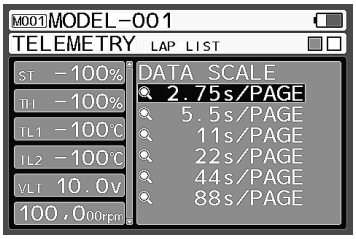
LOG(10ms)

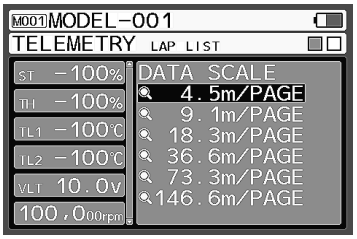
- 4.5m/PAGE : 1 ページ /4.5 分
- 9.1m/PAGE : 1 ページ /9.1 分
- 18.3m/PAGE : 1 ページ /18.3 分
- 36.6m/PAGE : 1 ページ /36.6 分
- 73.3m/PAGE : 1 ページ /73.3 分
- 146.6m/PAGE : 1 ページ /146.6 分

LOG(1s)

○初期値　4.5m/PAGE

表示サイズの設定

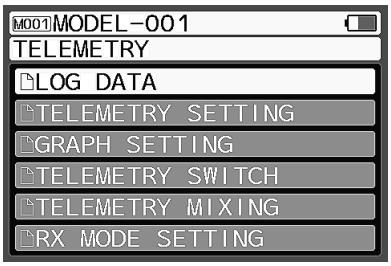




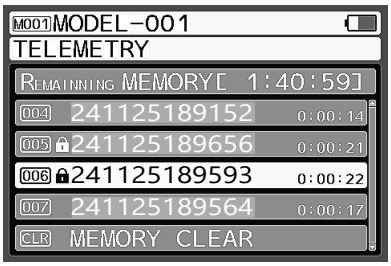
※表示サイズの設定画面でセレクト操作をおこなうとラップ リストへ移動します。

5) ページの移動方法
グラフ化されている際にセレクト操作をおこなうと表示ページの移動方法が設定できます。

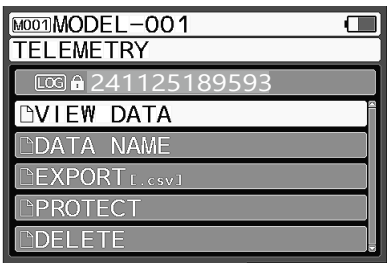
○設定範囲　カーソル / ページ / ラップ
○初期値　カーソル



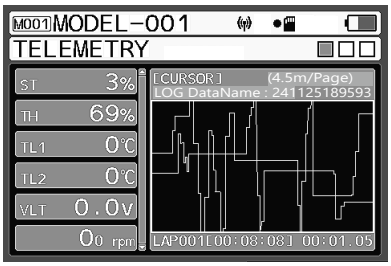
ENTER（エンター）　BACK（バック）



ENTER（エンター）　BACK（バック）



ENTER（エンター）　BACK（バック）



INDEX へ戻る

各機能の使用方法

データ ネーム [DATA NAME]

●選択しているログ データのファイル名を変更する機能です。
●ファイル名に使用できるのはアルファベットと数字、記号になります。

1) タッチパッドで [LOG DATA] を選択し、エンター操作で決定します。

2) ファイル名を変更するログ データを選択し、エンター操作で決定します。

3) データ ネームの設定 (DATA NAME)
タッチパッドで DATA NAME を選択しエンター操作で決定します。
文字入力画面に切り替わり、ファイル名全体が選択された状態になりますのでエンター操作 / カーソル移動 (スライド操作) で文字位置カーソルを移動します。
変更する文字位置でエンター操作すると入力文字選択カーソルが表示されます。

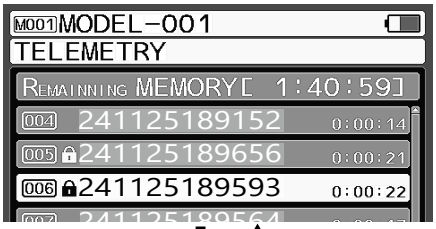
4) 入力文字の決定
入力文字カーソルをタッチパッドで選択し、入力する文字が決定したらエンター操作で入力します。

○設定範囲　A～Z、a～z、0～9、記号

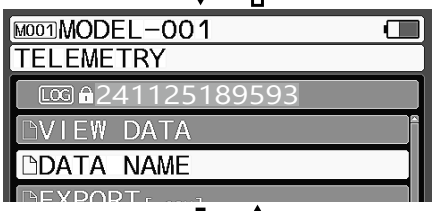
※選択した文字を変更する場合や、文字入力のカーソルを移動する場合はバック操作で動作をキャンセルしてください。

5) 文字入力が終了したら、バック操作をおこない文字入力モードを終了し、カーソルを [CHANGE] に移動してエンター操作することでデータ ネームが切り替わります。

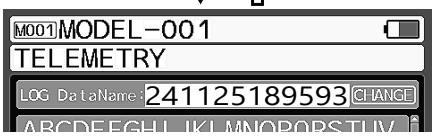
テレメトリー [TELEMETRY]



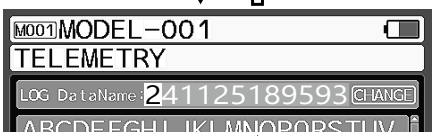
ENTER (エンター)　BACK (バック)



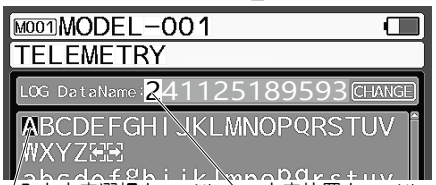
ENTER (エンター)　BACK (バック)



ENTER (エンター)　BACK (バック)

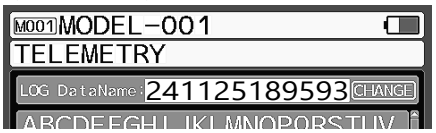


ENTER (エンター)　BACK (バック)



入力文字選択カーソル　文字位置カーソル

文字入力終了後、バック操作



ダウン操作後ENTER (エンター)



文字入力終了後[CHANGE]をクリック

INDEX へ戻る

各機能の使用方法

エクスポート［EXPORT〔.CSV〕］	テレメトリー［TELEMETRY］

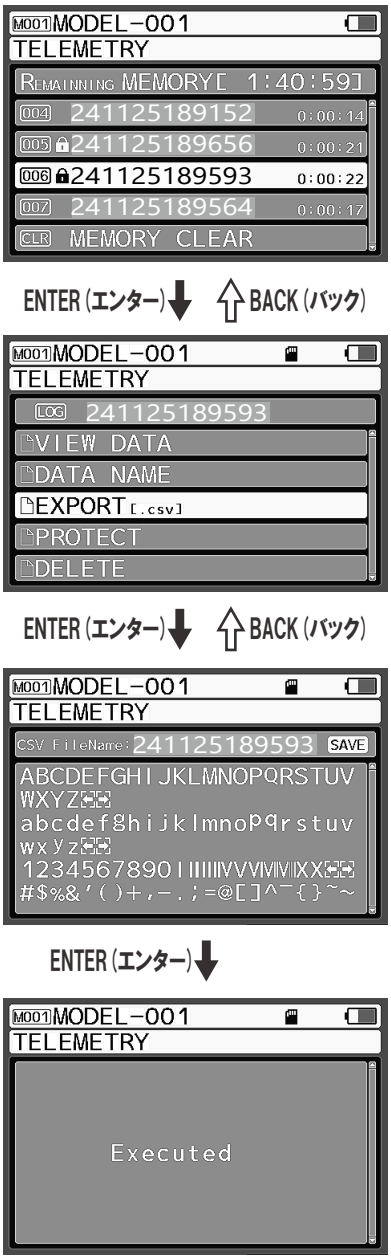
●選択しているログ データをPC（パーソナルコンピューター）の表計算ソフト等でグラフ化できる［.CSV］形式に出力する機能です。
●エクスポート機能を使用する場合はマイクロSDカードが必要です。

1）タッチ パッド［LOG DATA］を選択し、エンター操作で決定します。

2）エクスポートするログ データを選択し、エンター操作で決定します。
※エンター操作するとCSVファイル ネーム（ファイル名変更）へ移行します。

3）CSVファイル ネームの設定
形式を変換する際にファイル名の変更も可能です。
文字入力はデータ ネームのやり方と同一ですので、そちらを参照してください。

4）CSVファイル形式への変換
カーソルを［SAVE］へ移動し、エンター操作をおこなって変換してください。
※データ変換中にバック操作で変換作業のキャンセルが可能です。
※データ変換後はマイクロSDカード経由でPCへデータを移動し、グラフ表示をおこなってください。



INDEXへ戻る

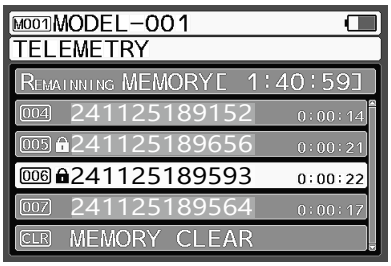
各機能の使用方法

プロテクト［PROTECT］	テレメトリー［TELEMETRY］

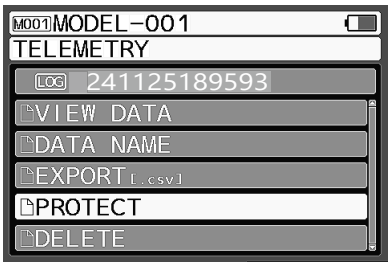
●ログ データを誤って消去したりしないようにプロテクト（保護）する機能です。

1) タッチ パッドで［LOG DATA］を選択し、エンター操作で決定します。

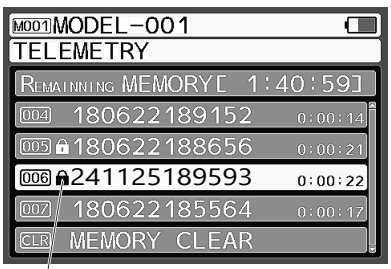
2) プロテクトするログ データを選択し、エンター操作で決定します。
※エンター操作のたびにプロテクトの有効 / 無効が切り替わります。



ENTER（エンター）　BACK（バック）



ENTER（エンター）



プロテクトマーク

INDEX へ戻る

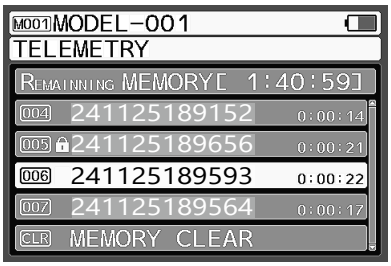
各機能の使用方法

デリート［DELETE］	テレメトリー［TELEMETRY］

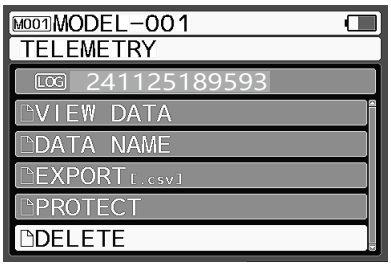
●ログ データを消去する機能です。
●プロテクトされているログ データはデリートできません。

1) タッチ パッドで［LOG DATA］を選択し、エンター操作で決定します。

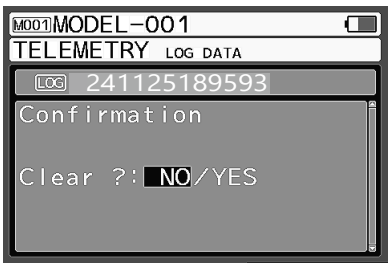
2) デリートするログ データを選択し、エンター操作で決定します。
確認画面が表示されますので、画面表示にしたがって操作してください。



ENTER（エンター）　BACK（バック）



ENTER（エンター）



> ⚠ **注意**　●ログ データは一度消去してしまうと元に戻せませんので
> データの取り扱いにはご注意ください。

INDEX へ戻る

各機能の使用方法

テレメトリーセッティング [TELEMETRY SETTING]　テレメトリー [TELEMETRY]

●テレメトリー各機能の設定をおこないます。設定する機能はセレクト操作で選択します。

[DATA TYPE]TL-DATA/RX-DATA の切り替えをおこないます。
• SETTING TLM1/TLM2：温度 / スピード等のテレメトリーデータの設定
[NAME] TLM1/TLM2 のデータ名称を3文字まで変更可能です。
[UNIT] 温度とスピード表示の切り替え(℃ / °F/KM[単位は変更可能])
[MAX] データをグラフ表示した際のグラフ上限値の設定
[ALERT] 設定した温度でアラームを動作させます。
※アラーム OFF も設定可能です。
[MIN] データをグラフ表示した際のグラフ下限値の設定
[VOICE] アラート発生時の読み上げ機能の設定

• SETTING RPM：回転数データと回転数データから算出したスピードの設定
[UNIT] 回転数とスピード表示の切り替え　(RPM、km/h、mph)
[MAX SCALE] データをグラフ表示した際のグラフ上限値の設定

[RATIO：RATIO(レシオ)] オプションの回転センサーを減算された位置に設置した場合に、レシオの設定をおこなうことで、モーターやエンジンの回転数を逆算して表示させることができます。
　○設定範囲　0.001～ 64.999
　○初期設定　1.000

[10COUNT DIST：10 カウント ディスタンス] スピード表示に設定したときにモーターが 10 回転した際の移動距離を計測し、その値を設定することでスピードを計算して表示します。
　○設定範囲　1cm～ 255cm
　○初期設定　30cm

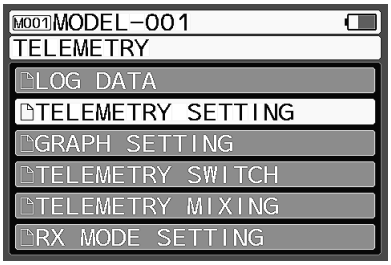
• SETTING VOLT：テレメトリー データにあわせて、設定した電圧でアラームが動作し、LED も点滅します。
[MAX VOLT] グラフ表示の際の最大電圧の設定
　○設定範囲　3.1V～ 9.0V
　○初期設定　8.4V

[ALERT VOLT] アラーム動作電圧の設定
　○設定範囲　OFF/3.0V～ 9.0V
　○初期設定　3.8V

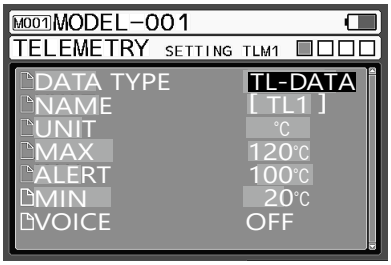
[HOLD TIME] ホールド タイムの設定
※ HOLD TIME を設定することで、スロットル操作等の瞬間的な電圧低下にアラームを動作させないようにする機能です。
　○設定範囲　0.0sec～ 5.0sec
　○初期設定　1.0sec

[MIN VOLT] グラフ表示の際の最低電圧の設定
　○設定範囲　0.0V～ 8.9V
　○初期設定　3.0V

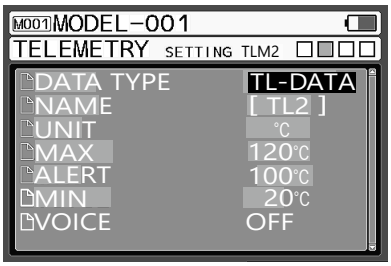
[VOICE] アラート発生時の読み上げ機能の設定
　○設定範囲　OFF/ON
　○初期設定　OFF



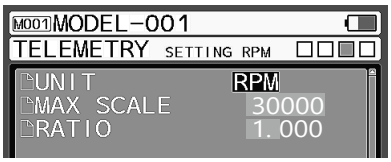
ENTER (エンター)　BACK (バック)



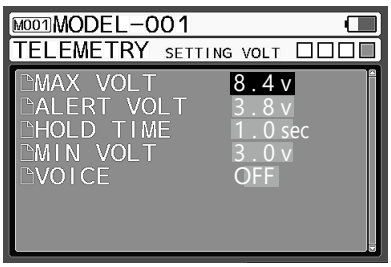
セレクト操作



セレクト操作



セレクト操作



INDEX へ戻る

各機能の使用方法

インジケーター［ INDICATER ］　テレメトリー［TELEMETRY］

● M17Sはインジケーター機能に対応したRX-493i/RX-492iと組み合わせることで送信機から受信機へ送信された電波の受信状態を送信機で確認することができます。受信状態を確認することによって機器の故障や車体への受信機の搭載方法を確認することができます。

● 受信状態は２種類のデータで確認することができます。

・受信強度（RSS）
受信機が送信機から受信している電波の強さを表示します。
受信機やアンテナ線の搭載方法やサーキットの操縦台の環境により数値が変化します。新しい場所で走行される時や受信機の搭載方法を変更された場合には、数値が低くなっていないか注意してください。

・受信率（PDR）
受信機が送信機から受信している電波の受信率を表示します。
同時走行の台数が多い時や他の2.4GHzの機器などの混在で受信率が悪くなる事があります。
また、受信強度が極端に低い時なども受信率が悪くなります。

1) 受信強度の設定（RSS）
タッチパッドで［ TELEMETRY SETTING ］を選択してエンター操作で決定します。
TLM1の［ DATA-TYPE ］の設定を［ TL-DATA ］から［ RX-DATA ］に切り替えてエンター操作で決定します。

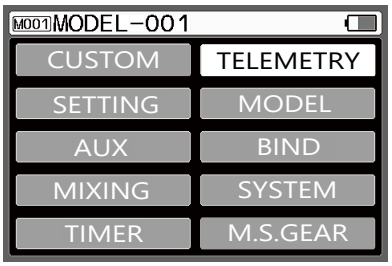
2) 受信率の設定（PDR）
TLM2の［ DATA-TYPE ］の設定を［ TL-DATA ］から［ RX-DATA ］に切り替えてエンター操作で決定します。

テレメトリー画面に移動し、テレメトリーデータの項目に［RSS］と［PDR］が表示されていることを確認します。

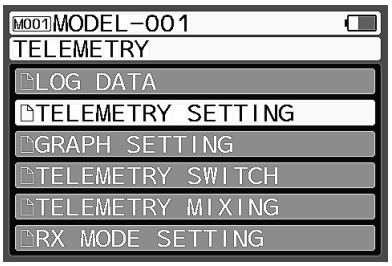
数値の目安
RSS の数値が 20 以下になっている場合は受信機の搭載方法を変更してRSS の数値が向上するように変更してください。
※ (P.2) の搭載時の注意点や (P.14) のアンテナの取り扱いを参考に見直してください。

PDRの数値が 40 以下になっている場合は送信機を再起動してPDRの数値が変化するか確認してください。
変化がない場合はセーフティーリンクの設定を１つ上げ、再度BINDをおこなってください。

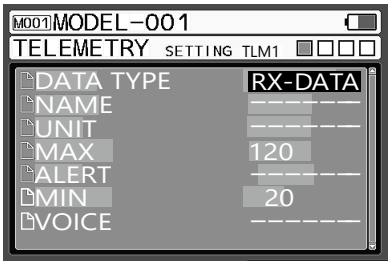
※テレメトリーデータの注意点
テレメトリー画面の表示が「---」となっている場合は受信機からのテレメトリーデータを送信機が受信できていない状態です。
受信機からのテレメトリーデータは送信出力が弱い為、送信機と受信機の距離が離れる事により送信機が受信できなくなり、上記の様な表示になる事があります。
「---」の表示になった場合は、送信機の操作に対して車体側の動きに問題ないか確認してください。



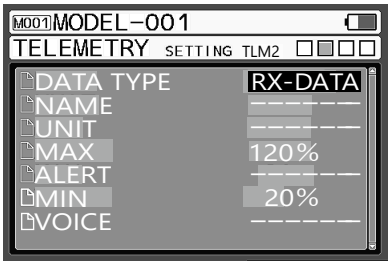
ENTER（エンター）　BACK（バック）



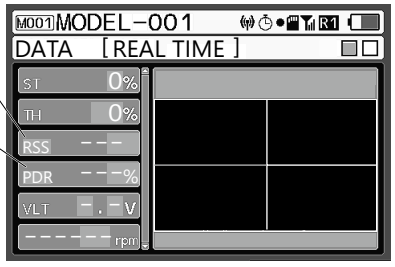
ENTER（エンター）　BACK（バック）



セレクト操作



テレメトリー画面



INDEX へ戻る

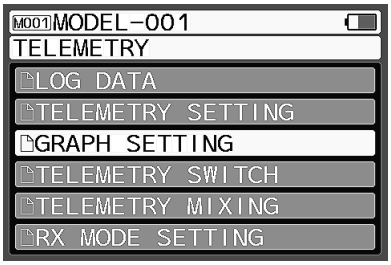
各機能の使用方法

グラフ セッティング [GRAPH SETTING]　テレメトリー [TELEMETRY]

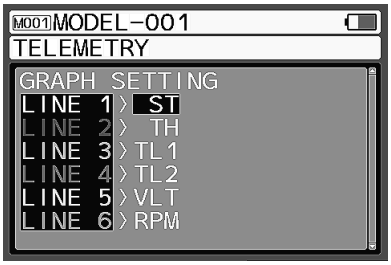
●テレメトリー データをグラフ表示する際に、グラフ表示を設定する機能です。

1) タッチ パッドで [テレメトリー] を選択し、エンター操作で決定します。

2)GRAPH SETTING の設定
タッチ パッドで [GRAPH SETTING] を選択してエンター操作で決定します。



ENTER (エンター)　BACK (バック)



○設定範囲　ST/TH/TL1/TL2/VLT/RPM
ST：ステアリング操作データ
TH：スロットル操作データ
TL1：テレメトリーデータ１
TL2：テレメトリーデータ２
VLT：受信機入力電圧
RPM：回転数データ

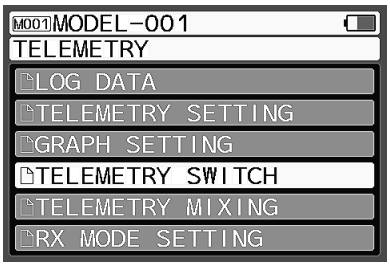
○初期値　LINE1：ST(ステアリング データ)
LINE2：TH(スロットル データ)
LINE3：TL1(テレメトリーデータ1)
LINE4：TL2(テレメトリーデータ2)
LINE5：VLT(受信機入力電圧)
LINE6：RPM(回転数データ)

テレメトリー スイッチ [TELEMETRY SWITCH]　テレメトリー [TELEMETRY]

●テレメトリー データの変化をもとにそのデータでスイッチ動作をさせることができる機能です。

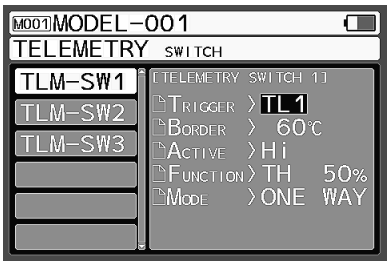
- TRIGGER(トリガー)：スイッチ動作のもととなるデータの選択をします。
- BORDER(ボーダー)：温度や電圧など動作の基準の設定になります。
- ACTIVE(アクティブ)：BORDER に対しての動作範囲設定 (Hi/Low)
- FUNCTION(ファンクション)：動作を割り当てます。
- MODE(モード)：動作の設定をします。
※ TOGGLE は解除あり、ONE WAY は解除なし。

1) タッチ パッドで [テレメトリー] を選択し、エンター操作で決定します。



ENTER (エンター)　BACK (バック)

2) テレメトリー スイッチの設定 (TELEMETRY SWITCH)
タッチ パッドで [TELEMETRY SWITCH] を選択してエンター操作で決定します。



○設定範囲　TRIGGER：OFF/TL1/TL2/VOLT
BORDER：温度設定の場合 0 ～ 150℃
電圧設定の場合 3.0 ～ 9.0V
ACTIVE：Hi/Low
FUNCTION：TIMER ON/OFF
RACING MODE
TH RATE
MODE：TOGGLE/ONE WAY

○初期値　TRIGGER：OFF
BORDER：－－－
ACTIVE：－－－
FUNCTION：－－－
MODE：－－－

例) TRIGGER：TL1
BORDER：60℃
ACTIVE：Hi
FUNCTION：TH 50%
MODE：ONE WAY

このように設定した場合での動作は、TL1 のテレメトリー温度が 60℃を超えた場合に、スロットルの開度が 50% に制限されます。
MODE が ONE WAY の場合は６０℃を下回っても、解除されません。

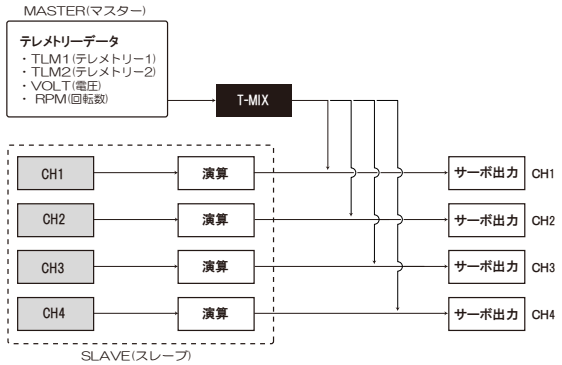
注意　●テレメトリー スイッチは TLM-SW1 ～３の３系統で、設定によっては打ち消しあう設定も可能になりますので、設定内容には十分注意してください。

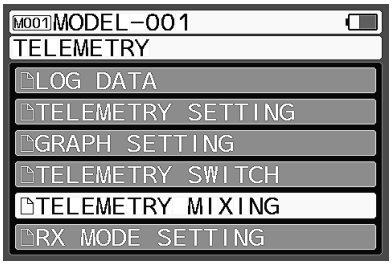
INDEX へ戻る

各機能の使用方法

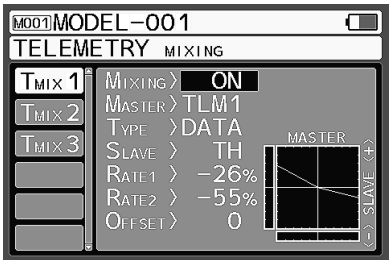
テレメトリー ミキシング［T-MIX］　　テレメトリー［TELEMETRY］

●テレメトリーデータやセンサーから得られたデータを各チャンネルにミキシングできます。
●マスターチャンネルは TLM1/2（テレメトリーデータ 1/2）と VOLT（電圧）、RPM（回転数）のデータから選択できます。
● T-MIX は T-MIX1 ～ T-MIX3 の３系統あり、同時に動作可能です。
●オフセット機能を持ち、マスターの基点を移動することができます。
●グラフ表示でわかりやすく設定できます。





ENTER（エンター）　BACK（バック）



1) タッチ パッドで［テレメトリー］を選択し、エンター操作で決定します。

2) TELEMETRY MIXING の設定
タッチ パッドで［TEREMETRY MIXING］を選択し、エンター操作で決定します。

- MIXING（ミキシング）：機能の ON/OFF
- MASTER（マスター）：ミキシング動作のマスター設定
- TYPE（タイプ）：マスターのデータ設定

- SLAVE（スレーブ）：ミキシング動作のスレーブ設定
- RATE1/RATE2：ミキシング量の設定
- OFFSET：マスターの起点変更

○設定範囲
MIXING：ON/OFF
MASTER：TLM1、TLM2、VOLT、RPM
TYPE：DATA/ALERT
SLAVE：ST、TH、A1、A2
RATE1：-150%～150%
RATE2：-150%～150%
OFFSET：-150～150

○初期値
MIXING：OFF
MASTER：TLM1
TYPE：DATA
SLAVE：TH
RATE1：0
RATE2：0
OFFSET：0

※ TYPE の DATA と ALERT について
DATA：テレメトリー生データをマスターの値としてスレーブにミキシング
ALERT：テレメトリーアラートON/OFF をマスター値としてスレーブにミキシング

INDEX へ戻る

各機能の使用方法

アールエックス モード セッティング [RX MODE SETTING]　テレメトリー [TELEMETRY]

● RX MODE SETTING を使用することで、対応する送信機 (M17S/M17/EXZES Z Ⅲ /MT-5/MT-R と BIND(バインド) することで、M17S 送信機がテレメトリー ロガーになる機能で、操作データや テレメトリー データをモニタリングすることが可能になります。

1) タッチ パッドで [TELEMETRY] を選択し、エンター操作で決定します。

2) アールエックス モード セッティングの設定 (RX MODE SETTING) タッチ パッドで [RX MODE SETTING] を選択してエンター操作で 決定します。

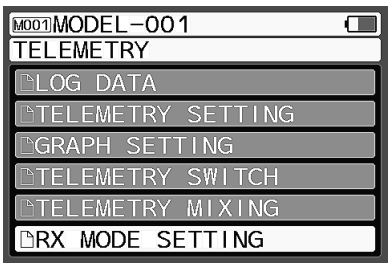
3) モニタリングする送信機にあわせて [MODULATION] を設定します。

○設定範囲　FH5/FH5U
○初期値　FH5

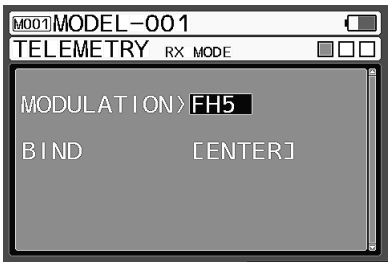
• 対応送信機　M17S、M17、EXZES Z Ⅲ、MT-5、MT-R

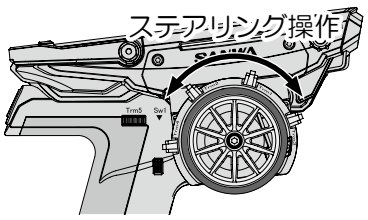
4) モニタリングする送信機と [BIND] します。
モニタリングする送信機を BIND 状態に操作して、タッチ パッドで [ENTER] をタップします。
BIND 中は [ENTER] が点滅し、BIND が終了すると点滅が止まります。
※ BIND が完了しないと STEERING POINT/THROTTLE POINT の設定ができませんのでご注意ください。

5) ステアリング動作量の読み込み
セレクト操作で [STEERING POINT] を選択します。
ステアリング ホイルがニュートラルの状態でエンター操作してから ステアリング ホイルを左側、右側いっぱいに操作します。
範囲内に入ると NEUTRAL/LEFT END/RIGHT END の数値横に [OK] と表示されますので、画面の表示にしたがって操作してください。

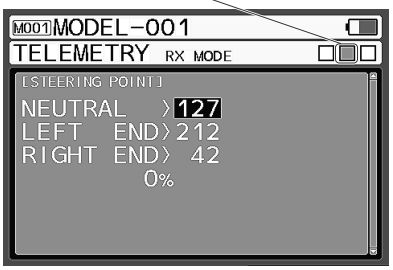


ENTER (エンター)　BACK (バック)





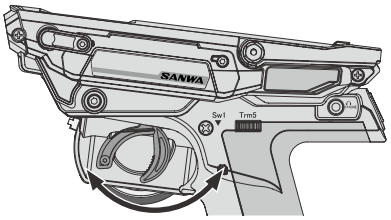
セレクト操作でステアリングを選択



INDEX へ戻る

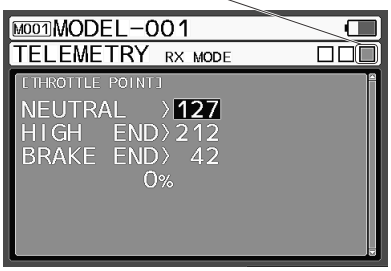
各機能の使用方法

6) スロットル動作量の読み込み
セレクト操作で [THROTTLE POINT] を選択します。
スロットル トリガーがニュートラルの状態でエンター操作してから
スロットル トリガーをハイ側、ブレーキ側いっぱいに操作します。
範囲内に入ると [OK] と表示されますので、画面の表示にしたがって
操作してください。

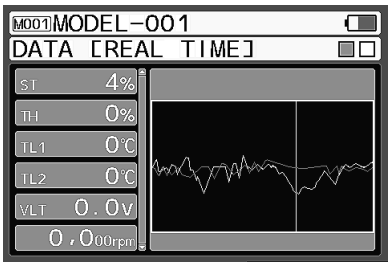


スロットル操作

セレクト操作でスロットルを選択



○ RX MODE SETTING の設定が正しくおこなわれると、ロガー画面に
BIND した送信機のデータが表示されます。



⚠ **注意** ● RX-MODE SETTING の機能はランチャーの RX-MODE(P.21) でしか使用できないメニューです。

INDEX へ戻る

各機能の使用方法

モデル［MODEL］

●モデル セレクト、クイック セットアップ ウィザード、モデル ネーム、モデル コピー、モデル クリアについての機能が設定できます。
●大容量EEPROMを内蔵しており、M001～M250の250モデル分のデータを記憶することができます。

モデル セレクト［MODEL SELECT］

モデル［MODEL］

●記憶されているM001～M250のモデル データを簡単に呼び出すことができます。

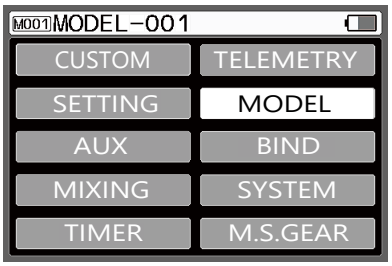
1) タッチ パッドで［MODEL］を選択し、エンター操作で決定します。

2) タッチ パッドで［MODEL SELECT］を選択してエンター操作で決定します。

3) モデルの選択
タッチ パッドで呼び出したいモデルを選択します。

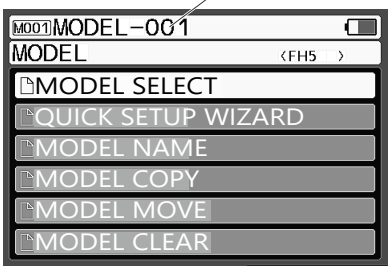
○設定範囲　M001～M250

4) 呼び出すモデルにカーソルを移動し、エンター操作をおこなうと画面上にメッセージが表示されますので、表示にしたがって操作してモデル セレクトをおこなってください。



ENTER（エンター）　BACK（バック）

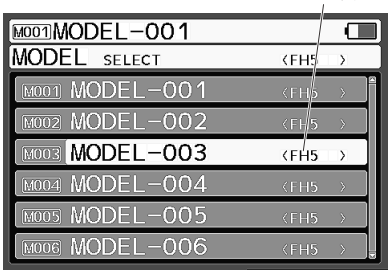
現モデル表示



①モデル 画面

ENTER（エンター）　BACK（バック）

RF MODE表示



②MODEL SELECT 画面

ENTER（エンター）　BACK（バック）

モデルセレクト完了　①モデル画面へ

補足

●M17SはダイレクトモデルのMODEL機能を装備しています。
ダイレクト モデル セレクト機能でトリム１～５にモデルを割り当てて、各トリムを操作しながら送信機のパワースイッチをONすると、操作したトリムに割り当てたモデルデータを呼び出すことができます。(P.79)

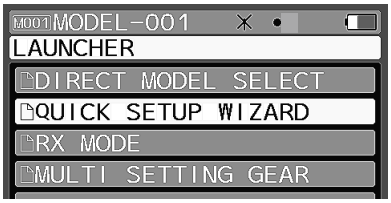
INDEX へ戻る

各機能の使用方法

クイック セットアップ ウィザード [QUICK SETUP WIZERD]　　モデル [MODEL]

●新しくRCカーをセットアップする際など、簡単操作で各種設定がおこなえる機能です。

1)タッチ パッドで [QUICK SETUP WIZERD]を選択し、
エンター操作で決定します。



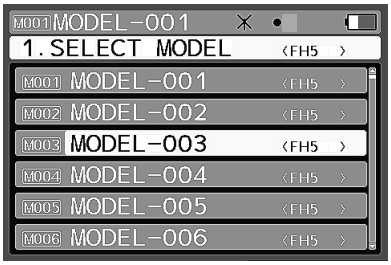
ENTER(エンター)　BACK(バック)

2) クイック セットアップ 画面が表示されます。
エンター操作するとクイック セットアップ ウィザードがスタート
します。



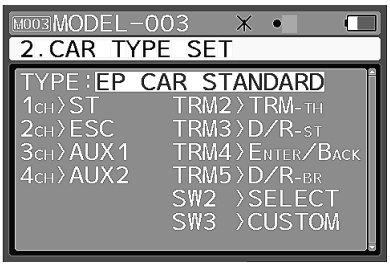
ENTER(エンター)　BACK(バック)

3) モデル セレクト画面に切り替わり、設定する
モデルをセレクト操作で選択します。
設定するモデルが確定したらエンター操作で決定します。



ENTER(エンター)　BACK(バック)

4) カー タイプ セレクト画面に切り替わりますので
カー タイプをセレクト操作で選択します。
カー タイプが確定したらエンター操作で決定します。



ENTER(エンター)　BACK(バック)

タイプ設定
〇設定範囲　EP CAR STANDARD
EP (PGS)
EP (DRIFT GYRO)
EP (SGS-02)
EP (SV-D2/SGS-02)
EP CAR (SV-G2P/PGS)
GP ON (PGS)
GP OFF (PGS)
1/5 GP Dual-ST
1/5 GP Dual-BR
CRAWLER 4WS/MOA
TANK

〇初期値　　EP CAR STANDARD

※各タイプでのチャンネル動作は以下のようになります。

TYPE別チャンネル動作仕様

CH ＼ TYPE	EP CAR (STANDARD)	EP CAR (PGS)	EP CAR (DRIFT GYRO)	EP CAR (SGS-02)	EP CAR (SV-D2/SGS-02)	EP CAR (SV-G2P/PGS-LH	GP CAR (ON-ROAD)	GP CAR (OFF-ROAD)	1/5 GP Dual-ST	1/5 GP Dual-BR	CRAWLER 4WS/MOA	TANK
CH1	ステアリング	ステアリング	ステアリング	ステアリング	ステアリング	ステアリング	ステアリング	ステアリング	ステアリング 1	ステアリング	ステアリング F	スロットル L
CH2	ESC	ESC	ESC	ESC	ESC	ESC	スロットル /ブレーキ	スロットル /ブレーキ	スロットル /ブレーキR	スロットル	ESC F	スロットル R
CH3	AUX1	AUX1	GYRO	AUX1	CODE10 (SV-D2)	CODE10 (SV-Gen2P)	AUX1	AUX1	ステアリング 2	ブレーキ R	ステアリング R	AUX1
CH4	AUX2	CODE10 (PGS)	AUX2	CODE10 (SGS-02)	CODE10 (SGS-02)	CODE10 (SGS-02)	CODE10 (PGS-XR)	CODE10 (PGS-XB)	ブレーキF	ブレーキ F	ESC R	AUX2

※使用するRCカーにあわせてタイプ選択してください。



ENTER(エンター)　BACK(バック)

INDEX へ戻る

各機能の使用方法

5) カー タイプを選択し、エンターで決定するとイニシャライズ（モデル初期化）画面に切り替ります。
メッセージに従ってイニシャライズをおこなってください。

6) イニシャライズ（モデル初期化）が完了するとRF モード選択画面に切り替ります。
使用する受信機にあわせてRF モードをアップ/ ダウンで設定してエンター操作で決定してください。

○設定範囲　FH5/FH5U
○初期値　　FH5

・対応受信機　FH5：RX-493i/RX-492i/RX-49T/RX-491
RX-493/RX-492/RX-491

7) RF モードが決定されるとレスポンス モード選択画面に切り替わります。
使用するサーボや機器にあわせて各チャンネルのレスポンス モードを
を設定します。
アップ / ダウンで設定し、エンター操作で決定してください。

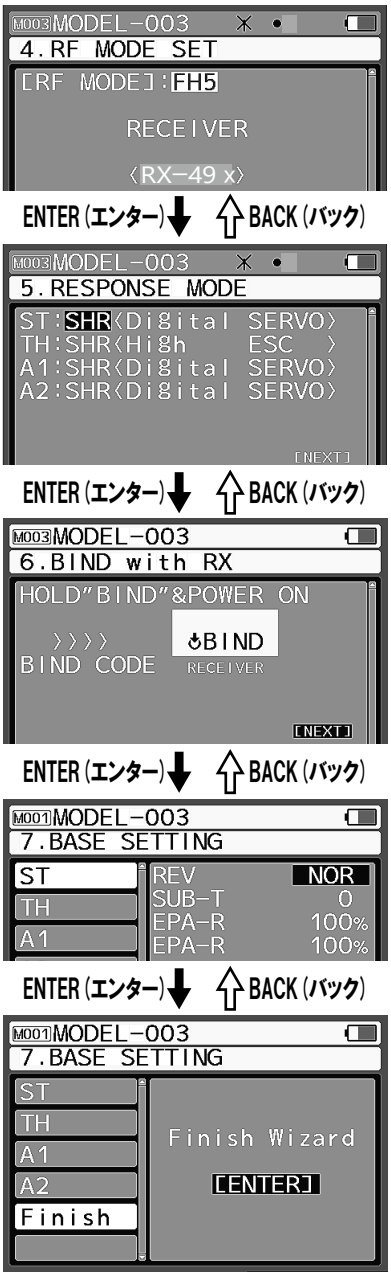
○設定範囲　NOR（ノーマル/ アナログ サーボ）
SHR（ハイレスポンス/ デジタル サーボ）
SSR（スーパーレスポンス /SRG サーボ）
SUR（ウルトラレスポンス /PGS サーボ）
SXR（エクストリームレスポンス /PGSⅡサーボ）
○初期値　　SHR（ハイレスポンス/ デジタル サーボ）

※SUR/SSR/SXRは三和純正対応機器での動作となります。
対応機器以外では動作しませんのでご注意ください。

8) レスポンス モードの設定が完了するとBIND（バインド）設定画面に切り替ります。
画面メッセージに従ってバインド作業をおこなってください。

9)BIND（バインド）が終了するとベース設定画面に切り替ります。
各チャンネルの設定をおこなってください。(P.41～ 43 参照)

10) ベース設定が終了するとセットアップ ウィザードは終了します。
エンター操作でトップ画面へ切り替ります。



INDEX へ戻る

各機能の使用方法

モデル ネーム [MODEL NAME]　　モデル [MODEL]

●記憶されている各モデルデータにアルファベット、数字、カナ、記号で１２文字までモデルネームを登録できます。

1) タッチ パッドで [MODEL] を選択し、エンター操作で決定します。

2) タッチ パッドで [MODEL NAME] を選択してエンター操作で決定します。

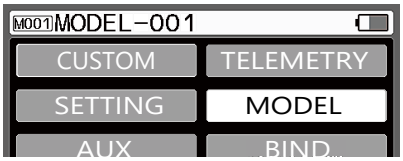
3) モデル ネームの設定 (MODEL NAME)
文字入力画面に切り替わり、モデル ネーム名全体が選択された状態になりますのでエンター操作 / カーソル移動 (スライド操作) で文字位置カーソルを移動します。
変更する文字位置でエンター操作すると入力文字選択カーソルが表示されます。

4) モデルネームの入力
入力文字カーソルをタッチパッドで選択し、入力する文字が決定したらエンター操作で入力します。

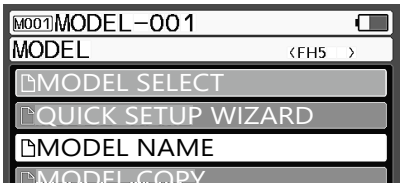
○設定範囲　A～Z、a～z、0～9、ア～ン、ァ～ッ、記号、スペース

※選択した文字を変更する場合や決定した文字入力位置のカーソルを移動する場合はバック操作をおこない動作をキャンセルしてください。

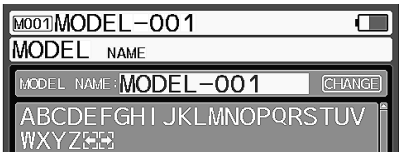
5) 文字入力が終了したら、バック操作をおこない文字入力モードを終了し、カーソルを [CHANGE] に移動してエンター操作することでモデル ネームが切り替わります。



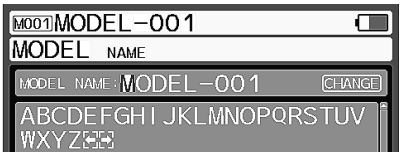
ENTER (エンター)　BACK (バック)



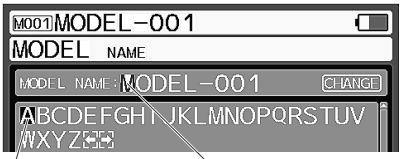
ENTER (エンター)　BACK (バック)



ENTER (エンター)　BACK (バック)

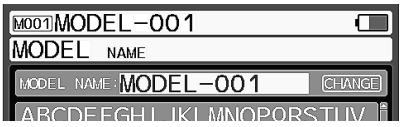


ENTER (エンター)　BACK (バック)

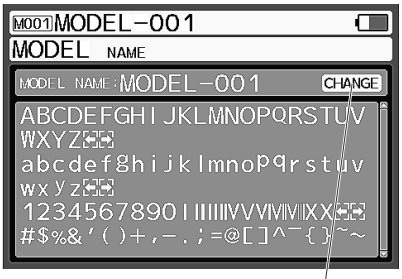


入力文字選択カーソル　文字位置カーソル

文字入力終了後、バック操作

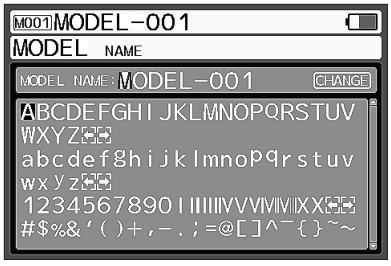


ダウン操作後ENTER (エンター)

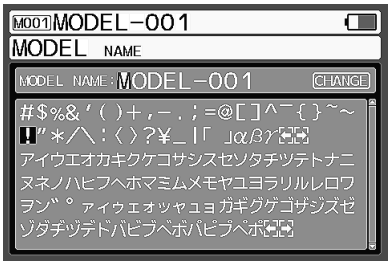


文字入力終了後[CHANGE]をクリック

アルファベット、小文字、記号



カタカナ



INDEX へ戻る

各機能の使用方法

モデル コピー [MODEL COPY]

●選択しているモデルのデータを他のモデルにコピーすることができます。

1) タッチ パッドで [モデル] を選択し、エンター操作で決定します。

2) モデル コピーの設定 (MODEL COPY)
タッチ パッドで [MODEL COPY] を選択してエンター操作で決定します。

3) コピー先モデルの選択
タッチ パッドでコピー先モデルを選択します。
※コピー元モデルも選択可能です。
※コピー元、コピー先モデルはマイクロ SD カードも選択可能です。コピー元にマイクロ SD カードを選択した場合には、マイクロ SD カード内にモデルデータが無い場合にはコピーできません。

4) エンター操作をおこなうと画面上にメッセージが表示されますので、表示にしたがって操作してモデル コピーをおこなってください。

●モデル コピーのモードについて

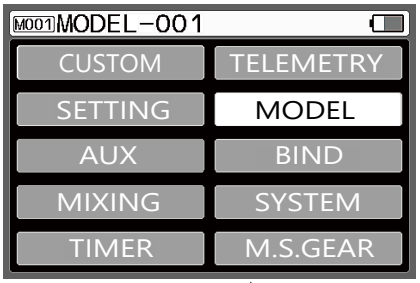
• FULL (フル)
モデル データ内のすべての設定がコピーされます。

• SYSTEM(システム)
モデル データの SYSTEM の内容を選択してコピー

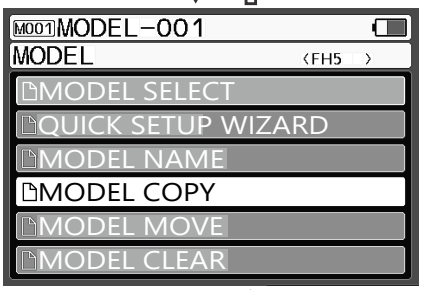
- ☐ KEY ASSIGN
- ☐ CUSTOM-LIST
- ☐ TELEMETRY
- ☐ AUX TYPE
- ☐ R-MODE

※上記から選択した機能がコピーされます。

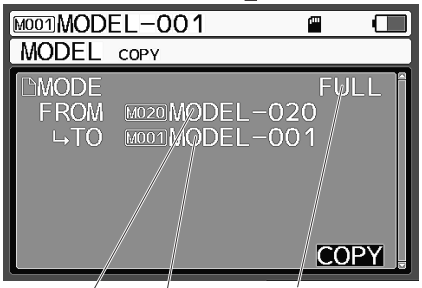
• MODEL(モデル)
モデル データ内のセッティング、TH ファンクション、AUX の設定値のみのコピーとなります。
用途にあわせてモデル コピーのモードを選択してください。



ENTER (エンター) ↓　↑ BACK (バック)

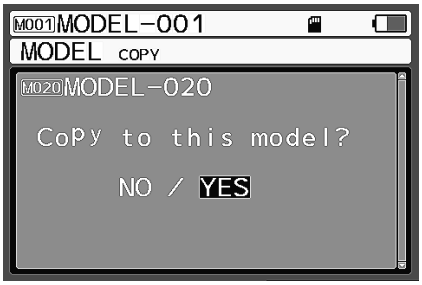


ENTER (エンター) ↓　↑ BACK (バック)



①コピー先選択

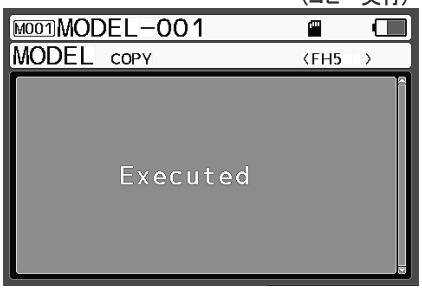
コピー元モデル　コピー先モデル　コピー モード選択



②コピー確認画面

ENTER (エンター) ↓

NO →①に戻る
・YES→③に移行
(コピー実行)



③コピー中

・コピー後①に戻る

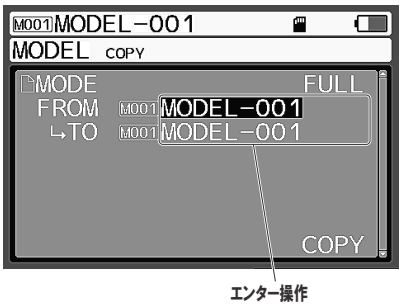
INDEX へ戻る

各機能の使用方法

●マイクロ SD カードからのコピーについて
モデル コピーの際にコピー元とコピー先の指定を本体メモリーとマイクロ SD カードが選択できます。
コピー先選択の画面でモデルを選択した際にセレクト操作によって選択することが可能です。

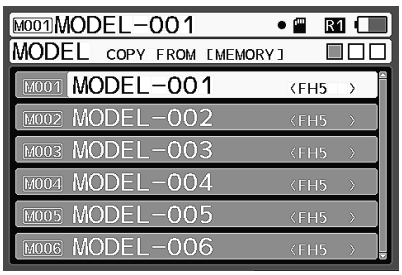
1) モデルを選択するとコピー元とコピー先の指定が本体メモリー以外も選択可能になります。
セレクト操作によって切り替わります。

- MEMORY(本体メモリー) : 250 メモリー
- SD CARD(マイクロ SD カード) : 250 メモリー

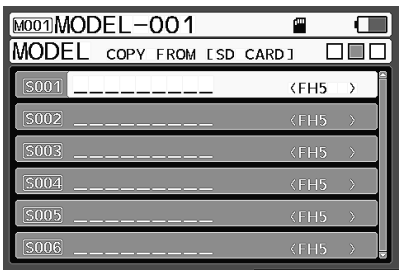


エンター操作

MEMORY
(本体)



SD CARD



INDEX へ戻る

各機能の使用方法

ムーブ［MOVE］　モデル［MODEL］

●選択しているモデルデータと別のモデルデータと入れ替えることでモデル データが並んでいる順番を入れ替えることができます。

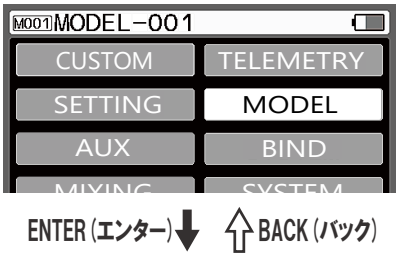
1) タッチ パッドで［MOVE］を選択し、エンター操作で決定します。

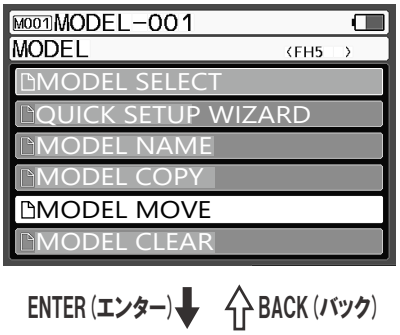
2) ムーブの設定 (MOVE)
タッチ パッドで［MOVE］を選択してエンター操作で決定します。

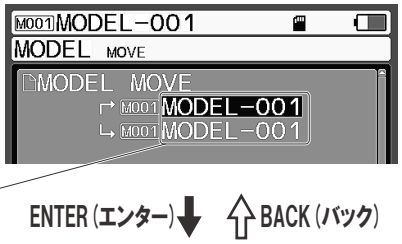
3) ムーブの選択
タッチ パッドで入れ替えるモデルを選択します。

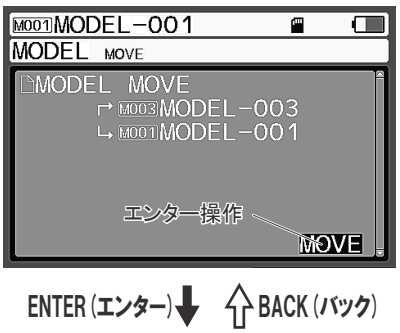
○設定範囲　M001～M250

4) 入れ替えるモデルにカーソルを移動し、エンター操作をおこなうと画面上にメッセージが表示されますので、表示にしたがって操作してモデル ムーブをおこなってください。

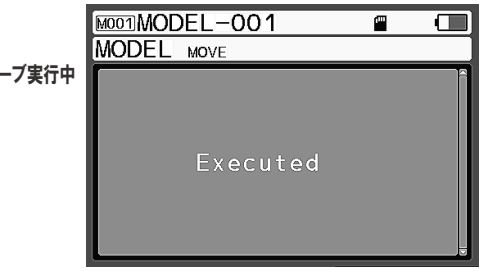












INDEX へ戻る

各機能の使用方法

モデル クリア [MODEL CLEAR]

モデル [MODEL]

●モデルの設定データをクリア (初期化) する機能です。

1) タッチ パッドで [MODEL] を選択し、エンター操作で決定します。

2) モデル クリアの設定 (MODEL CLEAR)
タッチ パッドで [MODEL CLEAR] を選択してエンター操作で決定します。

3) モデル クリアをおこなうモデル データを選択します。
セレクト操作をすることで本体メモリー、マイクロ SD 内のモデルデータも選択できます。

4) エンター操作をおこなうと画面上にメッセージが表示されますので、表示にしたがってモデル クリアをおこなってください。

●モデル クリアのモードについて

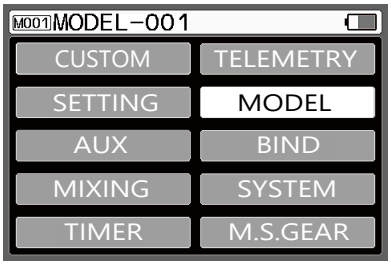
• FULL(フル)
モデル データ内のすべての設定がクリアされます。

• SYSTEM(システム)
モデル データの SYSTEM の内容を選択してクリア

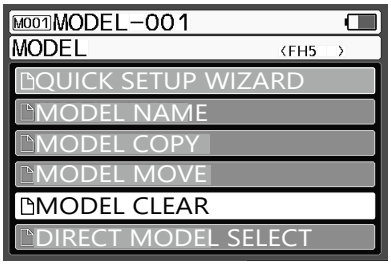
- ☐ KEY ASSIGN
- ☐ CUSTOM-LIST
- ☐ TELEMETRY
- ☐ AUX TYPE
- ☐ R-MODE

※上記から選択した機能がクリアされます。

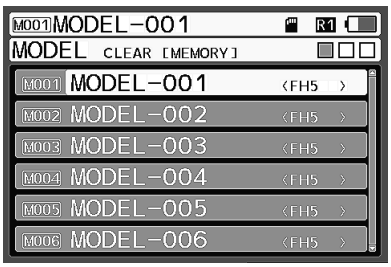
• MODEL(モデル)
モデル データ内のセッティング、TH ファンクション、AUX の設定値のみクリアとなります。用途にあわせて選択してください。



ENTER (エンター) BACK (バック)



ENTER (エンター) BACK (バック)



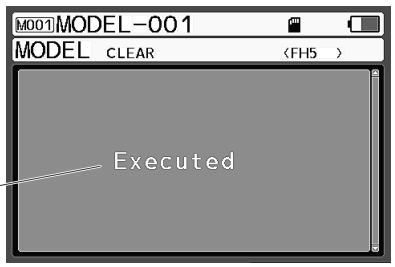
ENTER (エンター) BACK (バック)

①確認画面



・NO →MODEL画面に戻る
・YES→クリアー実行 ②へ

②クリア処理中



2回点滅表示後
<モデル>画面に戻る

INDEX へ戻る

各機能の使用方法

ダイレクト モデル セレクト [DIRECT MODEL SELECT]　　モデル [MODEL]

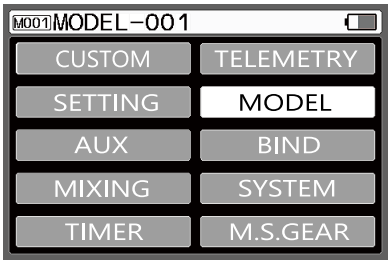
●ダイレクト モデル セレクトの機能によって、よく使用するモデル メモリーをセットしておくことで割り当てられたトリムを操作しながらパワースイッチをONすることで直ちにセットされたモデル メモリーを使用することができます。

1) タッチ パッド [MODEL] を選択し、
エンター操作で決定します。

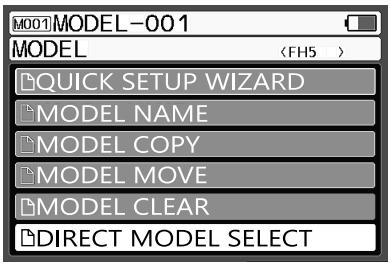
2) ダイレクト モデル セレクトの設定 (DIRECT MODEL SELECT)
タッチ パッドで [DIRECT MODEL SELECT] を選択してエンター操作で決定します。

3) それぞれのトリムに割り当てるモデル データを選択します。

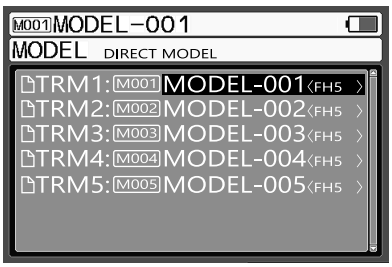
○設定範囲　M001～M250



ENTER (エンター)　BACK (バック)



ENTER (エンター)　BACK (バック)



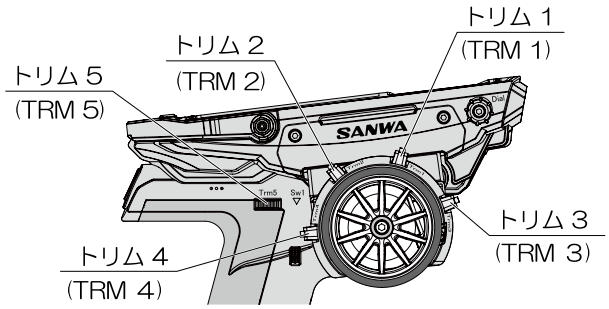
○ダイレクト モデル セレクト1の呼び出し方法
トリム1を操作しながらパワースイッチONでダイレクト モデル セレクト1に設定されたモデルが起動します。

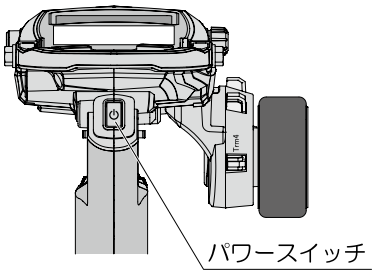
○ダイレクト モデル セレクト2の呼び出し方法
トリム2を操作しながらパワースイッチONでダイレクト モデル セレクト2に設定されたモデルが起動します。

○ダイレクト モデル セレクト3の呼び出し方法
トリム3を操作しながらパワースイッチONでダイレクト モデル セレクト3に設定されたモデルが起動します。

○ダイレクト モデル セレクト4の呼び出し方法
トリム4を操作しながらパワースイッチONでダイレクト モデル セレクト4に設定されたモデルが起動します。

○ダイレクト モデル セレクト5の呼び出し方法
トリム5を操作しながらパワースイッチONでダイレクト モデル セレクト5に設定されたモデルが起動します。





• 呼び出すモデル データを割り当てたトリムを操作しながらパワースイッチON
※トリムはどちらに操作しても割り当てたモデル データが起動します。
※画面上でダイレクト モデル セレクトが終了したことを確認してからトリム操作を終了してください。

INDEX へ戻る

各機能の使用方法

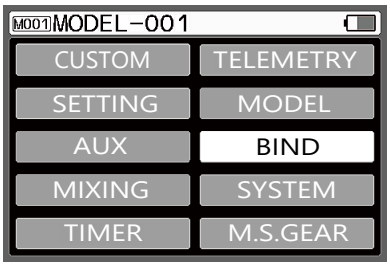
バインド [BIND]

BIND(バインド) で出力方式の設定や各チャンネルのレスポンスモードの設定をおこなう機能になります。

バインド [BIND]

●使用する受信機にあわせた出力方式の選択や、使用するサーボ (デジタル / アナログ) やスピードコントローラーにあわせてモードの設定や送信機と受信機のバインドをおこないます。
● RX-493i は Dual ID 仕様の受信機となっております。

1) タッチ パッドで [BIND] を選択して、エンター操作で決定します。

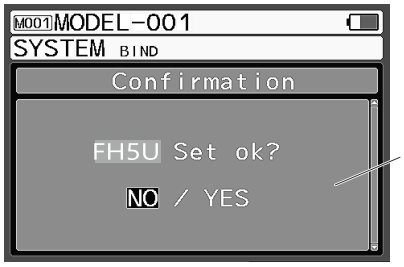


ENTER (エンター) ⇩　⇧ BACK (バック)

3) アールエフ モードの設定 (RF MODE : 電波の出力方式)
タッチ パッドで出力方式を設定します。

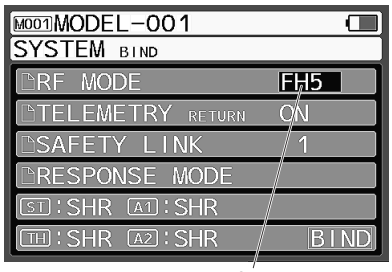
○出力方式 (対応受信機)
• FH5U/FH5 : RX-493i/RX-492i/RX-49T
RX-493/RX-492/RX-491

○初期値　FH5



確認画面

※出力方式を変更すると画面上にメッセージが表示されますので、表示にしたがって操作してください。



出力方式

4) テレメトリー リターンの設定
(TELEMETRY RETURN) [※ FH5 のみで設定可能]
• FH5 に対応した受信機を使用する際に受信機からのテレメトリーデータの送信 (リターン データ) をタッチ パッドで設定します。

○設定範囲　ON/OFF
○初期値　ON

※ TELEMETRY RETURN
使用可能受信機 : RX-493i/RX-492i/RX-49T
RX-493/RX-492/RX-491
※ BIND したあとで TELEMETRY RETURN の設定を変更した場合には再度 BIND をおこなってください。

5) セーフティー リンクの設定 (SAFETY LINK)
タッチ パッドで SAFETY LINK(セーフティー リンク) を設定します。

○設定範囲　1 ～ 50
○初期値　1

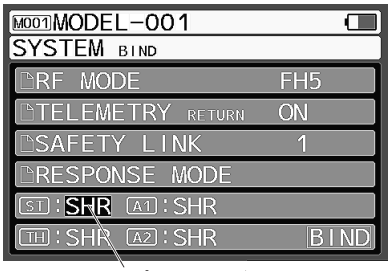
※ SAEFTY LINK の設定を変更した場合には再度 BIND おこなってください。

補足
●モデル セレクト間違いによる暴走などを防止する機能です。モデルごとにLINK No.を設定できます。
●モデル コピー(FULL)をおこなうとLINK No.もコピーされます。
●初期値は[1]に設定されています。LINK No.を変更しない場合にはBINDされた受信機はすべてのモデルで動作します。

INDEX へ戻る

各機能の使用方法

6) レスポンス モードの設定
　タッチ パッドで各チャンネルのレスポンス モードを設定します。
※使用する機器に合わせて、各チャンネルのレスポンス モードを設定してください。
・レスポンス モードはチャンネルごとに設定できます。



○設定範囲　NOR(ノーマル)
　　SHR(ハイレスポンス)
　　SSR(スーパーレスポンス)
　　SUR(ウルトラレスポンス)
　　SXR(エクストリームレスポンス)
○初期値　SHR

※SUR のレスポンス モードは FH5 設定時のみ表示、
　SXR のレスポンス モードは FH5U 設定時に表示されます。

重要

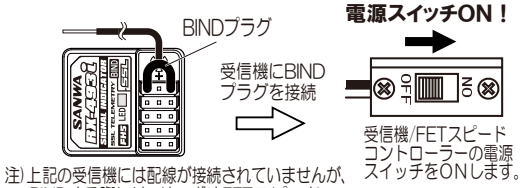
●SXR/SUR/SSRは三和純正対応機器での動作となります。対応機器以外では動作しませんのでご注意ください。
●SXR/SUR/SSR/SHRモードではアナログサーボは動作しませんのでご注意ください。誤ってSXR/SUR/SSR/SHRモードでアナログサーボを使用すると正常に動作せずサーボが壊れます。絶対にSXR/SUR/SSR/SHRモードでアナログサーボを使用しないでください。
　デジタルサーボ(ERB、ERSシリーズ、Digital ERGシリーズ)の場合はNOR/SHRモードで動作します。
●PGSⅡサーボは全てのレスポンスモード、PGSサーボはSXR以外のモードで動作し、SRGサーボはSSR/SHR/NORモードで動作します。
●SUPER VORTEX Gen2 PRO/SV-D2は全てのレスポンスモードで動作します。

7)BIND(バインド)の設定
● BIND(バインド)とは：M17S 送信機はそれぞれ固有の ID(個体識別)番号をもっていて、その ID 番号を受信機に記憶させることです。バインドした送信機と受信機のセットでしか動作しません。

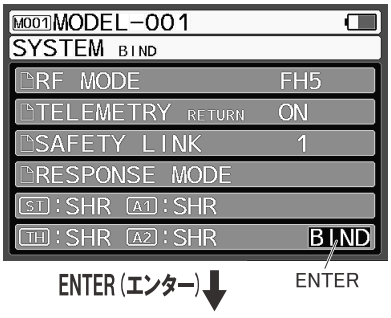
1]BIND(バインド)メニュー内の設定が終了したらタッチ パッドにより BIND 設定をおこないます。

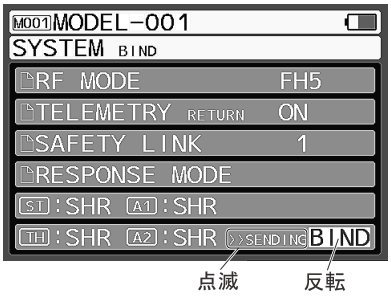
2]BIND メニュー内の [BIND] にカーソルを移動してエンター操作すると送信機が BIND(バインド)モードになります。

3] 受信機の BIND/SSL ポートに BIND プラグを接続して、受信機の電源を ON します。
※ BIND の際は空いているコネクターに電源を接続して BIND 作業をおこなってください。(EP カーの場合はスピード コントローラーを CH2 に接続してください。)



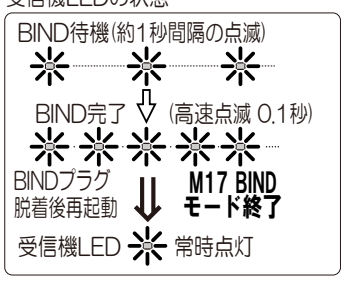
注)上記の受信機には配線が接続されていませんが、BINDする際には、サーボやFETスピードコントローラー(モーターは除く)、バッテリーを接続した状態でおこなってください。





4]BIND(バインド)が正しくおこなわれると、受信機の LED がゆっくりとした点滅から高速点滅になります。高速点滅になったら BIND プラグを抜いて、受信機の BIND モードを終了して、受信機を再起動してください。
M17S の BIND モードをタッチ パッドのエンター操作 / バック操作で終了させてください。BIND が正しくおこなわれると受信機 LED が点灯します。受信機 LED が点灯したらサーボ等を動作させて BIND が終了したことを確認してください。※通常時は受信機 LED は常時点灯
※ BIND(バインド)が正しくおこなえない場合には、2] の作業からやりなおしてください。

受信機LEDの状態



INDEX へ戻る

各機能の使用方法

⚠注意

●出荷時にはBINDされておりません。ご使用になる前に必ずRX-493iまたはRX-492i、RX-49T受信機とBINDをおこなってください。
●新たに受信機を購入された場合は、必ず送信機と新しい受信機でBINDをおこなってください。
●BINDしてからBINDメニュー内の設定や各チャンネルのレスポンス モード設定(SXR/SUR/SSR/SHR/NOR)の設定を変更した場合にはには再度BINDをおこなってください。再BINDしないと設定変更が反映されません。

Dual ID について

- FH5 受信機は2台の M17S と BIND させることが可能で、2台の送信機固有の送信機 ID を受信機に記憶させること (BIND/ バインド) で、バインドした 2 台の送信機との動作が可能になります。
  対応する送信機は M17S/M17/EXZES Z Ⅲ /MT-5/MT-R のみになります。
  (※2 台の送信機と同時使用はできません。)
  耐久レースなどで個々の好みのポジションや設定にあわせた送信機の組合せが可能となりました。
- スロットルのニュートラル位置や動作量は個々の送信機によって異なる可能性があります。バインドした送信機の組合せによって、送信機の設定値が同じにならない場合があります。車体のリンケージに合わせてそれぞれの送信機で調整をおこなってください。
- フェールセーフの設定は必ずそれぞれの送信機でおこなってください。
- BIND する2台の送信機の RF MODE とレスポンス モードは全て同じにしてください。同じ設定になっていないと、2 つの送信機での BIND がおこなえません。

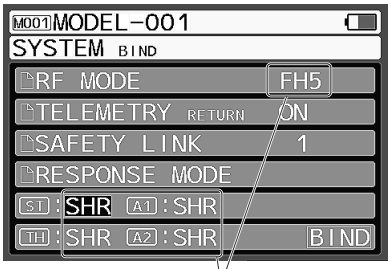
※違う設定の送信機を2台目の送信機として BIND した場合には1台目に BIND した送信機の ID(識別番号) は消去され、上書きされます。
※3 台目の BIND をおこなうと、1 台目の送信機の ID が消去されます。

1] 2台目の M17S のバインド設定について (BIND)
基本的な操作方法は 1 台目に BIND(バインド) した操作と同様です。
RF MODE の設定とレスポンス モードの設定は 1 台目と必ず同じに設定にしてください。

2]BIND メニュー内の [BIND] にカーソルを移動してエンター操作すると送信機が BIND(バインド) モードになります。

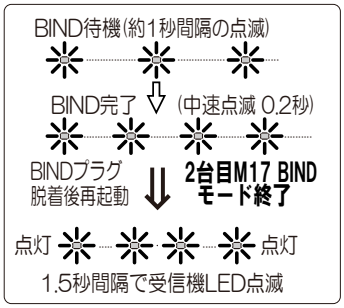
3] 受信機の BIND/SSL ポートに BIND プラグを接続して、受信機の電源を ON します。

4]BIND(バインド) が正しくおこなわれると、受信機の LED がゆっくりとした点滅から中速点滅になります。中速点滅になったら BIND プラグを抜いて、受信機の BIND モードを終了してから、受信機を再起動してください。
タッチ パッドをエンター操作 / バック操作で送信機の BIND モードを終了させてください。BIND が正しくおこなわれると受信機 LED が点灯します。
受信機 LED が点灯したらサーボ等を動作させて BIND が終了したことを確認してください。
※ BIND(バインド) が正しくおこなえない場合には、2] の作業からやりなおしてください。
※ Dual ID 動作中は受信機 LED が 1.5 秒間隔で点滅します。



1台目にBINDしたM17Sと同じ設定にしてください。

Dual ID設定時の受信機LEDの状態



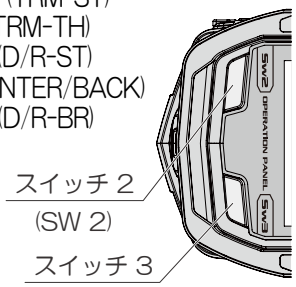
INDEX へ戻る

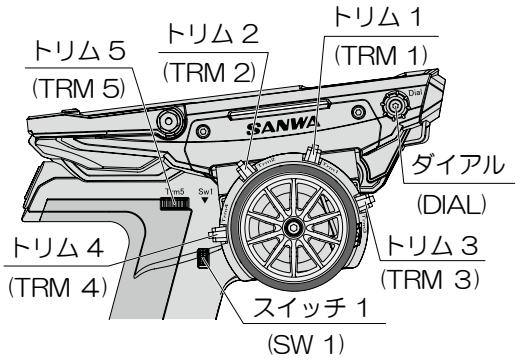
各機能の使用方法

キー アサイン [KEY ASSIGN]　　システム [SYSTEM]

●送信機のスイッチ (SW 1～3)、トリム (TRM 1～5)、DIAL に機能およびトリム (機能の設定値の増減) を割り当てることができ、走行中に機能の ON/OFF、設定値の変更ができます

工場出荷時にスイッチとトリムに割り当てられている機能
TRM1：ステアリング トリム (TRM-ST)
TRM2：スロットル トリム (TRM-TH)
TRM3：デュアル レート ST(D/R-ST)
TRM4：エンター / バック (ENTER/BACK)
TRM5：デュアル レート BR(D/R-BR)
SW1：タイマー (TIMER)
SW2：セレクト (SELECT)
SW3：カスタム (CUSTOM)
DIAL：カーソル (CURSOR)



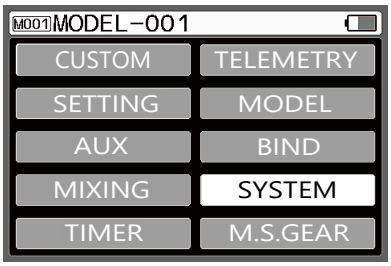


キー アサイン スイッチ [KEY ASSIGN SW]

●送信機のスイッチ (SW1、SW2、SW3) に機能を割り当てることができ、走行中に機能の ON/OFF ができます。

1) タッチ パッドで [SYSTEM] を選択し、エンター操作で決定します。

2) タッチ パッドで [KEY ASSIGN] を選択してエンター操作で決定します。



ENTER (エンター)　BACK (バック)

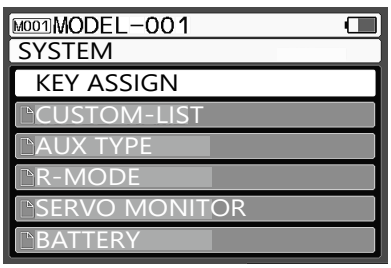
3) スイッチの設定 (SW1/SW2/SW3)
スイッチに割り当てる機能をアップ / ダウン操作で設定します。

○設定範囲

スイッチ	割り当て可能な機能
SW1 SW2	OFF、ALB、OFFSET、AUX1、AUX2、LAP、INT1、INT2、DOWN、C-MIX、C-MIX1～5、VOICE、SELECT、CUSTOM、R-MODE
SW3	OFF、ALB、OFFSET、AUX1、AUX2、C-MIX、C-MIX1～5、KEYLOCK、CUSTOM、ALT、MOTION

※C-MIX : C-MIX1～C-MIX5を一括で操作可能

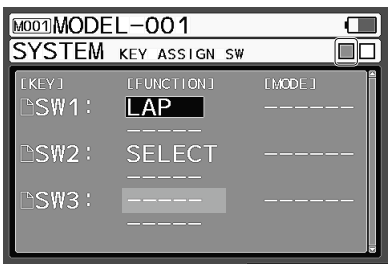
○初期値　SW1 : LAP
SW2 : SELECT
SW3 : ------



ENTER (エンター)　BACK (バック)

4) モードの設定
スイッチの動作を設定しますが割り当てる機能によっては設定出来ない場合が有ります。

○設定範囲　TOGGLE(押すたびに ON/OFF 切り替え)
PUSH(押しているあいだのみ ON)
VOICE(TEMP1/TEMP2/VOLT/ALL)
SELECT(NOR/REV)
R-MODE(UP/DOWN)
KEYLOCK/ALT(SW/TRM/ALL)



※出荷時には SW3 に [CUSTOM] が設定されています。
電源 ON 時に SW3 が押されているとカスタム メニューでの起動になります。
※ SW3 に [ALT/ オルタネート] を設定することによって、SW1/SW2、TRM1 ～ 5、DIAL にもう一つ別の機能を割り当てることができるようになります。切り替わる範囲は [MODE] で選択可能です。
SW3 の操作によって、割り当てた機能の切り替えが可能になります。

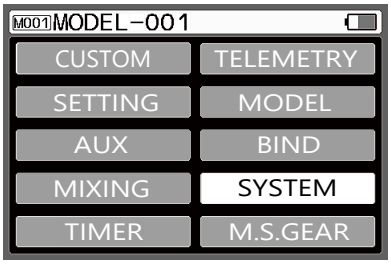
INDEX へ戻る

各機能の使用方法

キー アサイン トリム [KEY ASSIGN TRIM]

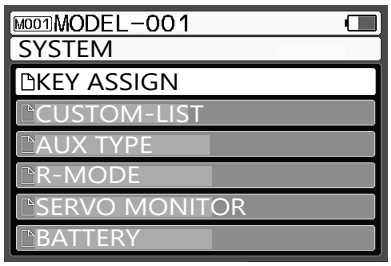
●各機能の設定値をトリム１～5、ダイアルで変更できます。
● STEP の設定で１回のトリム操作での変化幅の設定と REV の設定で動作方向も変更できます。

1) タッチ パッドで [SYSTEM] を選択し、エンター操作で決定します。



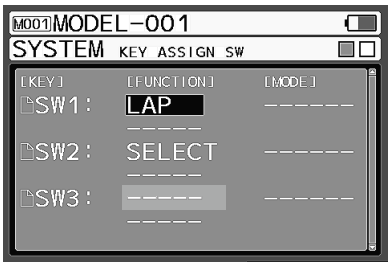
ENTER (エンター)　BACK (バック)

2) タッチ パッドで [KEY ASSIGN] を選択してセレクト操作で [TRIM] に切り替えて、設定する項目を選択してエンター操作で決定します。

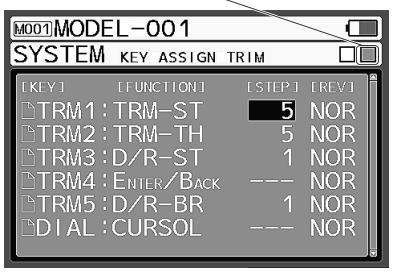


ENTER (エンター)　BACK (バック)

3) トリムの設定 (TRM1/TRM2/TRM3/TRM4/TRM5)
設定変更する [TRIM] を選択して、割り当てる機能をタッチパッドの操作で設定します。



セレクト操作でTRIMを選択



○設定範囲

トリム	割り当て可能な機能
TRM1 TRM2 TRM3 TRM4 TRM5 DIAL	OFF、TRIM-ST、TRIM-TH、TRIM-A1、TRIM-A2、D/R-ST、D/R-TH、D/R-BR、D/R-A1H、D/R-A1L、D/R-A2H、D/R-A2L、SPD-ST-FWD、SPD-ST-RTN、SPD-ST-PNT、SPD-TH-FWD、SPD-TH-RTN、SPD-TH-PNT、SPD-A1-FWD、SPD-A1-RTN、SPD-A1-PNT、SPD-A2-FWD、SPD-A2-RTN、SPD-A2-PNT、CRV-ST-RATE、CRV-ST-PNT、CRV-TH-RATE、CRV-TH-PNT、CRV-BR-RATE、CRV-BR-PNT、CRV-A1-RATE、CRV-A1L-RATE、CRV-A1-PNT、CRV-A1L-PNT、CRV-A2-RATE、CRV-A2L-RATE、CRV-A2-PNT、CRV-A2L-PNT、ALB-POINT、ALB-STROKE、ALB-LAG、ALB-CYCLE、ALB-DUTY、OFFSET-PNT、CM1-RATE1、CM1-RATE2、CM1-OFFSET、CM2-RATE1、CM2-RATE2、CM2-OFFSET、CM3-RATE1、CM3-RATE2、CM3-OFFSET、CM4-RATE1、CM4-RATE2、CM4-OFFSET、CM5-RATE1、CM5-RATE2、CM5-OFFSET、AUX1、AUX2、AUX1-ACKER、AUX1-D/R、AUX1-LEFT、AUX1-RIGHT、AUX1-CENT、AUX1-TOE、AUX2-ACKER、AUX2-D/R、AUX2-LEFT、AUX2-RIGHT、AUX2-CENT、AUX2-TOE、AUX1-FLAP、AUX1-TH-FL、AUX2-FLAP、AUX2-TH-FL、AUX1-CODE1~5、AUX2-CODE1~5、AUX1-CODE1~10、AUX2-CODE1~10、R-MODE、ALB-SW、OFFSET-SW、CM1-SW、CM2-SW、CM3-SW、CM4-SW、CM5-SW、LAP-SW、INT1-SW、INT2-SW、DOWN-SW、CUSTOM、VOICE-REQ(ALL)、CURSOR、ENTER/BACK、SELECT、INC/DEC

○初期値　TRIM1：TRM-ST（ステアリング トリム）
TRIM2：TRM-TH（スロットル トリム）
TRIM3：D/R-ST（ステアリング デュアル レート）
TRIM4：ENTER/BACK（エンター / バック）
TRIM5：D/R-BR（ブレーキ デュアル レート）
DIAL：CURSOR（カーソル）

4) ステップの設定 (STEP)
１回のトリム操作で動作する変化量を設定します。
タッチ パッドで [STEP] を選択してエンター操作で決定して変化量を設定します。

○設定範囲　1～100
○初期値　5

5) 動作方向の設定 (REV)
トリムを操作した際の動作方向の設定をします。
タッチ パッドで [REV] を選択してエンター操作で決定して動作方向を設定します。

○設定範囲　NOR/REV
○初期値　NOR

※VOICE-REQ（ボイス-リクエスト）：TRM1～5、DIAL に設定することで、操作時に読み上げ可能なテレメトリーデータ等をお知らせします。

※CURSOR（カーソル）：TRM1～5、DIAL に設定することで、カーソル移動や数値の増減が可能になります。

INDEX へ戻る

各機能の使用方法

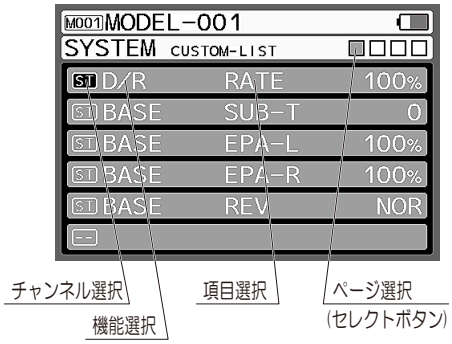
カスタム リスト [CUSTOM-LIST]　　システム [SYSTEM]

●良く使用するメニューをカスタム リストに設定することで、好みのメニュー構築が可能になります。
　カスタム リストはモデル メモリーごとに作成可能で、4ページ分のリストを作成できます。
●カスタム リストで設定したメニューは、カスタムで使用可能になります。

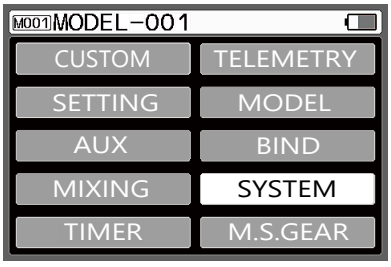
1) タッチ パッドで [SYSTEM] を選択し、エンター操作で決定します。

2) タッチ パッドで [CUSTOM-LIST] を選択してエンター操作で決定します。

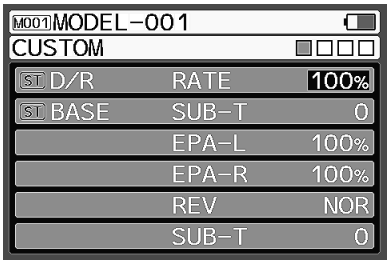
3) カスタム リストの設定
　タッチ パッドを操作して、チャンネル / 機能 / 項目の設定をおこないます。
　1ページに 6 個の設定が可能です。

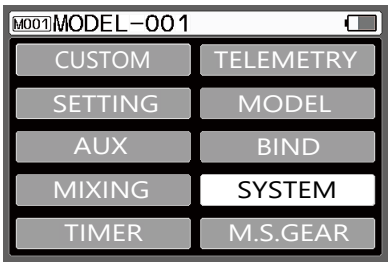


※カスタム リストはタイプにあわせてあらかじめ設定されています。
　好みにあわせてカスタム リストをカスタマイズしてください。
※機能 / 項目によってはカスタム リストに設定できない物もありますので
　ご注意ください。

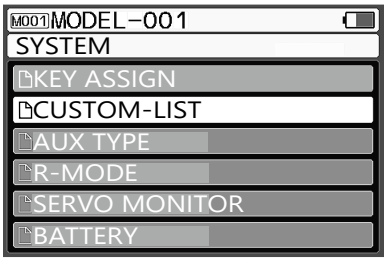


ENTER (エンター) ⇩　⇧ BACK (バック)

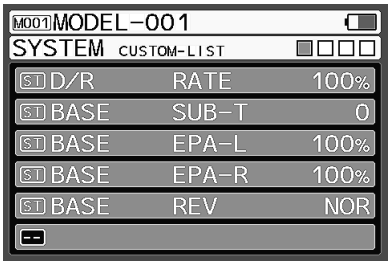




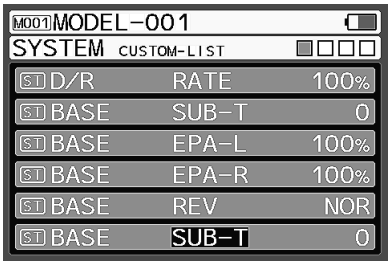
ENTER (エンター) ⇩　⇧ BACK (バック)



ENTER (エンター) ⇩　⇧ BACK (バック)



カスタム リスト設定 ⇩



※ KEY ASSIGN(キー アサイン) で割り当てた [CUSTOM] キーを押すことでカスタム メニューへのショートカットも可能です。
※チャンネル選択でエンター長押し操作をするとチャンネル設定が [--] に設定されます。
※ CUSTOM-LIST で機能を割り当てていないページは CUSTOM ではスキップされます。

INDEX へ戻る

各機能の使用方法

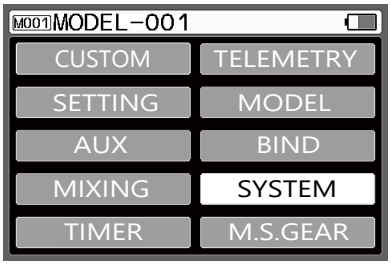
エーユーエックス タイプ［AUX TYPE］　システム［SYSTEM］

● AUX1、AUX2(3ch、4ch) の動作を設定する機能です。

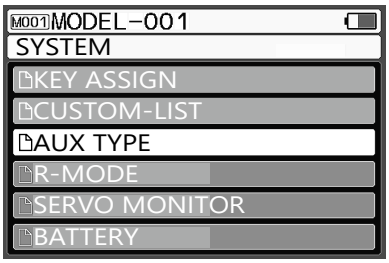
1) タッチ パッドで［SYSTEM］を選択し、エンター操作で決定します。

2) タッチ パッドで［AUX TYPE］を選択してエンター操作で決定します。

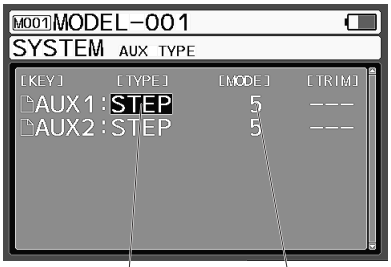
3) タッチ パッドで AUX TYPE の設定をおこないます。



ENTER（エンター）　BACK（バック）



ENTER（エンター）　BACK（バック）



タイプ切り替え　モード設定

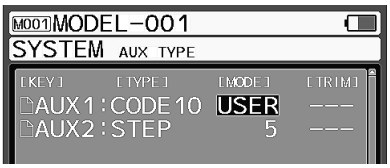
○設定項目

TYPE	MODE
STEP	1/2/5/10/20/25/50/100
POINT	2/3/4/5/6
4WS	2mode/3mode/4mode
MOA	1/2/5/10/20/25/50/100
DUAL-ST	---
BR-MIX	---
BOAT	1/2/5/10/20/25/50/100
CODE10	USER/SV-Gen2(AUX1のみ)/PGS(AUX2のみ)

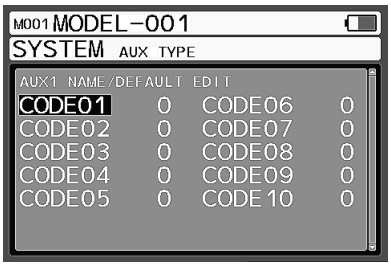
○初期値　AUX1：STEP　MODE：5
　　AUX2：STEP　MODE：5

※ AUX TYPE によって機能の設定項目が変化したり、キーアサインに割り当てられる機能が変化します。
※ AUX TYPE を CODE10 に設定した場合には対応した機器の設定を送信機から変更できるようになります。
PGS サーボ /SUPER VORTEX Gen2 PRO/Gen2/STOCK/SV-D2/SGS-02 は CODE10 に対応した機器になります。
※ AUX TYPE の設定を CODE10 に設定している場合には受信機の AUX1、AUX2(3ch、4ch) に対応機器以外を絶対に接続しないでください。対応していない機器を接続した場合にはその機器が破損します。
※ POINT AUX は P.42 を、CODE AUX に関しては P.47 を参照してください。
※ CODE10 で MODE を USER に設定すると各項目の名称と初期値を自由に登録できます。
※ AUX TYPE の［MODE］を［USER］で確定してエンター操作で編集画面の［NAME/DEFAULT EDIT］へ移行します。
※［NAME］は入力後 AUX へ反映されます。
［DEFAULT/ デフォルト］で設定された設定値は AUX で長押しクリアの操作をおこなった際に設定される初期値になります。

NAME/DEFAULT EDIT



ENTER（エンター）　BACK（バック）



NAME/DEFAULT EDIT機能で各項目と設定値を設定

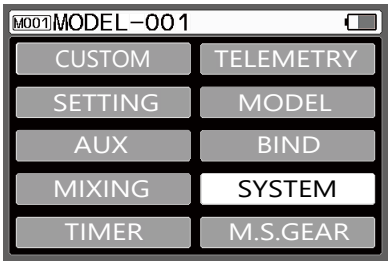
INDEX へ戻る

各機能の使用方法

レーシング モード [R-MODE]　　システム [SYSTEM]

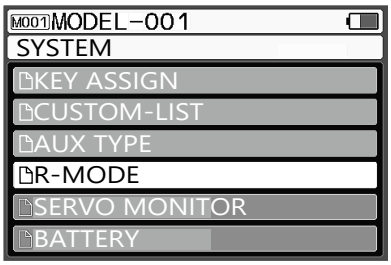
●レーシング モードに対応している機能を RC カーや路面コンディションの変化に対応できるようにレーシング モードを切り替えることで RC カーの走行特性を調整する機能です。
●モデル メモリーごとに、レーシング モードに対応している機能を個別に R1 ～ R 5に設定値を持たせることが可能で、走行中に割り当てたスイッチでの切り替えが可能になります。
●初期設定では R-MODE の ON/OFF はスイッチに割り当てられていません。

1) タッチ パッドにより [SYSTEM] を選択し、エンター操作で確定します。



ENTER (エンター)　BACK (バック)

2) タッチ パッドで [R-MODE] を選択してエンター操作で確定します。

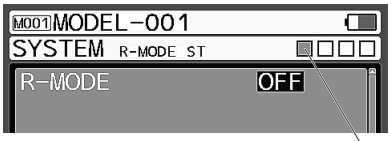


ENTER (エンター)　BACK (バック)

3) タッチ パッドでレーシング モードの動作と対応している機能の設定をおこないます。
チャンネル選択はセレクト操作でおこないます。

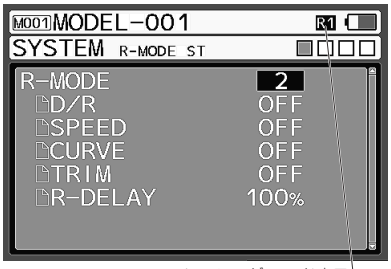
○設定範囲　R-MODE : OFF/2/3/4/5
　　対応機能 : 各機能 ON/OFF
　　R-DELAY 0 ～ 100%
○初期設定　R-MODE : OFF
　　対応機能 : 各機能 OFF
　　R-DELAY 0%

○対応機能
ST/TH : D/R、SPEED、CURVE、TRIM、R-DELAY
AUX : D/R、SPEED、CURVE、TRIM、AUX、R-DELAY
MIXING : MIXING(C-MIX1 ～ 5)

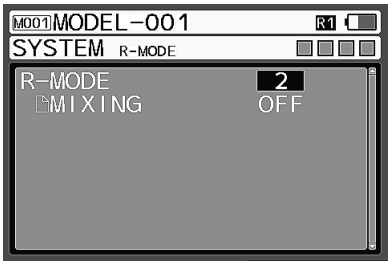


チャンネル選択

4)R-MODE の機能をスイッチに設定し、走行中に操作することでレーシングモードの切り替えができます。
アサイン機能でトリム レバーやスイッチに変更が可能です。(P.88、89)
※ SUPER VORTEX の設定変更やタイヤの磨耗、路面コンディションの変化などににあわせて設定してください。
※ R-DELAY は R-MODE が切り替わった影響でサーボの位置が大きく変化する場合に急激に変化しないようゆっくり動作させる機能です。



レーシング モード表示



INDEX へ戻る

各機能の使用方法

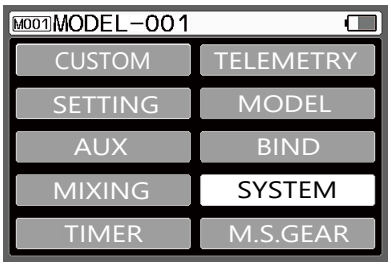
サーボ モニター [SERVO MONITOR]　　システム [SYSTEM]

●各チャンネルのサーボ出力動作がバーグラフで表示され、仮想的にサーボ動作が確認できます。
●エクスポネンシャルや ARC などの機能設定時にこの機能を使用すると、動作の状態がわかりやすくなります。

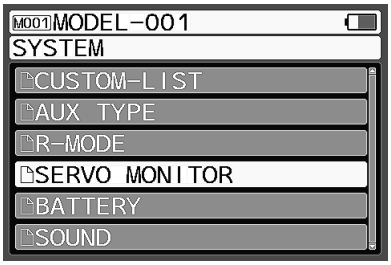
1) タッチ パッドで [SYSTEM] を選択し、エンター操作で決定します。

2) タッチ パッドで [SERVO MONITOR] を選択してエンター操作で決定します。

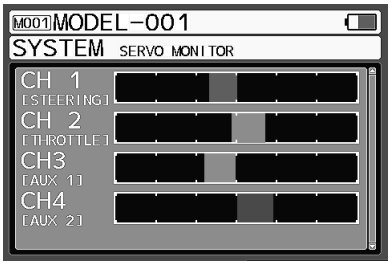
3) エンター操作で動作表示画面になりますので、バーグラフで動作を確認してください。



ENTER (エンター)　BACK (バック)



ENTER (エンター)　BACK (バック)



INDEX へ戻る

各機能の使用方法

バッテリー［BATTERY］　　システム［SYSTEM］

●送信機のバッテリーアラームの電圧設定を変更できます。
●タイプ［Li-Pox1（リチウム ポリマー）、CUSTOM（カスタム）］を選択することによってアラーム設定を簡単におこなえます。
※タイプでカスタムを選択するとアラームが鳴り始める電圧を設定する ALERT VOLT と下限電圧の LIMIT VOLT の設定が可能です。
● TH SLOW（スロットル スロー）は送信機のバッテリー電圧が LIMIT VOLT の電圧になった際にスロットル ハイ側の動作量に制限（40%）をかける機能です。ALERT VOLT の電圧になった場合にはスロットル ハイ側の動作量の制限は 80% になります。（フェールセーフ機能）

1）タッチ パッドで［SYSTEM］を選択し、エンター操作で決定します。

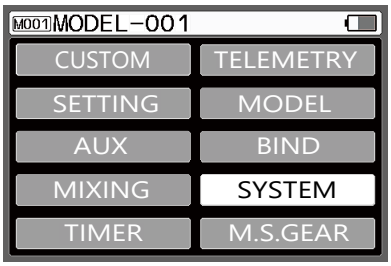
2）タッチ パッドで［BATTERY］を選択してエンター操作で決定します。

3）タイプの設定（TYPE）
タッチ パッドで使用するバッテリーにあわせてタイプ（TYPE）を設定します。

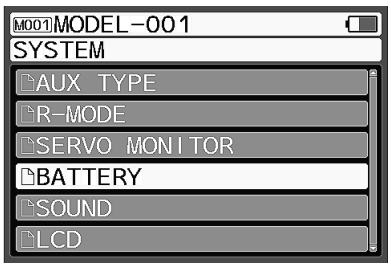
○設定範囲　Li-Pox1（リチウム ポリマー）
CUSTOM（カスタム）：ALERT VOLT 3.0 ～ 5.0v
LIMIT VOLT　2.7 ～ 5.0v

○初期値　Li-Po x 1（リチウム ポリマー）

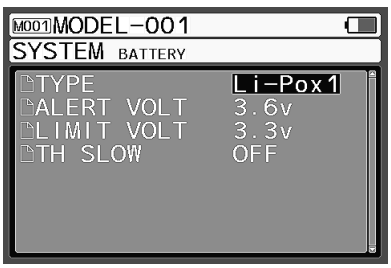
注意
● Li-Po 1 セルを使用時にカスタムで ALERT VOLT や LIMIT VOLT を下げて使用すると Li-Po バッテリーを痛める恐れがあります。三和純正 Li-Po バッテリーを使用する際にカスタムの機能は使用しないでください。



ENTER（エンター）　BACK（バック）



ENTER（エンター）　BACK（バック）



INDEX へ戻る

各機能の使用方法

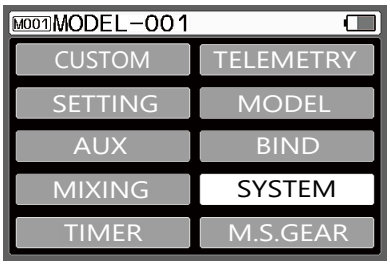
サウンド［SOUND］　　システム［SYSTEM］

●キー操作やトリム、スイッチの操作音と音量、操作時のバイブレーターの動作を設定できます。

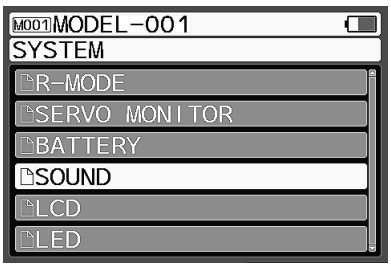
1) タッチ パッドで［SYSTEM］を選択し、エンター操作で決定します。

2) タッチ パッドで［SOUND］を選択してエンター操作で決定します。

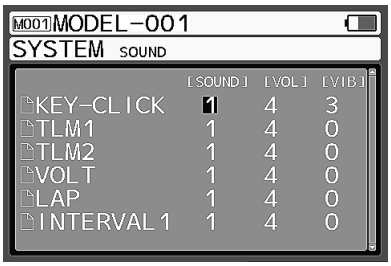
3) サウンドとボリューム、バイブレーターの設定 (SOUND)
セレクト操作でサウンド（音質）とボリューム（音量）、バイブレーターの切り替えが可能です。
設定変更する項目を選択して調整します。

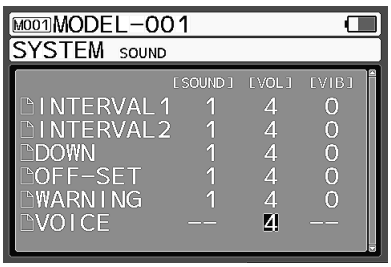


ENTER（エンター）　BACK（バック）



ENTER（エンター）　BACK（バック）





○設定項目　KEY-CLICK
TLM1
TLM2
VOLT
LAP
INTERVAL1
INTERVAL2
DOWN
OFFSET
WARNING
VOICE

○設定範囲　SOUND：1～9
VOLUME：0～5
VIBRATION：0～5

○初期値　KEY-CLICK：SOUND 1/VOL 4/VIB 3
TLM1：SOUND 2/VOL 4/VIB 0
TLM2：SOUND 3/VOL 4/VIB 0
VOLT：SOUND 4/VOL 4/VIB 0
LAP：SOUND 5/VOL 4/VIB 0
INTERVAL1：SOUND 6/VOL 4/VIB 0
INTERVAL2：SOUND 7/VOL 4/VIB 0
DOWN：SOUND 8/VOL 4/VIB 0
OFFSET：SOUND 1/VOL 4/VIB 0
WARNNING：SOUND 9/VOL 4/VIB 0
VOICE：SOUND --/VOL 4/VIB --

※ VOICE の設定は VOLUME のみになります。

INDEX へ戻る

各機能の使用方法

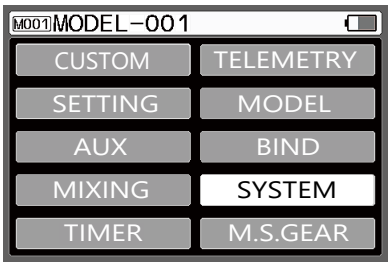
エルシーディー［LCD］　システム［SYSTEM］

● LCD（液晶）のブライト（明暗）やバックライトの点灯モード、メニューカラーが設定できます。

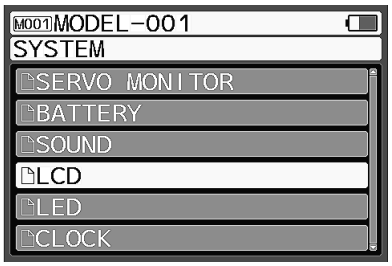
1) タッチ パッドで［SYSTEM］を選択し、エンター操作で決定します。

2) タッチ パッドで［LCD］を選択してエンター操作で決定します。

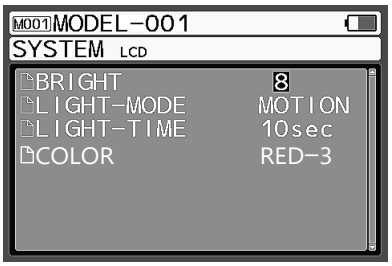
3)LCD（液晶）のブライト（明暗）、バックライトの点灯モード（点灯時間）を設定します。



ENTER（エンター）　BACK（バック）



ENTER（エンター）　BACK（バック）



○設定項目　BRIGHT（液晶の明暗）
LIGHT-MODE（バックライト点灯モード）
LIGHT-TIME（バックライト点灯時間）
COLOR（メニューカラー）

○設定範囲　BRIGHT：1～10
LIGHT-MODE：MOTION/KEY-ON/ALWAYS
LIGHT-TIME：1～30sec
COLOR：RED-1～5
PNK-1～5
PPL-1～5
DPL-1～5
IND-1～5
BLU-1～5
LBL-1～5
CYN-1～5
TEL-1～5
GRN-1～5
LGR-1～5
LIM-1～5
YEL-1～5
AMB-1～5
ORG-1～5
DOR-1～5
BRN-1～5
GRY-1～5
BGR-1～5

○初期値　BRIGHT：8
LIGHT-MODE：MOTION
LIGHT-TIME：10sec
COLOR：RED-3

※LIGHT-MODEの［MOTION］は送信機に内蔵されたモーション センサーのセンシングとキー操作によってバックライト点灯、［KEY-ON］はキー操作によってバックライト点灯、［ALWAYS］は常にバックライトが点灯します。

INDEXへ戻る

各機能の使用方法

エルイーディー［LED］　　システム［SYSTEM］

● LED の動作モードやブライト（明暗）の設定をおこないます。

1) タッチ パッドで［SYSTEM］を選択し、エンター操作で決定します。

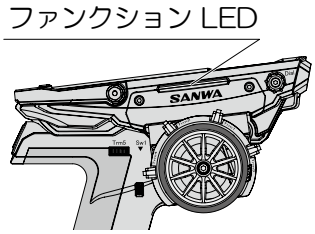
2) タッチ パッドで［LED］を選択してエンター操作で決定します。

3)LED の動作モード、ブライト（明暗）を設定します。

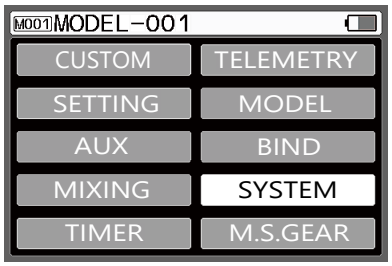
○設定項目　MODE（動作モード）
　　BRIGHT（LED の明暗）

○設定範囲　MODE：WAVE/ALWAYS/OFF
　　BRIGHT：1 ～ 10
　　※ BRIGHT は ALWAYS の設定時のみ

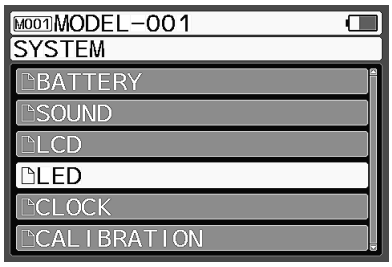
○初期値　　MODE：WAVE



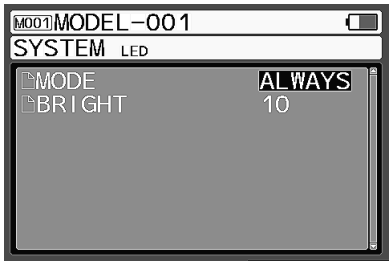
※通常は LED の MODE 設定にあわせて発光しますが、ALB や OFFSET などの各種機能動作時や Low バッテリーやテレメトリー アラートに連動してファンクション LED が点滅します。
※ LED MODE の［WAVE］は波打つような発光パターン、［ALWAYS］は常時点灯（BRIGHT 調整可能）と消灯［OFF］になります。
※ LED MODE が［OFF］に設定されていても、ALB や OFFSET などの各種機能機能動作時や Low バッテリーやテレメトリー アラートに連動してファンクション LED が連動して点滅します。



ENTER（エンター）　BACK（バック）



ENTER（エンター）　BACK（バック）



INDEX へ戻る

各機能の使用方法

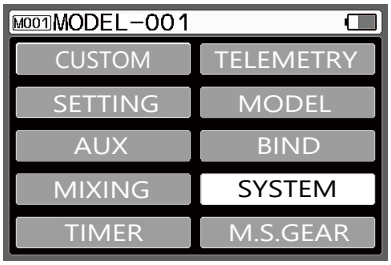
クロック［CLOCK］　システム［SYSTEM］

●トップ画面でのカレンダーや時計表示と使用時間を管理するメニューです。
●送信機バッテリー充電の目安となるリセット可能な［ ON TIME1 ］と M17S 本体のオーバーホールなどの目安になる［ ON TIME2 ］があります。

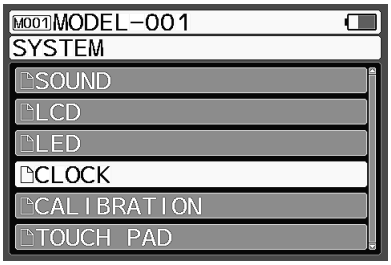
1) タッチ パッドで［ SYSTEM ］を選択し、エンター操作で確定します。

2) タッチ パッドで［ CLOCK ］を選択し、エンター操作で確定します。

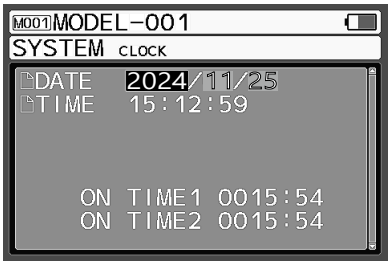
3) タッチ パッドで CLOCK 機能を設定します。
カレンダーと時計の設定をおこないますが、ログ データの管理等にもクロックの設定が必要ですので、必ず設定をおこなってください。



ENTER（エンター）　BACK（バック）



ENTER（エンター）　BACK（バック）



INDEX へ戻る

各機能の使用方法

キャリブレーション［CALIBRATION］　システム［SYSTEM］

●使用時間による内部機構部品の消耗により、ニュートラル位置や動作角度がずれる場合があります。
そのような場合にキャリブレーションをおこなうことでステアリングとスロットルのニュートラル位置および動作角度の補正をかけることができます。
※ステアリング ホイールの舵角調整機能を使用した場合には、必ずステアリングキャリブレーションをおこなってください。
※キャリブレーションをおこなった場合は、すべてのモデル メモリーのニュートラル位置、EPA の設定を確認してください。

1) タッチ パッドで［SYSTEM］を選択し、エンター操作で決定します。

2) タッチ パッドで［CALIBRATION］を選択してエンター操作で決定します。

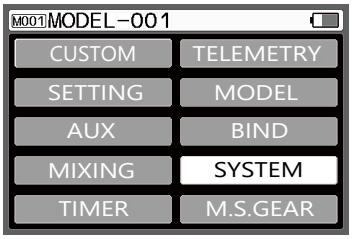
3) タッチ パッドでキャリブレーションするチャンネルを選択してエンターで決定します。

4)［STEERING］を選択した場合、ステアリング ホイルがニュートラルの状態でエンター操作してからステアリング ホイールを左側、右側いっぱいに操作します。

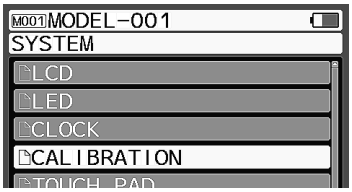
5) 補正範囲内に入るとNEUT/LEFT/RIGHT の数値横に［OK］と表示されますので、設定に問題がなければ［YES］を選択してエンター操作でキャリブレーションを終了させてください。
※再調整する場合は［NO］を選択して 4) の項目からやり直してください。

6) キャリブレーションが完了すると［Executed］と表示されます。

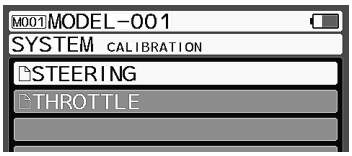
7) スロットル側もキャリブレーションが必要な場合はステアリングを参考に設定してください。
注) 必要な場合以外にキャリブレーションの設定はおこなわないでください。
正しく設定できないと正常に動作しない場合があります。



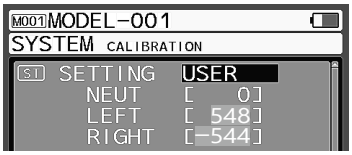
ENTER（エンター）　BACK（バック）



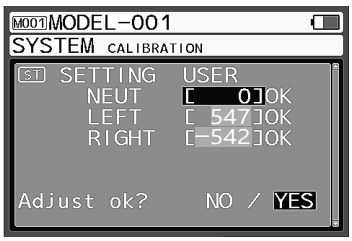
ENTER（エンター）　BACK（バック）



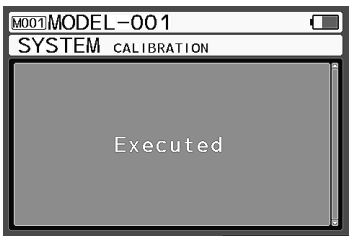
ENTER（エンター）　BACK（バック）



ENTER（エンター）　BACK（バック）



ENTER（エンター）　BACK（バック）



補足

●ステアリング ホイール舵角調整について
ステアリング ホイールからワイドステアリングパッドをはずしてください。
ステアリング ホイールの穴（2箇所）に同梱されている六角穴付ホーローセット ビスを六角レンチドライバー（1.5 mm）でねじ込み、角度調整をおこないます。（※左右均等に締めこんでください。）
※ステアリング ホイール舵角調整をおこなった場合はキャリブレーションを必ずおこなってください。
●キャリブレーションをおこなっても正常な動作に戻らないときは、再度キャリブレーションをおこなうか、SETTING の設定を［USER］から工場出荷時の［FACTORY］に戻してください。
それでも解決しない場合は三和サービスへお問い合わせください。
●ステアリング ホイールの舵角を狭くしすぎるとキャリブレーションをおこなっても正常に動作しない可能性がありますので、六角穴付ホーローセット ビスを締め込みすぎないように注意してください。
●ステアリング ホイールの舵角を初期状態に戻すには、六角穴付ホーローセット ビスをホイール アダプターの穴からビス先端が出ない状態にしてください。初期状態に戻したときもキャリブレーションをおこなってください。

INDEX へ戻る

各機能の使用方法

タッチ パッド [TOUCH PAD]　　システム [SYSTEM]

●タッチ パッドを操作した際の感度 (指を感知するレベル) を調節する機能です。
●誤動作が起こる場合や湿度の高い場所で作業する場合などは、感度を下げてください。
湿度の低い場所で作業する場合やタッチパッドを強く押さないと反応しない、タッチ パッドが操作に反応しないことがある場合は、感度を上げてください。

1) タッチ パッドで [SYSTEM] を選択し、エンター操作で決定します。

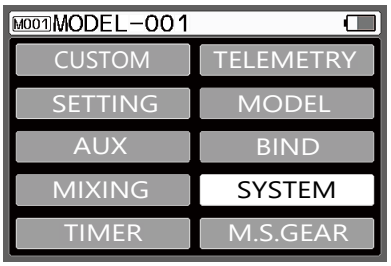
2) タッチ パッドで [TOUCH PAD] を選択してエンター操作で決定します。

3) 感度調整の設定 (SENSITIVITY)
タッチ パッドのアップ / ダウンで感度調整をおこないます。

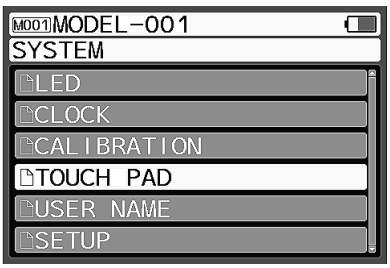
○設定範囲：1 ～ 10

○初期値：5

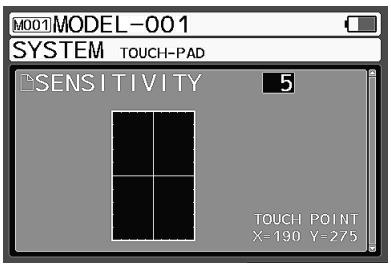
※起動時にタッチ パッド動作のキャリブレーションをおこなっています。
タッチ パッドを触りながら電源 ON すると、その状態を動作基準として設定してしまい、タッチ パッドが正しく動作しません。
起動時にはタッチ パッドを触らないでください。
タッチ パッドが正しくキャリブレーション出来なかった場合でも、数秒操作しなければ正しい状態に補正されます。
※タッチ パッドの設定は数値が大きいほうがタッチパッドの感度が高くなります。感度を高くしすぎると意に反して動作する場合もあります。
※タッチ パッドは湿気や汚れに非常に弱い特性をもっています。
感度を調整しても反応が悪い場合はウエットティッシュなどでタッチ パッドの汚れを取り除き、乾いた布などで水分をふき取ってください。
※タッチ パッドの設定変更は再起動しないと反映されませんのでご注意ください。



ENTER (エンター)　BACK (バック)



ENTER (エンター)　BACK (バック)



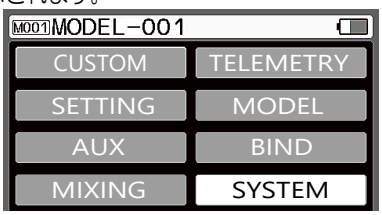
INDEX へ戻る

各機能の使用方法

ユーザー ネーム [USER NAME]　　システム [SYSTEM]

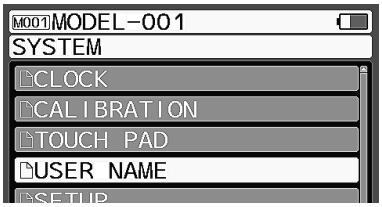
●送信機にアルファベット、数字、カナ、記号を１２文字までユーザーネームを登録できます。
●登録したユーザー ネームは電源投入時に表示されるオープニング画面に表示されます。

1) タッチ パッドで [SYSTEM] を選択し、エンター操作で決定します。



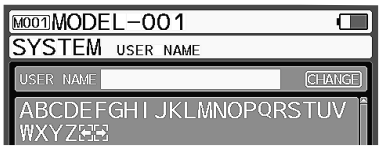
ENTER (エンター)　BACK (バック)

2) タッチパッドで [USER NAME] を選択し、エンター操作で決定します。



ENTER (エンター)　BACK (バック)

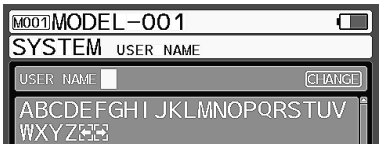
3) ユーザー ネームの設定 (USER NAME)
文字入力画面に切り替わり、文字入力スペース全体が選択された状態になりますのでエンター操作 / カーソル移動 (スライド操作) で文字位置カーソルを移動します。
変更する文字位置でエンター操作すると入力文字選択カーソルが表示されます。



ENTER (エンター)　BACK (バック)

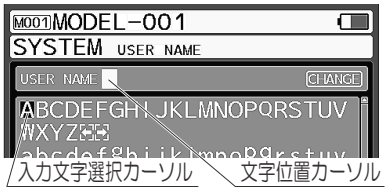
4) 入力文字の決定
入力文字カーソルをタッチパッドで選択し、入力する文字が決定したらエンター操作で入力します。

○設定範囲　A～Z、a～z、0～9、ア～ン、ァ～ッ、記号、スペース



ENTER (エンター)　BACK (バック)

※選択した文字を変更する場合や、文字入力のカーソルを移動する場合はバック操作で動作をキャンセルしてください。

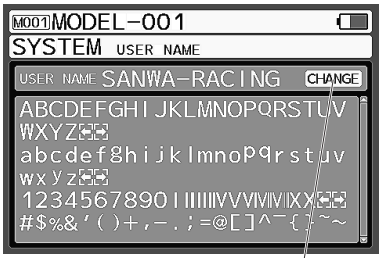


5) 文字入力が終了したら、バック操作をおこない文字入力モードを終了し、カーソルを [CHANGE] に移動してエンター操作することでユーザー ネームが切り替わります。

文字入力終了後、バック操作



ダウン操作後ENTER (エンター)



INDEX へ戻る

各機能の使用方法

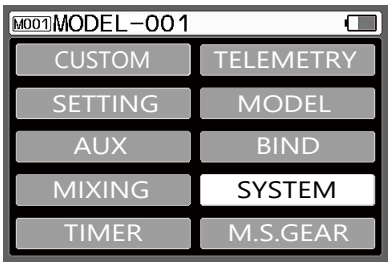
セットアップ［SETUP］　システム［SYSTEM］

●セットアップでトップ画面での温度表示の単位、電源スイッチを ON したときのオープニング ロゴの表示設定、レジューム設定、左利きへ組み替えた際の動作設定、NO OPE WARN(無操作時のアラーム)、AUTO OFF の設定をおこないます。

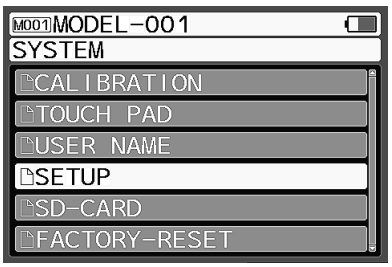
1) タッチ パッドで [SYSTEM] を選択し、エンター操作で決定します。

2) タッチ パッドで [SETUP] を選択して、エンター操作で決定します。

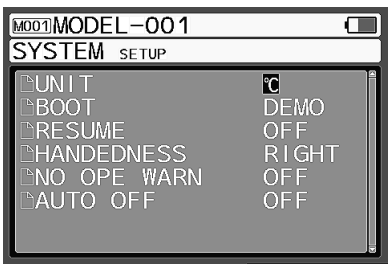
3) タッチ パッドで設定する項目を選択して、調整します。



ENTER (エンター)　BACK (バック)



ENTER (エンター)　BACK (バック)



○設定項目
- UNIT(テレメトリー データの温度単位) : ℃ / ˚F
- BOOT(電源 ON 時のオープニング ロゴ) : DEMO/NONE
- RESUME(レジューム) : OFF/ON
- HANDEDNES(左右切替) : RIGHT/LEFT
- NO OPE WARN(無操作アラーム) : OFF/1 ～ 60min
- AUTO OFF(無操作の電源 OFF 機能) : OFF/1 ～ 10min

○初期設定
- UNIT : ℃
- BOOT : DEMO
- RESUME : OFF
- HANDEDNES : RIGHT
- NO OPE WARN : 10min
- AUTO OFF : OFF

※ RESUME(レジューム) を ON に設定すると、電源 OFF にした際のメニューを記憶します。
次回電源 ON 時にそのメニューから起動します。
※ AUTO OFF は、設定した時間 NO OPE WARN(無操作アラーム) が継続して動作すると自動的に M17S の電源が OFF になる機能です。

INDEX へ戻る

各機能の使用方法

エスディー カード [SD CARD]　　システム [SYSTEM]

●本体に実装されているファームウェアのバージョン確認とアップデート、言語ファイルの確認、読み上げ機能で使用するボイス データ（音声データ）の管理がおこなえます。

1) タッチ パッドで [SYSTEM] を選択し、エンター操作で決定します。

2) タッチ パッドで [SD CARD] を選択してエンター操作で決定します。

3) タッチ パッドで設定する項目を選択して、設定します。

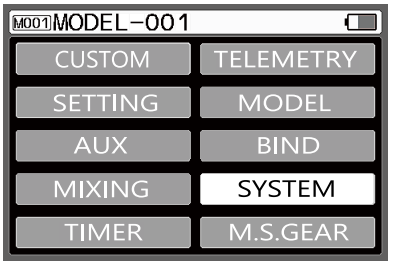
○設定項目
FIRMWARE（ファームウェア）：送信機のファームウェア バージョン確認やアップデートをおこないます。
LANGUAGE（言語ファイル）：言語ファイルの管理をおこないます。
VOICE DATA（音声データ）：音声データの管理をおこないます。

4) ファームウェアのアップデートや言語ファイル、VOICE データの書き換えをおこなう場合はマイクロ SD カードに弊社HPからデータ ファイルをダウンロードして本体内に展開してください。

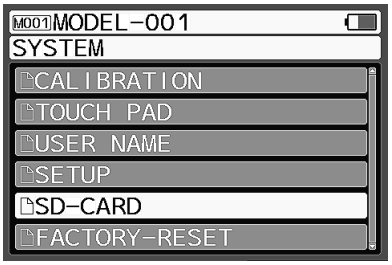
※ファームウェア アップデートについて
・最新ファームウェアを弊社 HP からマイクロ SD カードにダウンロードして M17S のマイクロ SD スロットに挿入します。

・ファームウェア確認画面で [UPDATE] をエンター操作するとアップデート確認画面へ移行します。
画面上にメッセージが表示されますので、表示にしたがってアップデートをおこなってください。

※ LANGUAGE、VOICE DATA も基本的に UPDATE と同様の手順になりますので、画面表示にしたがって操作してください。

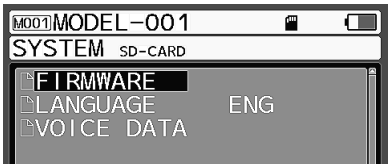


ENTER（エンター）　BACK（バック）



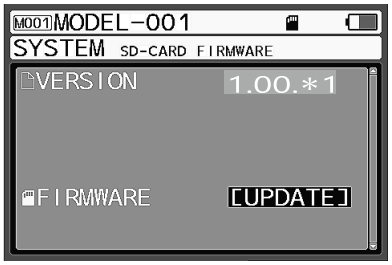
ENTER（エンター）　BACK（バック）

ファームウェア表示



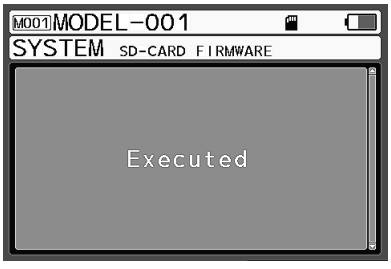
ENTER（エンター）　BACK（バック）

②現ファームウェア確認画面
※アップデートする場合はSDカード挿入



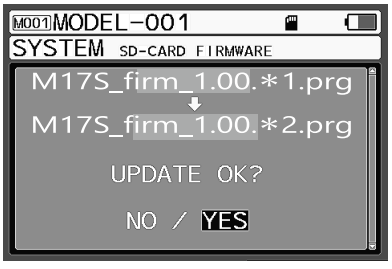
ENTER（エンター）　BACK（バック）

④アップデート実行



ENTER（エンター）

③アップデート確認画面



・NO →②に戻る
・YES→④アップデート実行

INDEX へ戻る

各機能の使用方法

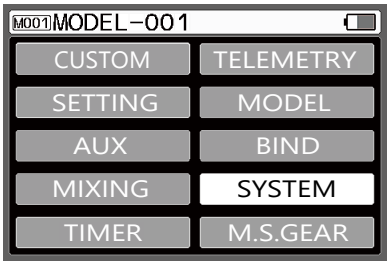
ファクトリー リセット [FACTORY -RESET]　　システム [SYSTEM]

●モデル データの各種設定やキー アサインの設定など全てをクリアして出荷状態へ戻すリセットをファクトリー リセットでおこないます。

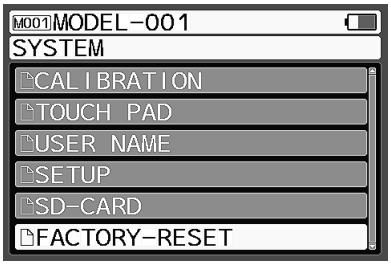
1) タッチ パッドで [SYSTEM] を選択し、エンター操作で決定します。

2) タッチ パッドで [FACTORY-RESET] を選択してエンター操作で決定します。

3) エンター操作をおこなうと画面上にメッセージが表示されますので、表示にしたがってファクトリー リセットをおこなってください。

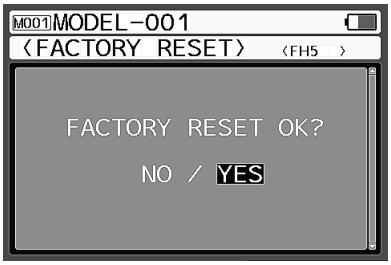


ENTER (エンター)　BACK (バック)



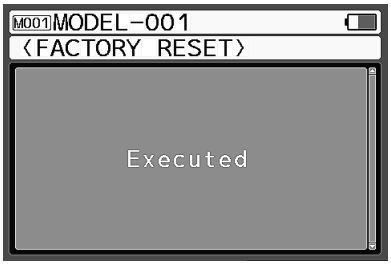
ENTER (エンター)　BACK (バック)

①確認画面



・NO →FACTORY RESET選択画面へ
・YES→ファクトリー リセット実行 ②へ

②リセット実行中



注意

●ファクトリー リセットをおこなうとすべてのモデル データが消えますのでご注意ください。念のためモデル データはSDカードに保存してからファクトリー リセットを実行することをお勧めします。

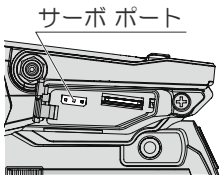
INDEX へ戻る

各機能の使用方法

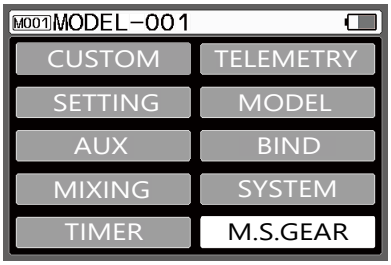
マルチ セッティング ギア [MULTI SETTING GEAR]

●マルチ セッティング ギア機能はPGSサーボの各機能の設定やファームウェアのアップデートを含む全ての調整が可能になる機能です。

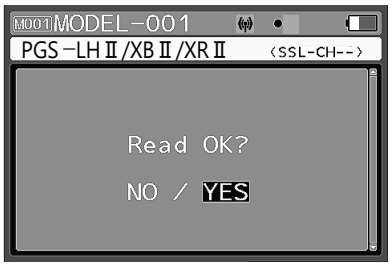
1) マルチ セッティング ギアにカーソルをあわせてエンター操作すると
マルチ セッティング ギア機能がスタートします。
※エンターの際に対応機器がM17Sのサーボ ポートに接続されていないと、エラーメッセージが表示されます。



2) 対応する機器が接続され、READ(読み込み)が完了すると
マルチ セッティング ギア機能の各機能が表示されます。
※サーボ ポートに対応する機器を接続する際に、コネクターの向きにご注意ください。



ENTER(エンター) BACK(バック)

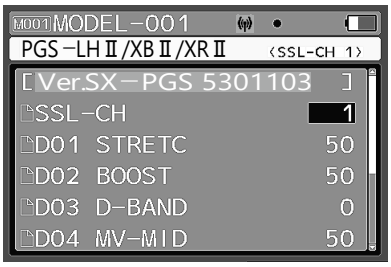


M17Sに対応機器が接続されていない場合には下記のメッセージが表示されます。



※マルチ セッティング ギア機能を使用する際の注意
- M17Sにリード ハーネス(延長ケーブル)を使用してPGS サーボを接続する場合は、三和純正のリード ハーネス 1 段までで使用してください。
- マルチ セッティング ギア機能を使用中にPGS サーボの接続を解除するのは絶対にやめてください。
  設定した内容がPGS サーボに反映されません。
  途中で接続を解除した場合は再度READ(読み込み)をおこなってください。
- アップデートの途中でマイクロSD カードの抜き差しやPGS サーボの接続解除などで中断した場合にPGS サーボ内のファームウェアが破損しますので、絶対に中断する行為はおこなわないでください。
  ファームウェアが破損するとPGS サーボは動作しません。

PGS-LHⅡ/XBⅡ/XRⅡが接続された場合



INDEX へ戻る

各機能の使用方法

●マルチ セッティング ギア機能のメニューについて
マルチセッティングギア機能はPGSサーボの各種設定変更がおこなえる[SETTING DATA]とテレメトリーやコードAUXの設定に関する設定変更がおこなえる[TELEMETRY & CODE]とPGSサーボのプログラム アップデートをおこなう[PROGRAM UPDATE]とPGSサーボのプログラム バージョンを確認する[INFORMATION]の項目にわかれております。
設定する内容にあわせてメニュー選択をおこなってください。

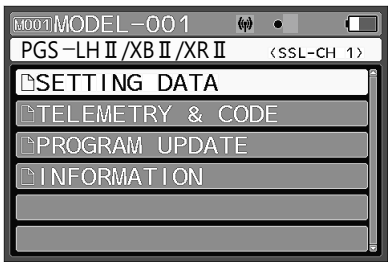
○SETTING DATA ［セッティング データ］
PGSサーボの各種設定変更がおこなえるメニューがあります。

○TELEMETRY & CODE［テレメトリー & コード］
テレメトリーやコードAUXの設定に関する各種設定のメニューがあります。
※M17Sへマイクロ SD カードの挿入が必要です。

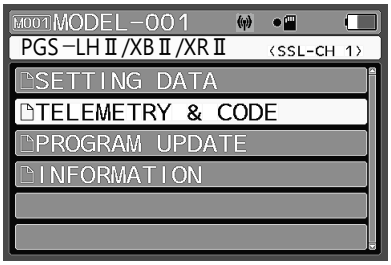
○PROGRAM UPDATE［プログラム アップデート］
PGSサーボのプログラム アップデートをおこなうメニューです。
※PGSサーボのプログラム アップデートが有った際には弊社HPにアップロードされますので、マイクロ SD カードにダウンロードして使用してください。

○INFORMATION［インフォメーション］
PGSサーボのプログラム バージョンを確認するメニューです。

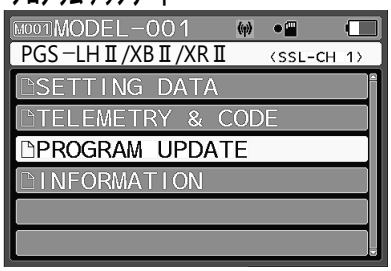
セッティング データ



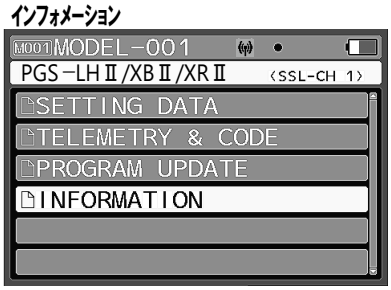
テレメトリー & コード



プログラム アップデート



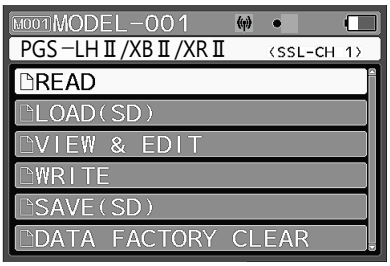
インフォメーション



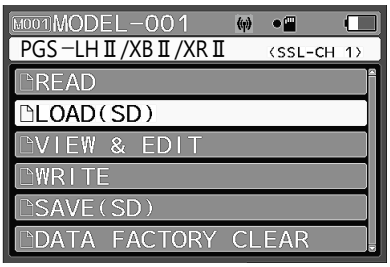
INDEXへ戻る

各機能の使用方法

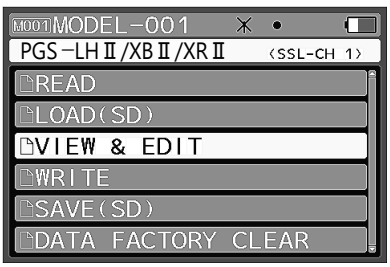
●セッティング データ メニューについて
セッティング データ メニューは PGS サーボの各種設定をおこなえるメニューです。
※設定内容の変更に関して、マルチ セッティング ギア機能内にデータを読み込み / 編集作業をおこない、PGS サーボに編集したデータを書き込むことで作業が完了する仕組みです。



○ READ [リード]
PGS サーボの設定内容を読み込むメニューです。

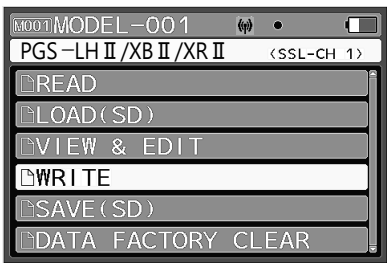


○ LOAD (SD) [ロード (SD)]
マイクロ SD カード内のデータをマルチ セッティング ギア機能内に展開するメニューです。
※マイクロ SD カードにデータが保存されていない場合にはファイル選択できません。
※ WRITE をおこなわないと設定変更が PGS サーボに反映されませんのでご注意ください。

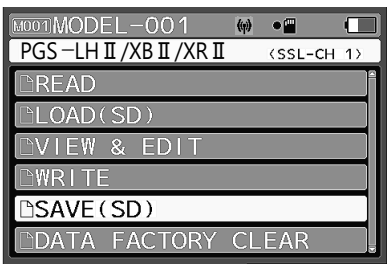


○ VIEW & EDIT [ビュー & エディット]
マルチ セッティング ギア機能内に読み込んだデータの確認と変更をおこなうメニューです。

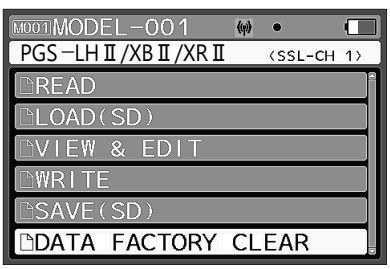
○ WRITE [ライト]
マルチ セッティング ギア機能内で変更をおこなったデータを PGS サーボに書き込むメニューです。
※ WRITE をおこなわないと設定変更が PGS サーボに反映されませんのでご注意ください。



○ SAVE(SD) [セーブ (SD)]
マルチ セッティング ギア機能内で変更をおこなったデータをマイクロ SD カードに保存するメニューです。
保存するファイル名は
PGS-LH/XB/XR の場合は [P51**S00 ～ P51**S49]
PGS-CL/CX の場合は [P52**S00 ～ P52**S49]
PGS-LHⅡ/XBⅡ/XR Ⅱ の場合は [P53**S00 ～ P53**S49]
PGS-CLⅡ/CX Ⅱ の場合は [P54**S00 ～ P54**S49]
PGS-HR/HXの場合は [P55**S00 ～ P55**S49]
PGS-CLEの場合は [P56**S00 ～ P56**S49]
SGS-02の場合は [P21**S00 ～ P21**S49]
からの選択になります。
既にデータが保存されているファイルに上書きする場合は確認してからの保存になります。
※ PC でファイル名を変更してしまうとマルチ セッティング ギア機能内に展開できなくなりますので、ファイル名は絶対に変更しないでください。



○ DATA FACTORY CLEAR [データ ファクトリー クリア]
PGS サーボの設定を出荷状態の初期値に戻すメニューです。



INDEX へ戻る

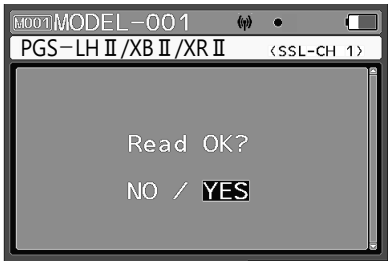
各機能の使用方法

●セッティング データ メニューの調整について
PGS サーボを M17Sに接続してマルチ セッティング ギア機能内に設定内容を読み込み、設定を編集してから PGS サーボに書き込むことによって設定変更が反映される仕様になっております。
設定変更は設定するメニューを選択してエンター [ENTER] 操作後、タッチパッドで設定値を変更してください。
※設定変更したあとは必ず PGS サーボに書き込み作業をおこなってください。



ENTER(エンター)　BACK(バック)

○ SSL-CH [SSL チャンネル]
SSL でサーボを含む機器を動作させる際に、使用する機器のチャンネル設定をおこなうことで受信機の SSL ポートに２又コード等を接続して複数の PGS サーボを動作させることが可能になります。
SSL-CH の設定を 11 ～ 20 に設定することで AUX1CODE01 ～ AUX1 CODE10 の設定値で PGS サーボを動作させることも可能です。
設定範囲：0～4、11 ～ 20
(0:OFF,1:CH1/ST,2:CH2/TH,3:CH3/AUX1,4:CH4/AUX2)
(11 ～ 20 : AUX1 CODE01 ～ AUX1 CODE10 の各設定値で動作)
※ SSL-CH の設定を [0] に設定すると SSL 動作が OFF になります。
※ PGS サーボは出荷時に SSL-CH の設定が [1] に設定されていますので受信機の SSL ポートに接続するとステアリング (ST) サーボとして動作します。スロットル (TH) として動作させる場合は SSL-CH の設定を [2] に設定してください。

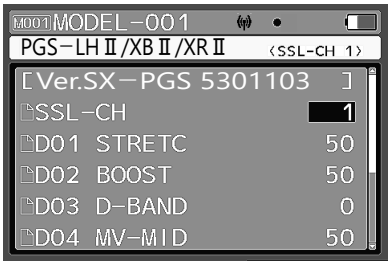


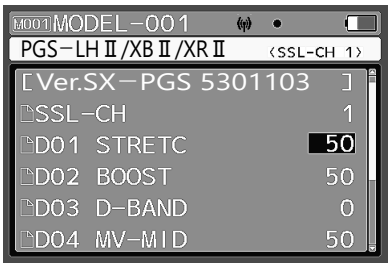
[YES]を選択して　ENTER(エンター)
設定変更する機能を選択して調整

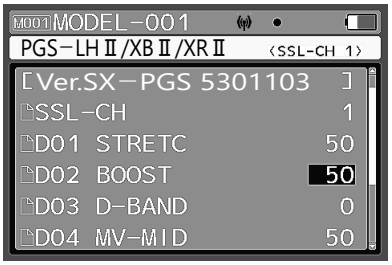
SSL-CH の設定

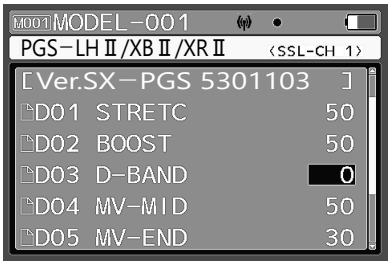
CH 設定	設定値
CH 設定 OFF	0
CH1[ST]	1
CH2[TH]	2
CH3	3
CH4	4

CH 設定	設定値
AUX1CODE01	11
AUX1CODE02	12
AUX1CODE03	13
AUX1CODE04	14
AUX1CODE05	15
AUX1CODE06	16
AUX1CODE07	17
AUX1CODE08	18
AUX1CODE09	19
AUX1CODE10	20









○ STRETC [ストレッチャー]
サーボ動作のトルク保持力を設定します。ほかの調整項目の基本となる設定になります。数値を大きくすると保持力は増します。
ほかの調整にもよりますが、設定値を [100] に近づけるとニュートラル付近でハンチング (サーボが停止せず微振動を繰り返す動作) が発生する場合があります。
設定範囲：0 ～ 100

○ BOOST [ブースト]
サーボ動作における初期トルクを設定します。数値を大きくすると初期トルクが増します。
設定値を大きくしすぎるとハンチングの原因にもなります。
設定範囲：0 ～ 100

○ D-BAND [デッドバンド]
サーボの動作開始の不感帯を設定します。数値を小さくすると不感帯が狭くなります。狭くしすぎると動作開始の動き出しが敏感になり、ハンチングの原因となります。
設定範囲：0 ～ 100

INDEX へ戻る

各機能の使用方法

○MV-MID［エムブイ－ミッド］（操作中間域のトルク量の調整）
送信機操作において、コーナリング時の中間域のトルクを補う機能です。
数値を大きくすると効果が大きくなります。
設定範囲：0～100

○MV-END［エムブイ－エンド］（操作後半域のトルク量の調整）
送信機操作において、コーナリング時の後半域のトルクを補う機能です。
数値を大きくすると効果が大きくなります。
設定範囲：0～100

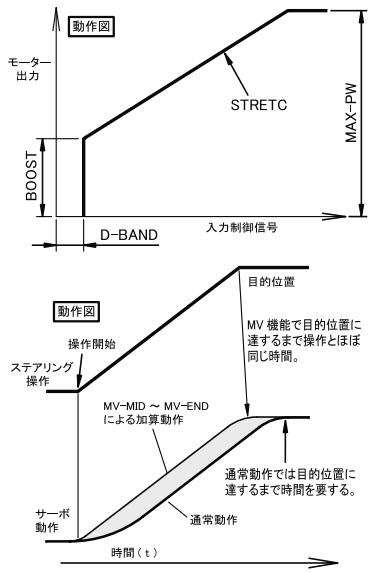
○BRAKE［ブレーキ］（ブレーキ量の設定）
動作を停止させるときのブレーキ量を設定します。
数値を大きくするとブレーキが強くかかり、目的位置への停止が容易になりますが、大きすぎると、動作スピードが遅くなりますので必要に応じて調整してください。
設定範囲：0～100

○MV-HLD［エムブイ－ホールド］（中間域～後半域へのトルク変動時間の調整）
MV-MID～MV-ENDまでのトルク変動時間を設定します。
数値を大きくするほど変動時間が長くなります。
設定範囲：0～9

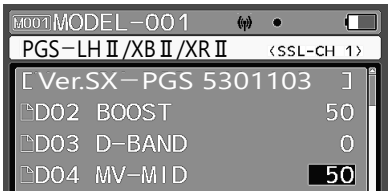
○MV-FRQ［エムブイ－フリクエンシー］（駆動周波数の調整）
モーター制御出力信号の周波数を設定します。数値を大きくすると、外力に対して制御応答が速くなります。
設定範囲：0～100

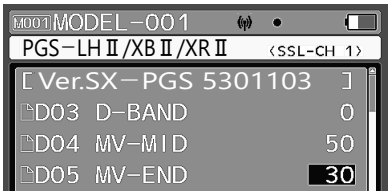
○MAX-PW［マックス－パワー］（最大パワーの調整）
サーボ動作全域の最大トルクを設定します。数値を大きくするとトルクパワーが増大します。
設定範囲：0～100

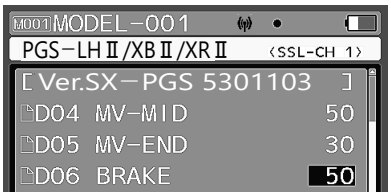
※READメニュー内の最後に［WRITE］メニューがありますので、
設定変更した内容をPGSサーボに書き込み可能です。

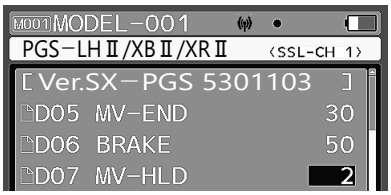


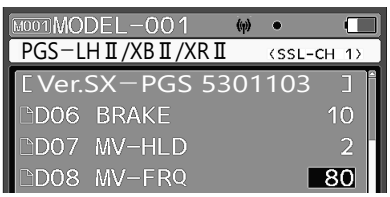
設定変更する機能を選択して調整

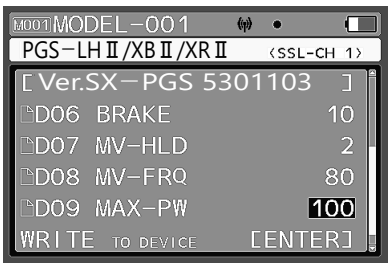


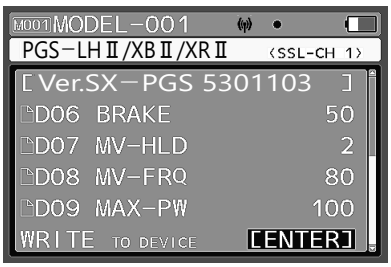








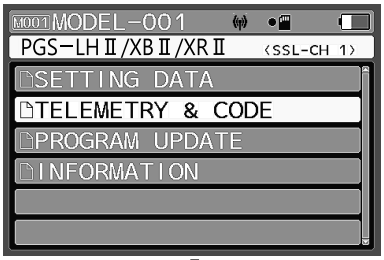




INDEXへ戻る

各機能の使用方法

●テレメトリー & コード メニューの調整について
テレメトリー & コード メニューはテレメトリーとコードに関する設定をおこなうメニューです。
※プロポに表示するテレメトリー データの入れ替えやコード AUX で調整する機能の入れ替えと ON/OFF が可能です。
※本機能を使用する場合は M17S にマイクロ SD カードを必ず挿入してください。マイクロ SD カードを挿入せずに TELEMETRY & CODE でエンター操作をおこなうとエラーメッセージが表示されてメニューを使用できません。

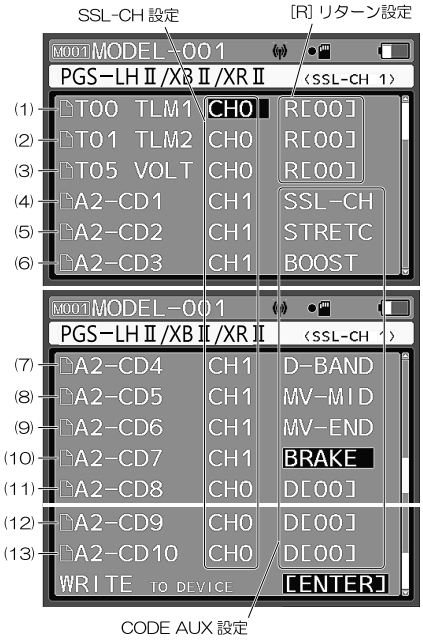


ENTER（エンター）

設定変更する機能を選択して調整

・TELEMETRY メニュー
※ M17S に表示できるテレメトリー データは３つの機能に限られます。［R］（※リターン）の設定値を変更することで M17S へ表示するテレメトリーの内容を変更できます。PGS サーボの出荷時は OFF の設定です。

(1)T00 TLM1/(2)T01 TLM2 と (3)T05 VOLT に表示可能な機能は以下になります。
［00］…OFF　［01］…サーボ電流値　［02］…入力操作量
［03］…入力操作量＋エフェクト　［04］…サーボ動作量
［05］…モーター出力　［06］…CPU 温度　［07］…電源電圧
※ PGS サーボのテレメトリー データを表示するように設定して、SUPER VORTEX Gen2 PRO/SV-D2と併用する場合にはテレメトリー動作と表示が重複します。PGS サーボのテレメトリー データを M17S で表示させる場合は SUPER VORTEX Gen2 PRO/SV-D2を受信機の CH2 に接続して使用するか、PROGRAM BOX Gen2 で PGS サーボのテレメトリー機能と重複しないように設定してください。
※テレメトリー表示機能の設定を［00］に設定すると表示機能が OFF になります。（PGS サーボ出荷時はテレメトリー表示機能が［00］の OFF に設定されています。）



・CODE AUX メニュー
M17S等の対応する送信機から CODE10 の機能を使用して PGS サーボの各種設定をおこなう際に CODE AUX2 に割り当てる機能の入れ替えが可能になる機能です。
※ TELETETRY & CODE の最後に［WRITE］メニューがあります。機能の入れ替えをおこなった際は PGS サーボに書き込み作業をおこなわないと反映されませんのでご注意ください。

(4) A2-CD1 …出荷時には［SSL-CH］が設定されています。（入れ替えできません。）
(5) A2-CD2 …出荷時には［SRTETC］が設定されています。
(6) A2-CD3 …出荷時には［BOOST］が設定されています。
(7) A2-CD4 …出荷時には［D-BAND］が設定されています。
(8) A2-CD5 …出荷時には［MV-MID］が設定されています。
(9) A2-CD6 …出荷時には［MV-END］が設定されています。
(10)A2-CD7 …出荷時には［BRAKE］が設定されています。
(11)A2-CD8 …出荷時には調整用の機能は設定されていません。
(12)A2-CD9 …出荷時には調整用の機能は設定されていません。
(13)A2-CD10…出荷時には調整用の機能は設定されていません。
※同一機能を複数の CODE に割り当てないでください。故障の原因になります。

T00 TLM1、T01 TLM2、T05 VOLT の設定

テレメトリー表示機能［R］	設定値	テレメトリー表示機能［R］	設定値
機能 OFF	00	サーボ動作量	04
サーボ電流値	01	モーター出力	05
入力操作量	02	CPU 温度	06
入力操作量＋エフェクト	03	電源電圧	07

※T00 TLM1、T01 TLM2 のテレメトリー表示機能［R］の設定は 07～99 は現状では機能 OFF になります。
※T05 VOLT のテレメトリー表示機能［R］の設定は 07 以外の設定では機能 OFF になります。
※AUX2 の AUX TYPE を CODE10 に設定して使用してください。

CODE AUX 設定項目について
・STRETC （ストレッチャー）
・BOOST （ブースト）
・D-BAND （デッドバンド）
・MV-MID （エムブイーミッド）
・MV-END （エムブイーエンド）
・BRAKE （ブレーキ）
・MV-HLD （エムブイーホールド）
・MV-FRQ （エムブイーフリクエンシー）
・MAX-PW （マックスーパワー）

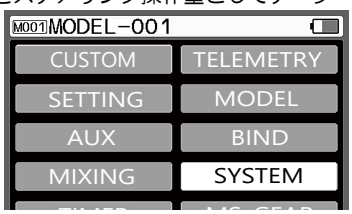
CODE AUX の AUX2 CODE2～CODE10 に割り当てることが可能な機能です。
同一機能を複数の AUX CODE に割り当てないでください。故障の原因となります。
機能の割り当て、変更をおこなった場合は WRITE 機能で PGS サーボへ変更内容の書き込みをおこなってください。
※書き込みをおこなわないと変更内容が PGS サーボに反映されません。

INDEX へ戻る

各機能の使用方法

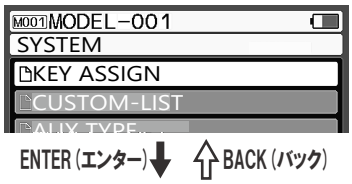
モーション ステアリング [MOTION STEERING]

●送信機に内蔵されたモーション センサーの機能を活用して、送信機の「傾き」をステアリング操作量としてデータ送信することが可能になります。
[SW3]にモーション ステアリング機能を割り当てて、送信機の傾きをキャリブレーションすることで、実際に送信機を傾けてステアリング操作が可能になります。
[SW3]のOFF⇔ONでステアリング ホイール操作⇔モーション ステアリング機能の切り替えが可能になります。
※ステアリング ホイール操作とモーション ステアリングを同時に併用することはできません。



1) タッチ パッドで [SYSTEM] を選択し、エンター操作で決定します。

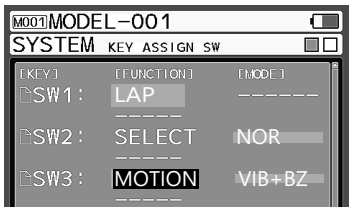
2) タッチ パッドで [KEY ASSIGN] を選択してエンター操作で決定します。



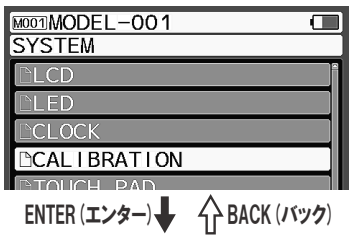
3) SW3 [FUNCTION] 設定
タッチパッドで[MOTION]を選択してエンター操作で決定します。
※FUNCTION設定中にSW3が[ON]になるとロックされてしまい設定変更が出来なくなりますのでご注意ください。

4) SW3 [MODE]設 定
タッチパッドでMODE設定を選択します。

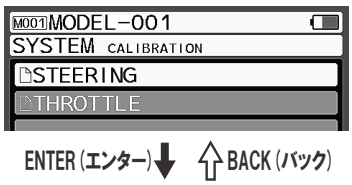
○設定範囲 VIB+BZ/BUZZER/VIB/OFF
○初期値 VIB+BZ



5) モーション ステアリングのキャリブレーション設定
タッチパッドで[SYSTEM]の[CALIBRATION]を選択し、エンター操作で決定します。
※キャリブレーション設定をおこなう前に[SW3]が[ON]になっていることを確認してください。

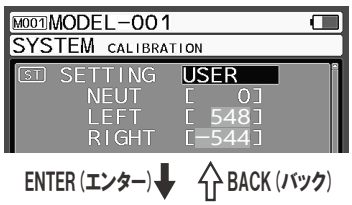


6) [STEERING]を選択し、エンター操作で決定します。
[SETTING]の「FACTORY」を「USER」に切り替えてキャリブレーション設定をおこないます。



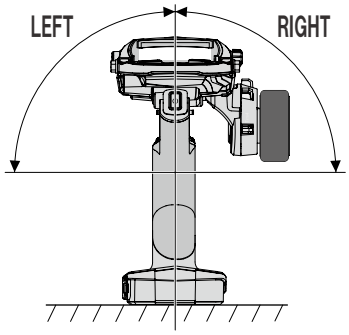
7) M17Sが垂直、水平になるように机の上に設置した状態で[NEUT]にカーソルを移動してエンター操作をおこないます。

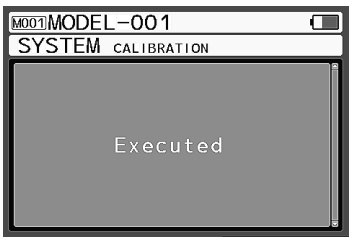
NEUT [0]OK と表示されると[NUET]の位置が正しく設定されます。
そのあとM17Sを手で持ち、左方向⇒右方向に送信機を傾けます。
※左方向、右方向に最大で水平位置以上に傾けても数値は変化しなくなります。



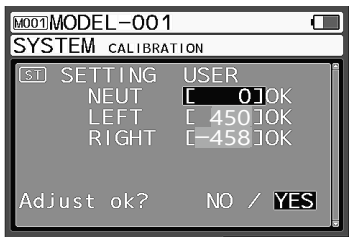
8) キャリブレーションが正しくおこなえるとNEUT/LEFT/RIGHTの数値横に[OK]と表示されますので、設定に問題がなければ[YES]を選択してエンター操作でキャリブレーションを終了させてください。
※再調整する場合は[NO]を選択して 7)の項目からやりなおしてください。

●モーションステアリング機能を使用される際はステアリングEPAで左右の動作量を調整して、EXPやARC等の機能等を併用するなどして操作をお楽しみください。





ENTER (エンター)



INDEX へ戻る

アサイン機能一覧 [TRIM トリム]

画面表示	機 能 名 称
OFF	ーーー(機能割付け無し)
TRIM-ST	ステアリング トリム
TRIM-TH	スロットル トリム
TRIM-A1	AUX1 トリム
TRIM-A2	AUX2 トリム
D/R-ST	ステアリング デュアルレート
D/R-TH	スロットル デュアルレート
D/R-BR	ブレーキ デュアルレート
D/R-A1H	AUX1 Hi デュアルレート
D/R-A1L	AUX1 Lo デュアルレート
D/R-A2H	AUX2 Hi デュアルレート
SPD-ST-FWD	ステアリング スピード フォワード
SPD-ST-RTN	ステアリング スピード リターン
SPD-ST-PNT	ステアリング スピード ポイント
SPD-TH-FWD	スロットル スピード フォワード
SPD-TH-RTN	スロットル スピード リターン
SPD-TH-PNT	スロットル スピード ポイント
SPD-A1-FWD	AUX1 スピード フォワード
SPD-A1-RTN	AUX1 スピード リターン
SPD-A1-PNT	AUX1 スピード ポイント
SPD-A2-FWD	AUX2 スピード フォワード
SPD-A2-RTN	AUX2 スピード リターン
SPD-A2-PNT	AUX2 スピード ポイント
CRV-ST-RATE	ステアリング カーブ レート
CRV-ST-PNT	ステアリング カーブ ポイント
CRV-TH-RATE	スロットル カーブ レート
CRV-TH-PNT	スロットル カーブ ポイント
CRV-BR-RATE	ブレーキ カーブ レート
CRV-BR-PNT	ブレーキ カーブ ポイント
CRV-A1(H)-RATE	AUX1(H) カーブ レート
CRV-A1(H)-PNT	AUX1(H) カーブ ポイント
CRV-A1(L)-RATE	AUX1(L) カーブ レート
CRV-A1(L)-PNT	AUX1(L) カーブ ポイント
CRV-A2(H)-RATE	AUX2(H) カーブ レート
CRV-A2(H)-PNT	AUX2(H) カーブ ポイント
CRV-A2(L)-RATE	AUX2(L) カーブ レート
CRV-A2(L)-PNT	AUX2(L) カーブ ポイント
ALB-POINT	アンチ ロック ブレーキ ポイント
ALB-STROKE	アンチ ロック ブレーキ ストローク
ALB-LAG	アンチ ロック ブレーキ ラグ
ALB-CYCLE	アンチ ロック ブレーキ サイクル
ALB-DUTY	アンチ ロック ブレーキ デューティー
OFFSET-PNT	オフセット ポイント
CM1-RATE1	コンペンセーション ミキシング1-レート1
CM1-RATE2	コンペンセーション ミキシング1-レート2
CM1-OFFSET	コンペンセーション ミキシング1-オフセット
CM2-RATE1	コンペンセーション ミキシング2-レート1
CM2-RATE2	コンペンセーション ミキシング2-レート2
CM2-OFFSET	コンペンセーション ミキシング2-オフセット
CM3-RATE1	コンペンセーション ミキシング3-レート1
CM3-RATE2	コンペンセーション ミキシング3-レート2
CM3-OFFSET	コンペンセーション ミキシング3-オフセット
CM4-RATE1	コンペンセーション ミキシング4-レート1
CM4-RATE2	コンペンセーション ミキシング4-レート2
CM4-OFFSET	コンペンセーション ミキシング4-オフセット
CM5-RATE1	コンペンセーション ミキシング5-レート1
CM5-RATE2	コンペンセーション ミキシング5-レート2
CM5-OFFSET	コンペンセーション ミキシング5-オフセット

画面表示	機 能 名 称
AUX1	AUX1
AUX2	AUX2
AUX1-ACKER	AUX1-アッカーマン
AUX1-D/R	AUX1-アッカーマン デュアル レート
AUX1-LEFT	AUX1-アッカーマン レフト
AUX1-RIGHT	AUX1-アッカーマン ライト
AUX1-CENT	AUX1-アッカーマン センター
AUX1-TOE	AUX1-アッカーマン トー
AUX2-ACKER	AUX2-アッカーマン
AUX2-D/R	AUX2-アッカーマン デュアル レート
AUX2-LEFT	AUX2-アッカーマン レフト
AUX2-RIGHT	AUX2-アッカーマン ライト
AUX2-CENT	AUX2-アッカーマン センター
AUX2-TOE	AUX2-アッカーマン トー
AUX1-FLAP	AUX1-フラップ
AUX1-TH-FL	AUX1-スロットル-フラップ
AUX2-FLAP	AUX2-フラップ
AUX2-TH-FL	AUX2-スロットル-フラップ
AUX1-CODE1	AUX1-コード1
AUX1-CODE2	AUX1-コード2
AUX1-CODE3	AUX1-コード3
AUX1-CODE4	AUX1-コード4
AUX1-CODE5	AUX1-コード5
AUX1-CODE6	AUX1-コード6
AUX1-CODE7	AUX1-コード7
AUX1-CODE8	AUX1-コード8
AUX1-CODE9	AUX1-コード9
AUX1-CODE10	AUX1-コード10
AUX2-CODE1	AUX2-コード1
AUX2-CODE2	AUX2-コード2
AUX2-CODE3	AUX2-コード3
AUX2-CODE4	AUX2-コード4
AUX2-CODE5	AUX2-コード5
AUX2-CODE6	AUX2-コード6
AUX2-CODE7	AUX2-コード7
AUX2-CODE8	AUX2-コード8
AUX2-CODE9	AUX2-コード9
AUX2-CODE10	AUX2-コード10
R-MODE	レーシング モード
ALB-SW	アンチ ロック ブレーキ スイッチ
OFFSET-SW	オフセット スイッチ
CM1-SW	コンペンセーション ミキシング1 スイッチ
CM2-SW	コンペンセーション ミキシング2 スイッチ
CM3-SW	コンペンセーション ミキシング3 スイッチ
CM4-SW	コンペンセーション ミキシング4 スイッチ
CM5-SW	コンペンセーション ミキシング5 スイッチ
LAP-SW	ラップ タイマー スイッチ
INT1-SW	インターバル タイマー1 スイッチ
INT2-SW	インターバル タイマー2 スイッチ
DOWN-SW	ダウン タイマー スイッチ
CUSTOM	カスタム
VOICE-REQ	ボイス-リクエスト
CURSOR	カーソル
ENTER/BACK	エンター/バック
SELECT	セレクト
INC/DEC	インク/デック(プラス/マイナス)

INDEX へ戻る

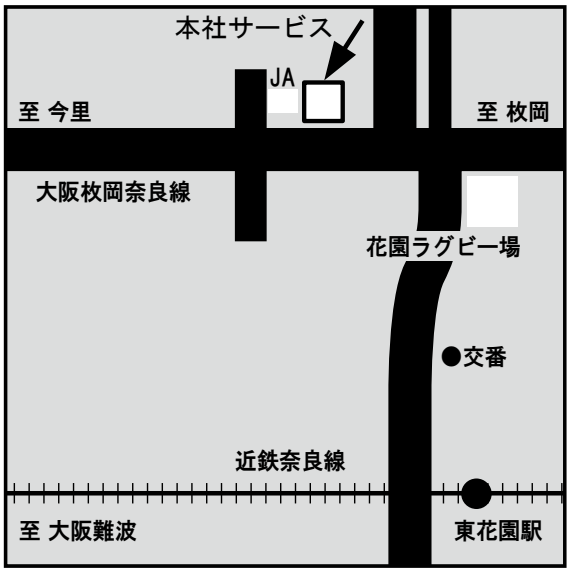
アサイン機能一覧 [TRIM トリム]

画面表示	機　能　名　称	SW1/SW2	SW3
OFF	――(機能割付け無し)	○	○
ALB	アンチ ロック ブレーキ	○	○
OFFSET	オフセット	○	○
AUX1[STEP]	AUX1 ステップ	○	○
AUX1[POINT]	AUX1 ポイント	○	○
AUX1[4WS]	AUX1 4ホイール ステアリング	○	○
AUX1[MOA]	AUX1 モーター オン アクスル	○	○
AUX1[D-ST]	AUX1 デュアル ステアリング	○	○
AUX1[BR]	AUX1 ブレーキ ミキシング	○	○
AUX1[BOAT]	AUX1 ボート	○	○
AUX1[CD5]	AUX1 コード 5	○	○
AUX1[CD10]	AUX1 コード 10	○	○
AUX2[STEP]	AUX2 ステップ	○	○
AUX2[POINT]	AUX2 ポイント	○	○
AUX2[4WS]	AUX2 4ホイール ステアリング	○	○
AUX2[MOA]	AUX2 モーター オン アクスル	○	○
AUX2[D-ST]	AUX2 デュアル ステアリング	○	○
AUX2[BR]	AUX2 ブレーキ ミキシング	○	○
AUX2[CD5]	AUX2 コード 5	○	○
AUX2[CD10]	AUX2 コード 10	○	○
INT1	インターバル タイマー 1	○	○
INT2	インターバル タイマー 2	○	○
DOWN	ダウン タイマー	○	○
C-MIX	コンペンセーション ミキシング	○	○
C-MIX1	コンペンセーション ミキシング 1	○	○
C-MIX2	コンペンセーション ミキシング 2	○	○
C-MIX3	コンペンセーション ミキシング 3	○	○
C-MIX4	コンペンセーション ミキシング 4	○	○
C-MIX5	コンペンセーション ミキシング 5	○	○
VOICE	ボイス	○	
SELECT	セレクト	○	
CUSTOM	カスタム	○	○
R-MODE	レーシング モード	○	
KEY LOCK	キー ロック		○
ALT	オルタネート		○
MOTION	モーション		○

INDEX へ戻る

サンワ サービスについて

調子が悪いときはまずチェックを。この取扱説明書をもう一度ご覧になってお調べください。
それでも異常のあるときはトラブルの状況を詳しくご記入の上、本社サービスまで修理依頼してください。
オーバーホールや点検時は点検内容を詳しくご記入ください。
また、ご質問、お問い合わせ等がありましたら、本社サービス/東京営業所にて受付けております。
電話でのお問い合わせは土曜、日曜、祝日を除くAM9：30~12：00、PM1：00~5：00です。



〈本社サービス〉
東大阪市吉田本町1丁目2-50
〒578-0982　　072(962)2180

INDEX へ戻る